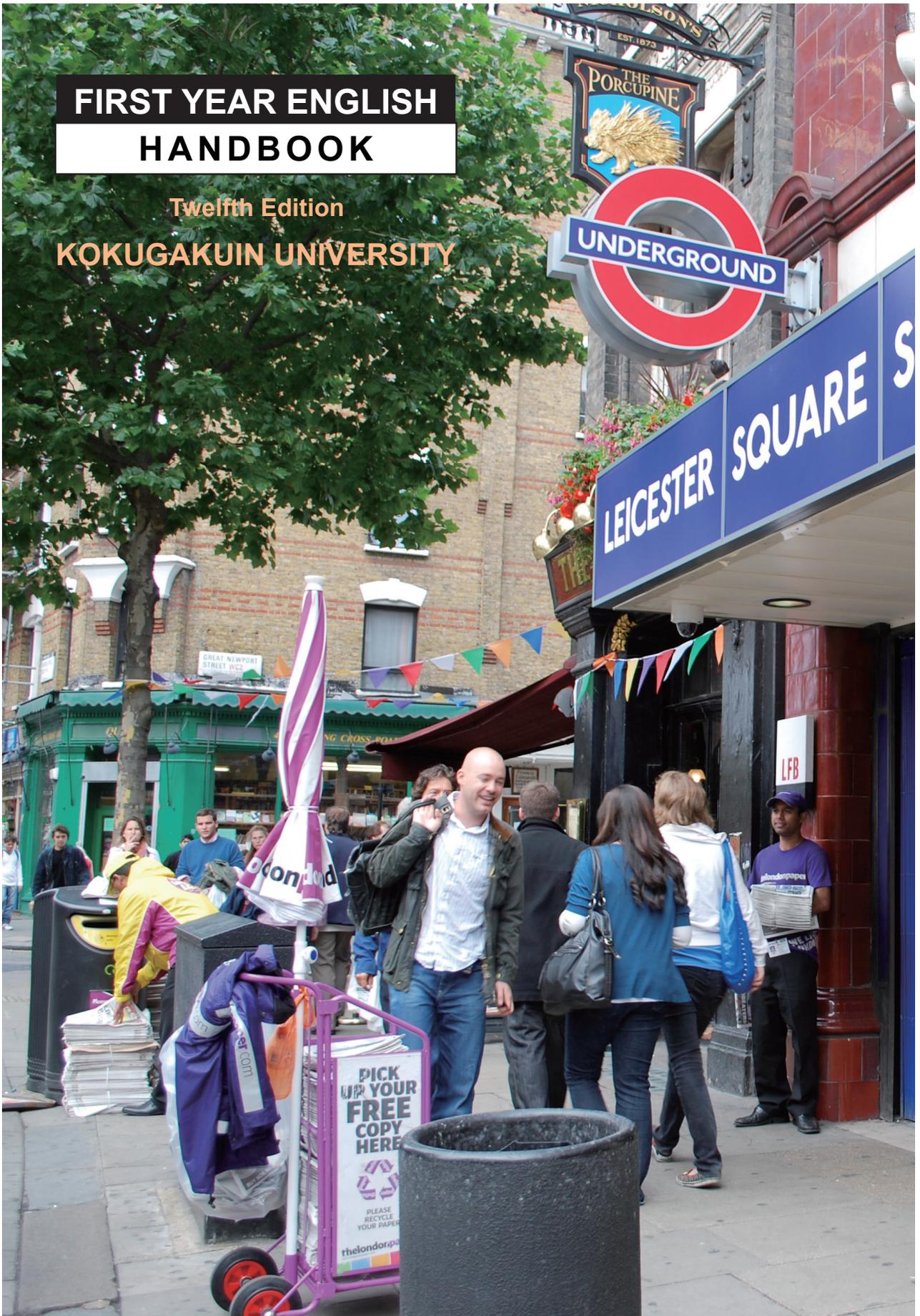


FIRST YEAR ENGLISH HANDBOOK

Twelfth Edition

KOKUGAKUIN UNIVERSITY



CONTENTS

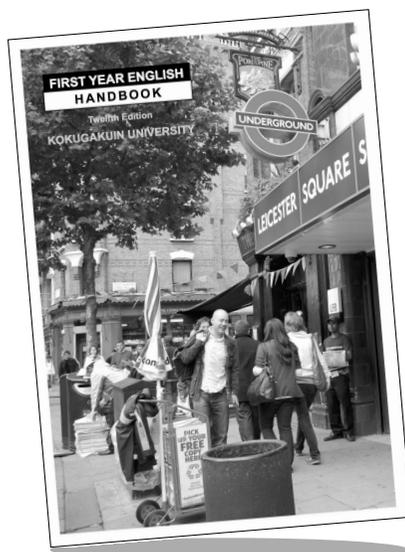
はじめに	1
PART 1	
1. First Year English とは？	4
❖ First Year English 講義概要	7
2. 英語の基礎とは？	8
3. 予習のしかた	10
[コラム1] The UK	15
4. 文法について	16
5. 英語の辞書・辞典について	32
6. 単語はどうやったらたくさん覚えられるの？	41
7. 英語の正書法と書式	46
[コラム2] リンカンとゲティスバーグ演説	55
8. 英語の数字をマスターしよう	56
9. 英語を話し、聞くときのコツ	62
10. キャンパスの英語	67
[コラム3] カトリック、プロテスタント…あるいは英国国教会	72
PART 2	
1. どうして通じないんだ!?	74
2. 海外旅行を安全に、楽しく！	82
3. 英語で手紙やメールを書くには	92
[コラム4] インターネットで英語を聴こう！	101
4. PC・スマホで英語を学ぶ	102
5. 英語の発音について	106
6. 洋楽と英語学習	111
[コラム4] アメリカの祝祭日：感謝祭を中心に	116
7. 映画で英語を学ぼう	117
8. 英語の本を読んでみよう	121

	9. 英語の漫画を読んでみよう	127
	[コラム5] Home, Sweet Home	130
	10. 英語の検定試験と留学について	132
付 録	1. 國學院大學の学部・学科	137
	2. ローマ字表	138
	3. 英語圏の教室で：教室コミュニケーションの基礎	139
	4. 英語のことわざ80選	140
	5. 長さ、重さなどの単位（度量衡）で知っておくべきこと	144
	6. イギリス史年表	146
	7. アメリカ史年表	147
	8. カタカナ英語とホントの英語	148
	参考文献リスト	150
	主要な英語圏の国々の正式名称	154
	奥付	154
	裏表紙：英語圏の国旗、世界地図	

写真一覧

p. 3	アメリカのスクールバス	p. 81	カティ・サーク号
p. 9	自由の女神像	p. 105	フィッシュ・アンド・チップス
p. 31	バグパイプ演奏	p. 115	NYCのゴミ箱
p. 40	ビッグ・ベン	p. 126	アイルランドの朝食
p. 45	ジャケットポテト	p. 131	イギリスの家（その1）
p. 54	ロンドンの地下鉄標識	p. 131	イギリスの家（その2）
p. 71	イギリスの公衆電話ボックス	p. 136	オーストラリアの標識
p. 73	ギネスビール	p. 136	オーストラリアのポッサム

※ First Year English の講義概要（シラバス）は、p.7に掲載しています。



みなさん、ご入学おめでとうございます。この『First Year English ハンドブック』は、これから新入生のみなさんが学ぶ科目、First Year English の学習が、楽しく、実りあるものとなることを願って、英語担当教員が作成したものです。

教室での学習はもちろん、それ以外の様々な場においても、みなさんに英語学習への興味をおおいに持っていただけるように、また、いろいろな英語学習上の疑問などにもお答えできるように、英語担当教員一同、アイデアを出しました。

どうぞ、このハンドブックを十分に活用してください。そしてまた、みなさんからの、このハンドブックに関しての意欲ある問いかけをおおいに期待しています。

國學院大學文学部外国語文化学科 英語教員一同

PART 1



1 First Year English とは？

❖ 「First Year English って何ですか？」

新入生の皆さん全員（中国文学科をのぞく）が必ず学ぶ英語の授業、それが First Year English（通称 FYE）です。授業は、入学後、皆さんが受験する入学時学力診断（英語）の結果に基づく習熟度別クラスで行われます。

❖ 「なぜ、また英語？」

大学での様々な新しい科目との出会いを楽しみにしている皆さん、また、受験科目の一つとしての英語から、ようやく解放されると思っていた皆さん、こんな疑問をお持ちではないですか？ ほかの外国語を新しく学びたいけれど、英語なんてもういいのに、なんて思っている人もいるかも知れませんね。

大学に入って最初の英語の授業で、「英語は嫌いです」「英語は苦手です」、こんな声の一方で、「英語は得意ではないですけど、頑張って勉強したいと思います」「英語が話せるようになりたいです」「字幕なしで映画を見たいです」という声も聞こえます。このような、英語に対する様々な思いは、今までの皆さんのいろいろな英語体験に基づく正直な気持ちなのだと思います。でも、そのような皆さんの気持ちを理解しながらも、やはり、皆さん全員に、この科目をぜひとも履修していただきたいのは何故なのでしょう？

❖ 「英語を学ぶことは、そんなに必要ですか？」

今までの英語学習の目的の一つが受験のためだったとすれば、たしかに、もう、その役目は終わったでしょう。しかし、実は、英語を学ぶことに終りはないのです。その理由は、英語が言葉だから、なのです。そして、言葉の学習は、日々積み重ねていくものなのです。皆さんにとっての自国語のことを考えてみて下さい。「自分の国の言葉だもの、特に学習なんてしていません」と思うかもしれません。でも、毎日、自国語を使って、ものを考え、情報を手に入れ、他人とコミュニケーションし、喜んだり悲しんだり怒ったり、実際、言葉なしには生きていませんよね。英語も、そういった言葉の一つなのです。

❖ 「でも、やはり、なぜ英語なのかな？」

たしかに、英語は世界の中の一つの言語に過ぎないのに、何だか特別扱いを受けている

ように見えるのも確かでしょう。その理由は、現在の国際情勢、そして、それを作っている歴史的状況を考えればわかって頂けると思います。自国にとどまらず、世界に眼を向けに行くとき、やはり、英語という言語の力と必要性は、無視することはできないのです。

❖ 「では、First Year Englishでは、何を学ぶのですか？」

そう、もうすでに皆さんは、いろいろな英語を学んでいるでしょう。それに加えるのは何か、ということになります。まずは、今まで学んできたことを、確かなものとして身につける、ということです。すなわち基礎的知識の再確認、です。わかっているはずの知識、使えるはずの知識を、きちんと理解して使うことができるようにする、ということが、まず大切です。間違いも、疑問も、恐れることはありません。わからないまま、あやふやなままにしておくの方が、あとで、もっと困ることになります。そして、もう一つ、実際に英語を意思伝達・理解の手段として使える能力、すなわち、コミュニケーション能力の養成も目指します。自分の考えていることを表現し伝達する、また、他人の考えを理解し応答する、そういったことのできる力を身につけることも目指します。この二つの目的、英語の基礎能力と、コミュニケーション能力の養成というものは、先生との質疑応答も多く、密度の濃い First Year English という少人数のクラスでこそ実現できるので。もちろん、教室外での質問もOKです。横浜たまプラーザ校舎一号館1階の教員室、または、それぞれの先生のオフィスアワーに、先生の研究室を訪ねてみて下さい。そうすれば、皆さんのいろいろな質問に、先生たちがしっかりと答えてくれますよ。

❖ 「基礎をしっかりと固め、コミュニケーション能力を身につけるといってすね。それでは、その次は、どうなるのでしょうか？」

それからが、まさに、言葉としての英語の学習の本番です。つまり、英語を言葉として「使う」のです。「使う」というと、皆さんの中には、英語で会話する、というように考える人もいるでしょう。もちろん、それも、その一つです。でも、言葉を使う、ということとはそれだけでしょうか？言葉で考え、言葉で知識・情報を手に入れ、言葉で他者に伝え、言葉で他人の考え・気持ちを理解し等々、言葉を使つての活動は限りがありません。生きること、すなわち、言葉を使うこと、といってもいいでしょう。

❖ 「わかりました。でも、外国語を使う、ということは、同じ言葉でも、本国語を使うこととは違うことがあるのでは？」

そうです。言葉は、「使う」ということから、一つの道具、のようにも思われます。もちろん、道具としての側面はありますが、この道具には、その道具の生まれる背景、すなわち、その言葉の文化的背景、というものが必ずあるのです。ですから言葉の学習は、その言葉の持つ文化も、同時に学ぶことが必要になってきます。すなわち、英語という言語が使われている国への興味・関心を持つことが、英語学習にも、おおいに役に立つのです。文化、歴史、地理、風俗習慣、ボディランゲージ、ジェスチャー等々、学んでいる言語にまつわるものなら、なんでもいいのです。政治、経済、法律、文学、音楽、映画、テレビ、雑誌、料理、ファッション、スポーツ、車、舞踊等々、その国への扉はいくつでもあります。どの扉でもいい、ちょっとのぞいてみたいな、と思うものをきっかけに、さらに、その奥にある、また別の扉が開かれていくのです。

さて最後に、英語や、英語の背景となる文化や、風土・地理など、ちょっとした入門書ともなる読み物をいくつか挙げておきましょう。

まず、英語は、一つの言語だと思っている皆さん、本名信行『世界の英語を歩く』（集英社新書）はどうでしょうか。皆さんが学ぼうとしている英語を取り巻く様々な現代事情の解説書です。そして、やはり、そういった現代の英語を生み出したイギリス、アメリカといった二国に関しては、加瀬信行『イギリス 衰亡しない伝統国家』（講談社+α新書）や、浅井信雄『アメリカ50州を読む地図』（新潮文庫）を覗いてみてください。そして、イギリスの歴史について興味を持ったなら、井野瀬久美恵『女たちの大英帝国』（講談社現代新書）というものも、面白い視点からの読みものですし、さらに、イギリスは好きだけど、イギリスは食べ物がね・・・という向きには、その題名からして話題を呼んだ、林望『イギリスはおいしい』（文春文庫）も読んでみましょう。あるいは、英語の音に興味があれば、近頃注目の松澤喜好『英語耳』（アスキー）などというものもあります。あるいはまた、宗教的側面からの英語への接近には、石黒マリーローズ『キリスト教英語の常識』（講談社現代新書）はどうでしょうか。このように、皆さんの興味関心のおもむくままに、英語に関するあれこれを語る読み物に触れてみてください。ここに取り上げたものは、そのほんの一部ですが、そこからまた、これまでとは違った観点からの英語学習への気持ちがわいてくると思いますよ。

以上、前置きはこのくらいにしましょう。このあとには、具体的な勉強法や、英語を学んでいく上で役に立つ様々な事が、まだまだ続きます。このハンドブックを大いに活用して、皆さんの英語学習が楽しく、実りあるものになることを期待しています。

❖ First Year English 講義概要 (ウェブシラバスより)

授業のテーマ 英語コミュニケーションの基礎

授業の内容

現代社会では国際化が加速し、英語の必要性がますます高まっています。学生諸君がグローバルな視野を持った真の国際人になるための第一歩、それがFirst Year Englishです。

First Year Englishは、本学の一年生が必ず履修しなければならないクラス指定の必修科目であり、前期にFirst Year English I、後期にFirst Year English IIを、同一教員のもとで継続して履修しなければなりません。

First Year English I (前期)、II (後期) はいずれも、「英語の基礎能力とコミュニケーション」に重点を置きながら、大学で開講される英語関連科目を履修できるレベルにまで引き上げることを目標とした総合コースです。この英語の総合コースは、比較的少人数のクラス構成であり、英語の基礎力(読解、文法、英作文、構文、語彙、発音等)を確認しながら、リスニングとスピーキングの演習を十分に行うことで、コミュニケーションな方向を目指す授業です。また、社会生活、国際理解、異文化コミュニケーションに役立つ英語のオリエンテーション・コースでもあります。活用語彙としては3,000語、読書語彙としては5,000語を到達目標とします。

注記： 前・後期継続、必修科目(中文は選択科目)

教員免許状取得のための必修単位となる。

到達目標 【技能・表現】3,000語レベルの語彙を用いて日常的な会話やメールのやりとり等を行うことができる。また、読解においては5,000語レベルの語彙を用いたまとまった英文を読むことができる。

授業計画(略)

授業時間外の学習方法 各教員が指定する。

受講に関するアドバイス

First Year Englishに限らず、すべての授業に当てはまることですが、ただ教室に座って漫然と授業を受けているだけでは、英語力はつきません。やる気と目的意識を持って、積極的に授業参加することが求められます。

成績評価の方法・基準

評価方法	割合	評価基準
授業時試験	100%	日常的題材について、辞書を引かずに3,000語レベルの語彙を用いた英作文や聞き取りができる。また、5,000語レベルの語彙を用いた長文について、その構文を理解し、辞書を引かずに読解ができる。

注意事項 授業ごとの具体的な評価方法・割合・評価基準は、学期途中の評価方法確定後に発表するので、必ず確認すること。

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

教科書・参考文献等 教科書 各教員の選定。

2 英語の基礎とは？

さて、First Year English のクラスでは、まず、今まで学んできた基礎的知識をしっかりと再構築して、確実に身につけ、コミュニケーション能力の土台を固める、とお話ししました。では、英語の基礎とは、何なのでしょう？

それは、言語としての英語が持つ、様々な約束事、とでもいったらいいのでしょうか？この日本語は、英語では、何と言うのだろうか？ こういった言い回しは、英語では、どのようになるのかな？ 英語の音は、日本語とどのように違うのかな、この言い方は、どんなときに使えるのかな？ または、どういうときに使ったらまずいのかな？ 等々、実際に、英語を使うときには、いろいろな疑問が浮かんできます。そういった疑問を解き明かしてくれるのが、英語の約束事なのです。

それは、英語のボキャブラリーであり、文法であり、語法であり、発音という、どの言語にも同じようにある、英語の決まりごとなのです。なんだ、それは、もう学んだことばかり、と言われるかも知れません。

たしかに、一通りの約束事は、皆さんの頭に入っていることでしょう。その結果として、今、ここで、First Year English のクラスに臨んでいるわけですからね。でも、もう、ボキャブラリーは十分でしょうか？ 文法を使って、表現することは簡単にできますか？ 英語の音も、十分に聞き取れますか？ そして、その音を正しく発音できますか？

ボキャブラリーを増やし、英語の音に慣れ、文法を正しく理解して使う、つまり、英文をしっかりと読み取り、それをもとに、自分の考えも表現できる、それこそが、英語の基礎として、ぜひとも必要なことなのです。土台がしっかりしていれば、丈夫な建物が立ちますね。それと同じように、今までの学習の上に、さらに、その力を確実にしていく、それが、これからの言語学習をさらに実り多くしていくためにはぜひとも必要なのです。

では、具体的にどうすればよいのでしょうか？ そういう皆さんの疑問にお答えするのが、まさに、このハンドブックなのです。予習の仕方、英語の発音、ボキャブラリーの増やし方、辞書の上手な使い方、語法、文法等々、メニューはたくさん揃えました。興味をそえられるものから、関心の持てるものから、どれでも、何度でも、味わってください。いろいろな側面からの英語の学習法、それらに取り組むうちに、大事な英語の基礎が、きっと、確実に得られることでしょう。

その基礎の先に待っているものは、という疑問があるかもしれません。それは、英語の本も、英字新聞も、漫画も読めるし、文通もできれば、メル友もできるし、ネットでの検索、映画鑑賞、旅行は勿論、実利派のあなたには、いろいろな資格試験も待っています。学究派のあなた、留学の道も開かれますよ。でも、千里の道も一歩から。まず、足元、すなわち基礎をしっかりと固める、これこそが、遠回りのようでも、結局は、近道であることを忘れずにいてくださいね。



The Statue of Liberty (自由の女神像) は、マンハッタン島の南方、Liberty Island にあります。なぜこの像が緑色なのか、知っていますか？

3 予習のしかた

❖ まず、教科書は？

まず担当教員の指定する教科書、副教材を購入しましょう。教科書が高いというので、1年間買わずに、コピーで済ませている学生が時おり見られますが、コピーはバラバラになって試験の時期にあわててしまうことがあるので、必ず教科書は購入してください。

(なお、生協組合員でないと、教科書がすぐ購入しづらいという事情はありますが、その場合担当教員、外国語文化学科専任教員等に相談してください。)

❖ 次に、辞書は？

辞書に関しては、「英語の辞書・辞典について」(辞書の種類、使い方)の項目で詳しい説明があると思いますが、大学に入学しても、中学校時代に使っていた辞書や、受験生時代の単語集を大切に使っている学生が今でもおります。後生大事に使うのはいいのですが、それらの辞書、単語集は語彙数、用例とも不十分で、大学の英語の授業ではまず使い物になりませんので、「英語の辞書・辞典について」で推薦された標準的な辞書を早速購入してください。

❖ First Year Englishの教科書を説明しましょう

こうして最小限の準備が済みましたので、次に教科書に関して詳しく説明しましょう。一年生で使う英語の教科書はFirst Year English、English Iによって異なっていますが、ここではFirst Year Englishの教科書の予習のしかたについて説明していきます。First Year Englishの教科書は統一されたものではなく、各担当教員が指定したものであるため一概には言えませんが、First Year Englishが目標とする「基礎力の確認とコミュニケーション能力の養成」に合致した標準的な教科書を例にして説明してみましょう。

その構成を見てみると、各章の冒頭に身近な話題、たとえば学生生活、学校の授業、趣味、家族、友人、海外旅行、環境問題、スポーツ等のテーマに関する英文が置かれています。それらの英文を読みながら、基本的文法力の確認、英文読解力、内容把握力、英作文能力、簡単なリスニング能力を試すドリル、次に各章で扱ったテーマに関する自由作文、ディベート(討論)が課題として与えられています。

各章の冒頭に置かれた簡単な英文は、基本的な語彙と比較的長めの文章（300～400語）から構成され、それらを読解する際に必要な文法事項が確認されています。まず英文をざっと速読して大意をつかむ練習をするようにしましょう。その際には、分からない単語、文法事項があってもかまいません。とにかく大意を理解し、要約し、それから後に辞書を綿密に引きながら精読していくようにしましょう。

❖ 辞書の使い方を説明しましょう

辞書は学校に持ってくる場合、電子辞書でもかまいませんが、家で予習する際は、本の形の辞書を利用することを勧めます。なぜなら、電子辞書では簡単に単語を検索できますが、いざ単語の意味を探する場合、スクロールしなければならないため、全体の関係を見渡すのに時間がかかるからです。しかし本の形の辞書の場合、単語の意味、品詞全体の相互関係を一瞬のうちに把握できるという利点があります。そうすることで、辞書を使うコツも自然に身についてくるものなのです。

その場合、言うまでもありませんが、辞書の項目の最初に出てくる単語の意味をそのまま機械的に当てはめてはいけません。前後の英文の文脈を理解しながら、単語の意味がそこにぴったり当てはまるかどうかを確かめていくのも、英語に慣れていくコツの一つです。

その際、単語の意味ばかりでなく、英文の用例を最後まで読むようにしましょう。それらの英文はよく考えられたものであり、そのまま英作文、英会話に使えるものが多いからです。近頃の教科書では、単語の意味が注の形で親切に解説してあるため、わざわざ辞書を使わなくても済むようになっています。しかし、自分で直接辞書に当たり、単語の意味を探し、用例を読みながら、英語に慣れていくのがベストでしょう。その時、基本的な表現、重要な構文はそのまま暗記して覚えるのも良い方法です。暗記を軽視する方がいますが、英文が無意識のうちに口をついて出てくるくらいに暗誦するのも、英語に慣れていくための一つのコツだと思います。

❖ ノートを作ろう

よく学生諸君から、英語はある程度読めるのにそれを実際に、英会話や、英作文に応用できないという悩みを聞きます。それには、教科書、雑誌、新聞に出てきた基本的な表現、重要な構文をそのつどノートに取り、類似した表現などを辞書で調べ、それを暗唱し

ながら覚えていくことが大切です。中・高時代には皆さんも単語帳を作ったことでしょう。大学ではさらに、頻出する英語の構文、決まった表現などをチェックしながら、英語力をレベルアップさせていきましょう。英文を読むばかりでなく、面倒がらずに実際に英文を書くことで、スペリング、構文、文法が自然に身につく、知識が整理されるものなのです。一人で予習していた時に分からなかった疑問点などもノートし、担当の英語の先生に気軽に質問しながら、問題を解決していくことも重要です。

長年英語を教えていて、教員が黒板に板書したり、説明した事を全てノートに書き写す学生諸君がいることに気がきます。一生懸命書き写すことはいいのですが、その作業に熱中する余り、頭のほうがお留守になってしまう傾向があります。機械的に書き写したので、その時点で理解していないため、ノートを後になって見ても、何が書いてあるのか、自分ながらさっぱり分からないといった経験がありませんか？

このような不毛な作業を避けるためにも、予習する際理解できなかった箇所を前もってチェックしておきましょう。そして、いざ授業になったら、その不明の箇所に関する説明を重点的にノートしておくのが、能率的な勉強のコツです。こうして、予習で作ったノートと授業の際のノートを併用しながら、積極的に授業に参加していき、英語の学力を高めていきましょう。

❖ 基本的な文法、構文は、ちゃんとマスターしているかな？

このように、First Year Englishの予習で辞書を活用し、ノートを作りながら英文を理解していく時、簡単な文法事項の説明、よく使われる構文の例が参考になります。学生諸君は、英文法の「完了形」、「仮定法」、「受動態」、「不定詞」、「分詞」、「動名詞」、「助動詞」、「関係代名詞」と聞いて、そんなものは中・高校で既に習ったとあって軽視するかもしれません。そして、First Year Englishで扱う英文理解、構文活用が、中・高校の英文講読、英文法の繰り返しだと、不満をもらす方もいるでしょう。しかしその一方で、「関係代名詞」「分詞構文」「仮定法」等を理解していない学生がかなりいることも事実です。基本的な文法事項でも、理解していると思っているものが、実際正しく理解していないことが多く、それらの知識が体系的なものではないため、断片的なものに留まっている例が多いのも事実です。

しかし、これら最小限度の文法的知識は、英文を読むばかりではなく、英作文、英会話にも必要であることをご存知でしょうか。それらの知識が単なる受験英語のレベルに留ま

るものではなく、実際に英語を使う場合にも生きてくるものなのです。外国にeメールを送ったり、簡単な英文の手紙を書いたりする時や、日常的な英会話の場合基本的な文法事項が間違っていたら、まず相手に軽蔑されてしまうでしょう。これが杞憂でないことは、学生諸君に提出してもらったレポートに、三人称単数現在の動詞に -s がついていない例を始めとして、文法事項を完全に無視したものがしょっちゅう出てくることから分かります。このように First Year English は軽視されがちですが、しっかり叩き込んでおかななくてはならない英語の基本を再確認するためのものなのです。

たしかに、First Year English の授業はあくまで「基礎力とコミュニケーション能力」を身に付けるためのものですから、中学・高校の英語の繰り返しの側面があることも否定できません。しかし、その基礎の部分固めて初めて、コミュニケーション能力、雑誌・新聞を読む能力、eメールなどの英作文の力が育成されるのだということを理解しておきましょう。

❖ レベルアップして、洋書のペーパーバック、英字新聞等に挑戦しましょう

これまで述べてきた予習は必要最小限のものですが、更にレベルを上げて、教科書の英文の理解力を試すドリルに進むことも必要です。速読・精読で理解した英文の正誤問題、内容把握問題が諸君の英語力を高めていくこと請け合いです。これらの問題は、代表的な資格試験 TOEIC、TOEFL に通じるものもあり、それらの準備にも適するものとなっています。また、First Year English の教科書の英語が易しすぎて困るといった方は、自分で洋書のペーパーバック、英字新聞、雑誌などに目を通してみるのもよいでしょう。自分の興味に合った文章を読むと、学校で無理やりやらされる場合とは違って、辞書を引くのも苦勞ではなく、読解力が身についていくものです。

❖ コミュニケーション能力を育成するには？

First Year English の授業では、英語の基礎力の確認ばかりではなく、世界中の人たちとコミュニケーションを行うための基礎的な訓練も行います。この First Year English のクラスで英会話に慣れ親しみ、基本的な口語表現、日常会話、あいさつができるように勉強しましょう。頻繁に使用される英文のパターンが教科書に出ていますから、それらを参考にしながら、英語で日常生活の基本的な応答ができるように訓練しましょう。生の英語を耳から聞き、リスニングの能力を高めながら、自ら相手に向かって話しかけるスピーキング

の訓練をつむには、First Year English のクラスメートと相互に「討論」（ディベート）をすることも大切です。

First Year English の教科書で使われるリスニングのドリルに関しては、最近の教科書では CD が入っているものもありますので、学校で初めてリスニングに触れるのではなく、家で前もって英文に触れ、耳を慣らしながら問題に取り組んでいくことも可能になりました。現在は、大学入試でもリスニングが取り入れられている場合もありますので、以前と違って、いきなりリスニングを要求されてまごついたりする方も少なくなりました。とはいえ、やはりリスニングが不得意な諸君も多いかもしれませんので、この機会を利用して英文を聞き取る能力を高めていきましょう。

First Year English ではコミュニケーション能力の育成を目指しておりますが、なにぶん一週間に一時間半の First Year English の授業では不足かもしれません。それらの方には、English I のなかの <Listening and Writing> の授業や、テレビ、ラジオの英会話講座、ニュースの聞き取りが参考になるでしょう。英会話講座のように、レベルに応じて鍛えてくれる良心的なものや、聞き流しながら生の英語に触れさせてくれるニュース、映画のビデオ、DVD、CD もありますので、学校の First Year English のリスニングでは物足りない方は、そちらのほうも自分のレベルに合わせて利用することを勧めます。

❖ First Year English をみっちり勉強して、TOEIC、TOEFL を目指しましょう

First Year English の授業は文法と英文和訳ばかりでつまらない、もっと実用的な英語や、英会話を教えてくれという学生や、資格英語等の授業をやってくれと要求する学生もいます。彼らはある程度リスニング、スピーキングができれば資格試験に受かるものだと考えているようです。しかし、TOEIC、TOEFL では、リスニングのほかに、リーディング、内容把握問題、文法問題、英単語（ボキャブラリー）の問題もあるということをご存知でしょうか？ First Year English の授業はあくまでも基礎力の確認とコミュニケーション能力の育成ですが、それらを見っちり勉強していけば、実用英語、資格試験にも道が開かれていることを理解しながら、First Year English の予習に取り組んでいきましょう。

コラム 1 The UK

皆さんは「英国」、「イギリス」を英語でなんと言うかご存知ですか？「そんなことは誰でも知っている、England じゃないか。当たり前のことを聞かないでよ！」と答えるでしょう。そういう人は多いのですが、公式の名称 The UK（「連合王国」）を知っている人はそれほど多くないかもしれません。それに、英国の公式名が The UK だと知っていても、公式名の頭文字を略さないで、The United Kingdom of Great Britain and Northern Irelandと言える人は少ないのではないのでしょうか。単なる England と違って、やたら長い名前に驚いたのではありませんか。それに、イギリスなのにアイルランドの名前が入っているので、変だと思った人がいるかもしれません。イギリスとアイルランドは政治・宗教等の対立（両国間のプロテスタントとカトリックの対立に関しては、本書収録の【コラム3】「カトリック、プロテスタント…あるいは英国国教会」参照）などの複雑な事情が絡んでいるので一言で説明することはできませんが、アイルランドの北部「北アイルランド」が、いわゆる「イギリス」の中に含まれており、アイルランド共和国とは別の国なのです。そのアイルランド島の右横の大きな本島が「大ブリテン島」であり、そこにイングランドと共に、スコットランド、ウェールズが置かれているのです。

これらの地域はサッカーの国際試合などで互いに敵同士として戦うので、別の国のように思われますが、実際には「イングランド」に併合された国なのです。本来独立国であった国が、イングランドに征服されていった過程で様々な抵抗があり、最近まで北アイルランドでは、英国からの独立を目指すIRAなどがテロ活動を繰り返していた事実を新聞などで読んだことがあるかもしれません。また最近では、「連合王国」から独立しようとしたスコットランドの「国民投票」のことは、記憶に新しいところです。

「英国」はかつて「大英帝国」とも呼ばれ、七つの海を征服し、世界中に植民地を数多く持っていました。ロンドンの町並みを歩くと、植民地主義の負の遺産でしょうか、多様な人種がいることに驚いてしまいます。このように、イギリスは日本と同じように小さな島国なのですが、多民族からなる国家であり、英国の王様ですらフランス、オランダ、ドイツから迎えたこともあるくらいなのです。英国はこのように多様な民族、人種から派生する問題以外にも、複雑な宗教・社会・政治・言語に関する問題を多数抱えています。それらの問題についても、英語を学びながら考えていきましょう。

4 英文法について

❖ 英文法について知りたいとは思っていたけれども、いまさら聞くに聞けない質問、に答えてみます。

皆さんは「文法 (grammar)」という言葉に相当のアレルギー (allergy) があるようです。そのために英語の学習に嫌気がさしたり、日本語と異なる英語の実態に当惑したり、実際に英語を使用するときに混乱したりするようです。「なんでこれじゃいけないの？なんで文法やるの？」と授業や試験のたびに悩んだことでしょう。逆に、文法が好きだったり、文法に救われた経験のある人は、実にありがたい存在だと素朴に思っているでしょう。これから4年間そして卒業後の英語学習を効果的に進めるために、根本のところから少しお話をします。

文法とは簡単に言えば「ことばの決まり」です。言語は記号のシステム (体系) です。システムがあるということは、それぞれの要素の「形式・意味・機能」がきちんと決まっていて、一定の仕組みによって運用されるということです。コンピュータが色々なことをしてくれるとはいっても、それは設定されたプログラムに従って動いているだけです。このプログラムが文法です。コンピュータはプログラム通りにしか動きませんが、人間の脳ははるかに優れていて、自分で随時プログラムを変更したり改善したりすることができます。この柔軟性こそ機械にはない人間の素晴らしさです。実際の状況により多少の揺れはあるものの、ほぼ一定の範囲内で言語は使われます。その一定の範囲を定めているのが文法であるとも言えます。同じ言語を話す人たちが、同じ範囲内の発音、語彙 (単語の集合)、そして文構造を用いて言葉を取り交わすから「相互理解が可能」で、コミュニケーションが成立するのです。

人間の喜怒哀楽の情はほぼ普遍的で、どこの国の人でもほぼ同じように感じます。たとえば人が死んだら誰でも悲しみますし、子供が生まれれば、喜びます。けれども、それを表に出して表現する行動様式には、相当の違いがあります。人の死に直面して大げさに泣き叫ぶ国がある一方で、じっとうつむいて耐える国があることはご存知でしょう。人間の脳はどの国の人でもほぼ同じような働きをしますが、使う言語の音、文字、単語の並べ方には大きな違いがあります。学習するときに当惑するのも無理はありません。皆さんの母語 (大多数の方は日本語でしょう) のプログラムを英語用のプログラムに変更するため

に、その根幹である文法を学びます。文法がないと言語脳がうまく形成されないし、うまく使うこともできません。

自分の母語しか知らない者は、1つの世界にしか生きていない。別の言語を1つ知ると、2つの世界を生きられる。どうせ同じ一生なら、2倍、3倍の人生を生きてみませんか。

▶ Question 1. 「英文法って一体なんなのさ？」

「英文法」は「英語の文法」の省略表記です。独文法、仏文法などと同じことです。それぞれの言語の基本体系が異なるので、共通点もありますが、言語ごとにより異なる文法があります。日本語の場合には、国文法（国語の文法）または日本語文法といいます。上で述べたとおり、文法は言語システムのプログラムですから、現実には「きまり」すなわち、規則（rule）の集積になります。ただし、この規則はてんでんばらばらのものではなく、より大きな原理・原則によってまとめられています。英文法を習得すれば、英語習得への近道を通ることができます。

▷ Answer 1. 英文法は「決まりごと」の体系で、英語習得への近道 (shortcut)、特急券だ。

▶ Question 2. 「英文法ではなんで細かいことをあんなにたくさん覚えなくてはならないの？」

英語は日本語とはまるで異なる言語ですから、ごく初歩の基本的なルールも応用のルールも異なります。日本語の場合には、皆さんがお母さんの膝の上で知らず知らずに身につけてしまった文法を、英語の場合には、結構年齢がいつてから意識的に異物として頭の中に取り入れねばなりません。だから余計に「やっかいなもの」と認識してしまいがちです。アレルギーのような抗体反応を起こすことも稀ではありません。けれども、規則を上手に取りまとめていくと、案外少ない数の規則で説明がついてしまいます。外国語だからといって、一から百まですべて「個別に」覚えようとしたらきりがありません。関連性に注意して体系的にまとめると、思うほど大変ではありません。知識を、てんでんばらばらの点からつながりのある線へ、そして広がりのある面へつなげていくことが重要です。また、例外だからとか、熟語 (idiom) は理屈ではないから機械的に覚えるほかないと言わ

れているものの多くにも、実は潜在的な規則が働いています。自分が知らないことは理解しにくいから、どうしても細かく、複雑という印象を抱きがちです。でも君たちは日本語という言語を身に着けたのでしょうか？ 同じやり方を大人として繰り返せばいいのですよ。幼児のような純真無垢で英語に接すると案外抵抗がないかもしれません。

▷Answer 2. 変な先入観を持たないこと。文法はつながりや共通性に目をつけてまとめて捉える。例外にも規則がある。

▶Question 3. 「ネイティブとまったく同じ文法なんて身につけられるんですか？」

不可能です。無理です。皆さんがテレビで見る外国人タレントで相当日本語がうまい人でも、皆さんはすぐに「あ、日本生れの日本人じゃないな」とわかるでしょう。どれほど外国語に精通しても、母語の影響からは抜け出せません。それでいいのです。一定の許容範囲に収まっていて、ひどい誤解を生じることがなければOKです。世界では、英語のネイティブでない人と英語で話すことのほうが、英語のネイティブと話すよりも圧倒的に多いのです。でも、でも、皆さんの英語は、まだまだあまりにも未熟です。英語でコミュニケーションをしたいのなら、腹をくくってやるほかはありません。

▷Answer 3. 英語母語話者とまったく同じ英語を使う必要はない。許容範囲の誤差に収めれば大丈夫。

▶Question 4. 「英会話に文法が必要ですか？」

必要です。絶対に必要です。ルールにのっとらないで単語を並べてもほとんど無意味です。まして、中身のある話ができるはずがありません。話す英語 (spoken English) と書く英語 (written English) には表面上かなりの違いがありますが、基本の文法は同じです。じっくり、ゆっくり時間をかける書き言葉と違って、話し言葉のほうはスピードがあり、話すそばから消えていきます。書き言葉は文字として残り、証拠になります。そのため、よりきちんとした体裁が必要です。会話では、間違ったらその場で言い換えれば済みます。まあ、書き言葉とは異なる文法も少しありますがね。

▷Answer 4. 会話に文法は絶対必要です。文法の知識なしで会話はできません。

▶ **Question 5. 「文法はどうやって覚えて、身につければいいのですか？」**

簡単に身につける便利な方法はありません。あったら、私が知りたいくらいです（笑）。繰り返し練習すること、間違った部分を次回に同じ間違いをしないように心がけること、規則同士の関連性を見つけること、辞書や参考書を使ってまめに確認すること、そして「問題意識」を持って頭を覚醒させて学習、訓練に取り組むこと、これ以外に有効な方法はありません。古くから「学問に王道なし。(There is no royal road to learning.)」と言われてますよね。

▷ **Answer 5. 反復練習と問題意識が肝要だ。そして、貪欲に！**

▶ **Question 6. 「日本語と英語の文法の一番の違いはなんですか？」**

一番といわれると少々困ります。英語は語順が重要で、ほぼ固定されていますが、日本語では語順の制約は比較的ゆるいという違いがあります。英語では、数（単数・複数、数えられる・数えられない）の区別に敏感ですが、日本語ではそれほどでもありません（誤解しないでね。日本人でもちゃんと数えることはできます）。英語では単語の形が必要に応じて厳格に決まっています。また、一か所変更が生じたら、連動して他の単語の形が変わります。また、日本語にはない関係代名詞（連体修飾の節を導く）や冠詞、前置詞があります。

▷ **Answer 6. 日本語と英語の文法には違いがあるので、頭を切り替えて学習する。**

▶ **Question 7. 「私でも英文法を習得して、英語が堪能になれるでしょうか？」**

なれます。ただし、一つ一つ順番に基本的なところから上級レベルに到るまで、手順を追って、確実に学習する必要があります。また、決してあきらめないこと。自分は絶対に英語ができるようになってやる、という強い意識を持ち続けること。「練習は絶対に裏切らない」と言ったオリンピックのゴールドメダリストがいます。英語、英文法ともに練習をたくさんしたほうが勝ちです。また、必ず報われます。人の10倍やってみてください。必ず人よりできるようになります。

▷ **Answer 7. “You can do it!”**

▶ Question 8. 「最低限覚えなければいけないことってありますか？」

もちろんあります。ただ、これさえわかっているだけで十分と言えるものではなく、これがわかっているならば、上のレベルのことを理解しやすい、そこから先は独り立ちして自学自習が可能であるというものはあるということです。それこそ皆さんが1年次の First Year English や English I、2年次の English II で身に着けるべきことです。以下にポイントを列挙します。英語に限らずフランス語やドイツ語のようなヨーロッパ系の言語は、動詞が文構造と意味構造の核になります。ページ数に限りがあるので、特に文法全体に関わる点と動詞に関わる点を中心に説明します。この知識を軸にして、他の品詞へ、英語全体へ視野を広げてください。

(1) 名詞、動詞、形容詞、副詞等の品詞の区別がつくこと。

各品詞が主語や補語など、文法上どのような働きをする要素として使われるか、文中のどの位置に現れうるかを理解すること。ちなみに、名詞は主語、目的語、補語になることができます。また、一つの単語に二つ以上の品詞の使い方があることを理解すること。以下に、二つの品詞にまたがって使われる例をあげます。

Love is the most important thing in life. 「愛は人生で一番大切。」 (名詞)

I love you, darling! 「愛してるわ、ダーリン。」 (動詞)

She has beautiful green eyes. 「彼女、美しい緑の目をしてるの。」 (形容詞)

Green is my favorite color. 「緑は私の好きな色です。」 (名詞)

I went abroad for the first time at the age of twenty.

「二十歳の時に初めて外国に行きました。」 (名詞)

I couldn't believe how much she had aged.

「彼女、信じられないほど老けたよ。」 (動詞)

Today is my birthday. 「今日は僕の誕生日です。」 (名詞)

I went to school today. 「今日、学校へ行きました。」 (副詞)

(2) 文 (sentence)、節 (clause)、句 (phrase)、単語 (word) といった、文構成の単位を理解すること。

文：文とは、単語があつまって1つのまとまった意味をなすもので、主題になる部分と主題について述べる部分とで構成されている。

節：2単語以上の集まりで、主語と述語の関係が認められ、かつ、より大きな文の一部になっているもの。「文中の文」とも言える。

句：2単語以上の集まりで、1つの品詞の働きをするもの。主語・述語の関係は認められない。

単語：文を構成する最小の単位。

I am a boy. (文一つで構成されている文。単文という。)

He studies very hard. (同上)

I know that he comes from Hokkaido. (下線部が節で、know の目的になっている名詞節。he が主語で、comes が述語動詞。複文という。)

I love her because she is kind and pretty. (斜字体部が主節、下線部が従属節。これも複文である。)

She is happy but I am sad. (2つの節が等位接続詞 but で結ばれている。重文という。)

I was born in London. (場所に関する副詞句)

I got up at eleven this morning. (両方とも時に関する副詞句)

She cooked dinner with great care. (様態に関する副詞句)

I am in debt. 「借金があります。」 (形容詞句)

(3) 主語 (subject)、目的語 (object)、補語 (complement) といった、文の基本要素の術語を理解すること。

主語 (主部)：主題、話題の中心になる語、部分。それについて述部で話す対象。

述部：主題について何かを述べる部分で、通常動詞から後の部分全体。

目的語：動詞の表す動作・影響のおよぶ対象となる語句。

補語：述語動詞の叙述を完全なものにする語句。主語もしくは目的語の内容説明。

文は主部と述部に大きく二分されますが、動詞と目的語は切り離して考えてはいけません。「主語 / 動詞 + 目的語」が基本構造です。

I am a boy. 「ぼくは少年です。」

[主語 (I) + 動詞 (am) + 補語 (a boy)] → SVCの文型

He drank a lot of wine. 「彼はワインをたくさん飲んだ。」

[主語 (He) + (他)動詞 (drank) + 目的語 (a lot of wine)] → SVOの文型

My father gave me a new dictionary. 「父は僕に新しい辞書をくれました。」

[主語 (My father) + (他)動詞 (gave) + 目的語 1 (me) + 目的語 2 (a new dictionary)]

→ SVOOの文型

John made Mary happy. 「ジョンはメアリーを幸せにしました。」

[主語 (John) + (他)動詞 (made) + 目的語 (Mary) + 補語 (happy)] → SVOCの文型

Everybody knows that the earth is round. 「誰も地球が丸いことを知っている。」

[主語 (Everybody) + (他)動詞 (knows) + 目的語 (that the earth is round)] → SVOの

文型

※平叙文では、主語が動詞の左側、つまり文頭の位置にくるのが原則です。

(4) 自動詞（目的語をとらない）と他動詞（目的語をとる）の区別をきちんとつけること。

例えばこれが、受け身文を作れるか作れないかにつながっていきます。英語の受け身文は、他動詞でしか作れません。

◇ 自動詞を使った例文：

I am a boy. 「ぼくは少年です。」

I go to Kokugakuin University. 「私は國學院大學に通っています。」

I walk in the park every day. 「毎日公園を散歩します。」

She remained silent. 「彼女は黙ったままだった。」

◇ 他動詞を使った例文：

I like apples. 「リンゴが好きです。」

I play baseball. 「私は野球をします。」

The cat ate the cheese. (能動態) → The cheese was eaten by the cat. (受動態)

「その猫がチーズを食べた。」 → 「チーズはその猫に食べられた。」

Everybody loves her. (能動態) → She is loved by everybody. (受動態)

「みんな彼女が好きだ。」 → 「彼女は皆に好かれている。」

(5) 動詞は使い方によって形を変えること。

形と意味は呼応しているともいえます。write と be 動詞を例にとって説明します。

◇ 現在時制では、主語が3人称単数のときだけ形が変わって、-s がつきます。

I write a novel. You write a novel. (単数) He / She writes a novel.

We write a novel. You write a novel. (複数) They write a novel.

◇ 過去時制ではすべて同じ形になります。

I wrote a novel. You wrote a novel. He / She wrote a novel.

We wrote a novel. You wrote a novel. They wrote a novel.

◇ Be 動詞の場合には、もっとたくさん形が変わります。ついでに、student の数が連動して変化することにも注意してください。

I am a student. You are a student. He / She is a student.

We are students. You are students. They are students.

◇ Be 動詞の過去形は次のようになります。

I was a student. You were a student. He / She was a student.

We were students. You were students. They were students.

さて今度は、いろいろな意味に応じて形を変えてみましょう。主語は、I にします。

I will write a novel. (未来表現)

I have written a novel. (現在完了)

I will have written a novel next month. (未来完了)

I am writing a novel. (現在進行形)

I was writing a novel. (過去進行形)

I have been writing a novel. (現在完了進行形)

I told him (that) I had been writing a novel. (時制の一致による過去完了進行形)

I will be writing a novel about this time next year. (未来進行形)

If I write a novel, it will sell like a pancake. (仮定の表現)

If I wrote a novel, it would sell like a pancake. (仮定法過去)

If I had written a novel, it would have sold like a pancake. (仮定法過去完了)

(6) 日本語にはない品詞があること。

I bought a new dress. The dress was very expensive. (冠詞)

Mom is in the kitchen. She is slicing bread with a knife. (前置詞)

This is the house that Jack built. (関係代名詞)

This is the house where I was born. (関係副詞)

(7) 動名詞、現在分詞、過去分詞、不定詞と言われる形で、一定の意味・文法上の働きをするものがあること。

Stop smoking for your health. 「健康のためにタバコをやめなさい。」

☆ 動名詞が名詞として扱われて、目的語になっている。

I am writing a term paper on the history of the English language.

「英語の歴史に関する学期末レポートを書いているところです。」

☆ be動詞が現在分詞形 ~ing と結びついて、進行中の行為を表す。

I have just finished writing a post card to my friend in London.

「ロンドンにいる友人に絵葉書を書いたところです。」

☆ have と過去分詞が結びついて、現在完了の意味を表す。

I was scolded by my teacher. 「先生に叱られた。」

☆ be 動詞と過去分詞形が結びついて、受身文になる。

I hurried to the station to catch the last train. 「終電に乗るために駅へ急いだ。」

☆ to 不定詞で、この場合目的を表す副詞用法の不定詞になる。

To tell you the truth, I am a computer nerd.

「本当のことを言うとね、オレ、コンピュータおたくなんだ。」

☆ 同じく to 不定詞だが、目的ではなく、熟語的な独立用法。

(8) 相当語句といって、名詞や形容詞そのものではないけれども、文法上それと同じ働きをするものがあるということ。

Seeing is believing. 「百聞は一見にしかず。(見ると信じることになる。)」

☆ 動名詞が名詞相当語句として、主語、補語に使われている。is believing は進行形ではない。

I forgot to post the letter. 「手紙を出すのを忘れた。」

☆ 不定詞が名詞相当語句として目的語に使われている。

I think that she was late for the appointment on purpose.

「彼女はわざと約束に遅れたと思う。」

☆ that 節が名詞節、つまり名詞相当語句として使われ、目的語になっている。

I make it a rule to study English at least three hours every day.

「毎日少なくとも3時間英語を勉強することになっている。」

☆ to 不定詞の句が名詞相当語句として使われ、形式目的語 it の内容を示している。

Under the tree is a good place to take a nap.

「木の下が、昼寝をするのにいい場所です。」

☆ 前置詞句が名詞相当語句として、主語に使われている。

I am in good shape. 「調子がいいです。」

☆ 前置詞句が形容詞句として使われ、補語になっている。

(9) 英語の語順はかなり固定しているということ。

基本的に英語は、「主語＋述語動詞＋○＋△…＋□.」の語順をもっています。主語と動詞または助動詞が倒置されると、たとえば、疑問文になるといった、大きい文法上の変化が現れます。

I went to school yesterday. 「昨日は学校に行きました。」

☆ 「主語＋動詞 …」で平叙文。

Do you go to school by train? 「電車で学校に通っているのですか？」

☆ 「助動詞＋主語 …？」で疑問文。

I always get up at six. 「いつも6時に起きます。」

☆ 頻度の副詞は、一般動詞の時にはその直前に置く。

I am always happy. 「私、いつもハッピーよ。」

☆ 頻度の副詞は、be 動詞と使うときには、be 動詞の後に置く。

Mary gave John a box of chocolate.

「メアリーはジョンに、一箱のチョコレートをあげた。」

☆ 「人にものを…する」の表現形式で、2つの目的語はこの順番でなければならぬ。入れ替えるときには次のようになり、意味関係を明示する前置詞が必要になる：

Mary gave a box of chocolate to John.

「メアリーは一箱のチョコレートを、ジョンにあげた。」

Are you a doctor? 「お医者さんですか？」

☆ 疑問文だから主語と動詞が倒置される。

Who are you? 「どなたですか？」

☆ Wh-疑問文でも同じこと。

How old is your mother? 「お母さんは何歳ですか？」

☆ 同上。

What a good boy he is! 「なんていい子だ。」

☆ 感嘆文。疑問文ではないから、he is の語順。

I don't know where he went yesterday. 「彼が昨日どこに行ったかわからない。」

☆ 間接疑問という形式で、元の文は Where did he go yesterday? だが、もはや文全体は疑問文ではないので、平叙文と同じ語順になる。

(10) 動詞の性質によって文の構造が決定されるということ。

いろいろな性質を基準にしていろいろな分類が可能です。基本5文型もその一例です。目的語に動詞由来の語を使用する場合に、不定詞になるか動名詞になるかの違いもその例ですし、進行形になれるかなれないかもその例です。

◇ 基本5文型の例（目的語と補語の取り方による分類）

I run every day. ☆ 完全自動詞（補語が不要という意味で完全） SV

I am happy. ☆ 不完全自動詞（補語が必要） SVC

I like apples. ☆ 他動詞（目的語を1つとる） SVO

I bought my daughter a new dress. ☆ 他動詞（目的語を2つとる） SVOO

I made my wife happy. ☆ 他動詞（目的語と補語をとる） SVOC

◇ 目的語が動名詞か不定詞かによる分類

I enjoyed talking with you. （× I enjoyed to talk with you.）

I decided to go abroad to study sociology.

（× I decided going abroad to study sociology. ただし、onを入れて、I decided on going abroad to study sociology. とは言える。）

◇ 進行形になれるかどうかによる分類

The man was walking toward the Tokyo Tower.

☆ 行為・動作動詞だから進行形になれる。

He resembles his father. 「彼は父親に似ている。」

☆ 状態動詞だから通常進行形になれない。(注意：× He is resembling his father.)

Roses smell sweet. 「バラはいい香りがする。」

☆ 状態動詞だから進行形になれない。

(注意：× Roses are smelling sweet. ただし、意図的な行為をあらわす意味で使われている時には進行形が可能：She is smelling roses. 「彼女はバラの香りをかいでいる。」)

(11) 規則動詞・不規則動詞の現在形・過去形・過去分詞形は全部覚えねばなりません。

(紙媒体の) 辞書では末尾にまとまっています。

(12) 名詞が単数か複数か、可算か不可算かを英語の論理・習慣によって判断すること。

また、不規則な作り方を含めて、名詞の複数形は主要なものを覚えねばなりません。

boy — boys, lady — ladies, man — men, child — children, ox — oxen,
tooth — teeth, potato — potatoes, wolf — wolves, salmon — salmon (単複同形)

なぜ名詞なのにここに入れているかということ、英語では主語が単数か複数かで動詞の形が変わります。ですから、単数・複数の見分けがつかないと正しい形の文を作ることができないのです。「連動した変化」を認識することが重要です。

(13) 英文には必ず主語が必要であると理解すること。

日本語では「晴れだ。」と主語なしの表現が可能ですが、英語では、It's fine. のように、たとえ形式語であれ主語が必要です。また、日本語では通常主語にならないものも主語になることがあるということ。主語にする言葉がないときに、it などの形式語(虚辞)を使ったりすること。

Despair drove him mad. 「絶望で彼は気が狂った。」←「絶望が彼を狂わせた。」??

※注意：副詞句のように訳すと自然な日本語になることが多い。

You have a stain on your coat.

「コートに染みがついてるよ。」←「あなたはコートの上に染みを持っている。」??

※注意：英語はこんな風に、have をとことん使って表現することが多い。

The twentieth century saw a great progress in medicine.

「20世紀には医学のたいへんな進歩がみられた。」←「20世紀は医学のたいへんな進歩を見た。」?? ※擬人法なら日本語でもあり得る。

It is fine today. 「今日は晴れです。」

It is five o'clock now. 「今、5時です。」

It is seven miles from here. 「ここから7マイルの距離です。」

(14) (13) の続きですが、英語は形式語（虚辞）を多用する言語だということ。

形式語は意味内容をもたないので、間違っても「それ」と訳さないこと。「それ」と訳すということは、前に出てきた名詞を受けている内容があるということです。

It is three o'clock sharp. 「きっかり3時です。」

It is windy today. 「今日は風が強い。」

It is good for your health to get up early every day. 「毎日早起きするのは健康にいい。」

It's up to you to decide. 「決めるのは君の責任だ。」

I make it a rule to study Chinese for two hours every day.

「毎日中国語を2時間勉強することになっている。」

It was a white dress that Jane wore at the party.

「ジェーンがパーティで着たのは、白いドレスだった。」 ☆ いわゆる強調構文

There is a cat on the bridge. 「橋の上に猫がいる。」（「そこに」とはならない。）

There is no knowing what may happen in the future. 「将来何が起こるかわからない。」

(15) 冠詞が意味にとって大きな役割を果たしていること。

① Do you have time? (= Are you free?) 「時間がありますか? / 暇ですか?」

Do you have the time? (= What time is it now?) 「何時ですか?」

- ② We went to the sea. (= We went to the beach.) 「私たちは海に行った。」
He went to sea. (= He became a sailor.) 「彼は船乗りになった。」

(16) 参考までに、別の品詞についてもちょっと付け加えます。

◇ 形容詞の場合、比較の概念があるものと、ないものがあります。

I am happier than you. 「あなたより私の方が幸せです。」(比較可能)

He is dead. 「彼は死んでいる。」(死んでいるか生きているか二者択一の世界なので、比較の概念はない。) (× He is more dead than that man.)

◇ 名詞の直前に置かれて名詞を修飾するタイプの形容詞と、述部に使われるタイプの形容詞があります。両方の用法を持つものと一方しかないもの、両方に使えるが意味が異なるものがあります。

① 両方に使えて意味が同じもの：

a happy girl. 「幸せな少女」

I am happy. 「私は幸せです。」

② 述部(補語)にしか使えないもの：

The baby is awake. 「赤ん坊は目覚めている。」(× an awake baby)

The baby is asleep. 「赤ん坊は寝ている。」(× an asleep baby)

③ 意味が異なるもの

the present members 「現在の会員」

The members are present. 「会員は出席している。」

◇ 人を主語にとれる形容詞と取れない形容詞があります。

Sunday is convenient for / to me. 「日曜日が都合がいい。」

(× I am convenient on Sunday.)

◇ 英語の否定の概念と様式は把握しにくいので、特に注意して学習してください。

☞ 以上、基本要素と動詞を中心に、英語学習の際の目の付けどころについて簡単に説明しました。各品詞や構文、文法事項により注意すべき点が異なります。ここにあげたことを土台として学習を続けてください。わからないことは、遠慮なく先生に質問してください。



スコットランドの首都エディンバラでは、民族衣装「キルト」を身にまとい正装した男性が街角でバグパイプを演奏する姿を見かけます。タータンチェック柄で知られますが、柄は氏族（クラン）ごとに異なります。演奏する曲の定番は、*Scotland the Brave* という曲です。

5 英語の辞書・辞典について

1. 英語の辞書を引こう

英文を読んでいて、知らない単語に出会ったら、どうしますか？ 当然手元にある英語の辞書を引きますね。多くの人はおそらく電子辞書でしょう。あるいは携帯電話で検索でしょうか。いずれにせよ、未知の単語、わからない単語などがあつたときは辞書や辞典を引かざるを得ませんね。大学の授業で専門的な英語を学ばば、なおのこと辞書や辞典を引く回数が多くなるはずで。さらに言えば、英文を読むときだけでなく、書くときにも、話し、聞くときにも辞書はかならず必要になります。語学学習には辞書や辞典はなくてはならないものです。ですから、辞書・辞典の基本的な引き方を学ぶことは、今後の英語学習に欠かせないことになります。

辞書を引くことは大切なのですが、多くの人が知らない、あるいは分からない単語だけを引いて、しかもその意味だけを調べて終わってしまっているようです。せっかく辞書を引いたら、必ず「辞書を読みましょう」。関連する事項をチェックしましょう。

以下に具体例をあげながら、辞書の引き方、使い方を述べます。

“Grandfather’s Clock”という歌があります。日本では「おじいさんの古時計」で知られている歌ですが、元々はアメリカの歌です。この歌を多くの歌手が歌っていますが、日本のポップシンガーの一人も英語で歌っています。その歌のなかで、一箇所だけ、発音がまちがっているところがあります。発音のうまい、下手ということではなく、またネイティブ・スピーカーの発音かどうかという問題ではなく、明らかに単語の発音が間違っているのです。その単語を辞書を使って、発音を調べ、意味を確認しておけば、このようなミスは防げたはずで。

では、どこでしょうか？ それは、his spirit was pluming for flight. というところです。この pluming という単語を、その歌手は「プラミング」と発音しています。「すもも」や「プラム」の plum から連想してしまったのか、pluming をそのように発音してしまっていますが、その発音ではこの文脈では通じません。「プラミング」という音で、表される英単語はもうひとつあつて、これは plumb に ing がついた、plumbing です。mb で終わる単語の b は発音しないことは、climb などでみなさんは承知していることでしょう。でも、この歌で plumb、つまり「配管」は関係ありませんし、確かに動詞もあつて、「垂直に垂れる」となっていますが、ここでは意味不明です。

ここで一つ英語のつづり字のことでみなさんが知っていることを思い出してみてください。それは、makeやtakeにingが続くときは、どうなるかという点です。

そうです、「eを取ってing」という決まりです。pluming というつづり字を歌詞のなかで見たときに、この決まりを歌手や音楽プロデューサーなどは思い出してみて、辞書を引いてみるべきだったのです。

さあ、みなさんも手元にある辞書を一紙のものでも、電子辞書でもいいですから一引いてみてください。この歌詞の文脈で一番ふさわしい意味を持つ単語はどれか、「辞書を読んで」みてください。電子辞書ですと、一単語しか表示しませんが、紙の辞書であれば、問題となっている単語の前後の単語まで見ることができますね。

では、以下の三つの単語を調べてみてください… plum plumb plume

どうでしょうか？ 最後のplumeのところ「羽根がはえる、飛ぶ」という意味が載っていると思います。動詞あるいは v, vi, vt と書いてあるはずですが、そして、発音記号や発音の注意書きの部分もよくチェックしてください。これは、「プルーム」という音になることが書かれているはずですが、最後の e を取って、ing がついているので、pluming は「プラミング」ではなく、『プルーミング』という発音になるのです。この歌詞は、全体で「おじいさんが亡くなり、おじいさんの魂に天使のような羽根が生えて飛び立ち、天国にのぼっていった」ということを表現しているのです。

手元の電子辞書で、pluming で検索してみると、一番上に plume が来ましたが、pluming というスペリングの単語は一覧のなかにはありません。ここが電子辞書の欠点で、単語の意味などをピンポイントで探すときは、とても役に立つツールなのですが、つづりや意味などが不明な単語を調べるときは、むしろ従来からある紙の辞書を使って、対象となる単語の前後左右を「探索」してみたほうがはるかに有効なのです。

同じことは take についても言えて、taking を引くと「取ること、収益」のような意味が普通載っているだけで、take の～ing 形という説明は載っていません。つまり、しっかりと動詞の変化、take-took-taken / taking を覚えておかなければいけないわけです。

さきほど、「動詞あるいは v, vi, vt」と書きましたが、動詞や名詞は「品詞」と呼ばれるものです。これも最低限知っておくべき英語のルール (minimum requirements) の一つです。それから、vi は自動詞、つまり「自立できる動詞」で、Time flies. の flies がそうで、「時は飛ぶ」という意味になります。fly の後には、ここではなにも必要ありません。でも、「紙飛行機を飛ばしたい」という場合は、I want to fly a paper plane. となり、fly のあとに「～を」という単語＝目的語が必要になります。自立していないで、「他のものを必要

とする」ので、「他動詞」と呼ばれ、vtと書かれています。辞書にもよりますが、動詞の区別として [自] とか [他] と書かれている場合もあります。

また、せっかく辞書を引いたら、文型もチェックしておきましょう。SVO や SVC など例文とともに調べておくことが大切で、marry = 「結婚する」だけでなく、Will you marry me? は、SVO の形で、marry はその後に前置詞は必要ないということを確認しましょう。日本語の「～と結婚する」につられて marry with としてしまいがちです。一方、「～と結婚している」という場合は、be married to ～となり、to が必要となります。辞書を引き、品詞や文型、発音などを調べることは、TOEFL や TOEIC などの英語の検定試験に必ず役に立ちます。

また、辞書には語源や語幹・語根などが説明されている場合もあります。たとえば、passport は、port 「港」を pass 「通過する」ことが語源となっていることが説明されていたり、happy の反対語が unhappy で、possible なら impossible のように、un や im が「反対、逆の意味」を示すことが解説されています。また、-able が語の最後にくれば、「…可能、できる」の意味だということが予測できます。このような説明が辞書・辞典には記されています。自分の語彙、単語力、ボキャブラリを鍛える上でも、辞書は必須なものです。辞書を引いたら、読み、確認すること。単語は、正しい発音と正しいつづりと意味でしっかりと覚えること。そのためには辞書は欠かせません。

大学生の段階になって辞書を引かないで、語学が上達することはないと言ってもいいでしょう。

2. 辞書・辞典について

では、実際にみなさんは、どういう英和辞書を使っていますか？ 英語に関する辞典を何冊持っていますか？ いつも手元においてある愛用のものはなんですか？ 電子辞書ですか、紙の辞典ですか？ 英語の授業のときに必ず辞書を持参していますか？

英語に関する辞書・辞典について、疑問点が多々あると思いますが、「これだけは」という大切なことを3点にまとめました。

- (1) 語学を学ぶためには必ず辞書を使う。授業には必ず持っていく。
- (2) 辞書・辞典は用途や目的に応じて「使い分ける」…辞書には種類がある。
(学習辞典、中辞典、大辞典、英英、和英、同義語・シソーラス、図解など)
- (3) 辞書・辞典を使う前には、必ず「序文」「この辞書の使い方」を熟読する。

(1) 語学を学ぶためには必ず辞書を使う。授業には必ずもっていく。

この点については、これ以上言うことはありません。英語に限らず、何語を学ぼうと辞書・辞典を引かずして、語学学習の進歩はありません。予習、復習に辞書を使うのはもちろんのこと、授業のときも必ず手元に置き、いつでも引けるようにしておきましょう。辞書を引く、辞典を調べる労苦をいとわないこと — No pains, no gains !

(2) 辞書・辞典は用途や目的に応じて「使い分ける」。

「どの英和辞書がいいのだろうか」とか「英英辞典は持っていたほうがいいのでは」、あるいは「どこの会社の和英がすぐれているのか」などといった疑問を持ったことがあるでしょう。みなさんの中には、高校の指定のものをそのまま使っている人もいるでしょうし、違う種類の辞書を何冊かもっている人もいるでしょう。大切なことは、「辞書をなにか一冊ですべて済ませる」という発想ではなく、それぞれの用途や目的に応じて使い分けるという考え方です。紙の辞書には紙の辞書の、電子辞書には電子辞書のよい点、利点と不便な点、劣っている点とが、それぞれあるのです。その意味では、いろいろな英和や和英、英英など、いろいろな辞書や辞典が一つになっている電子辞書は便利です。

(3) 辞書・辞典を使う前に、必ず「序文」「この辞書の使い方」を熟読する。

(3) は、(2) のことと深い関係があります。必ず、辞書・辞典がどのような目的で編纂されているのかを「序文」や「はじめに」あるいは「辞書の使い方」で読んで、確認する必要があります。「序文」などをしっかり読んで、辞書は目的によって使いわけましょう。ですから、ある辞書一冊で何事も済ませることも的外れですし、「わたしは学習辞典を卒業した」と考えるのも的外れです。

❖ 「学習辞典」とは？

『学習辞典』とは、収録語数が5、6万語くらいの辞書で、単語の意味、発音から文法的な説明、また語源や文化的な説明事項まで、図や絵や表などを載せて詳しく説明してあるものです。『Eゲイト英和辞典』(ベネッセ) や『スーパー・アンカー英和辞典』(学習研究社) が有名です。また、『プラクティカル・ジーニアス』(大修館) も非常にすぐれた辞書です。

たとえば、英作文のときや英文で e-mail の返事をするとき、「この英文は正しいのだろうか」「この動詞のあとにはこの前置詞でいいのかしら」と思ったときなどに、学習辞典を調べてみるととても役に立ちます。収録語数は少ないながら、詳しい語法的、構文的、文

法的説明が載っているのが特長です。また、日本の英和辞書は世界一すぐれていると言われるほど、日本人学習者のかゆいところに手が届く配慮がなされており、たとえば、〈間違いやすい発音〉や〈発音のポイント〉あるいは《文化的な説明》などもたくさん書かれています。是非とも引いた単語の意味を調べるだけでなく、単語の説明や解説、語源の情報などを「読んで」ください。

また、調べた単語の同義語や反義語、関連する語も示されています。語彙を増やすのに大いに役立ちます。

❖ 「中辞典」について

この『学習辞典』に新語や専門用語などを加えてあるのが、『中辞典』です。『ジーニアス英和辞典』(大修館)や『プログレッシブ英和辞典』(小学館)、『アンカー・コズミカ英和辞典』(学習研究社)などが有名です。収録語数は10万から15万語程度のものです。新しい語や専門的な語句などを載せているために、『学習辞典』のような詳しい文法的な説明や日本人が間違いやすいポイントの説明などは期待できません。例文などもかなり減ってきます。とはいえ、メディアの英語や時事英語、TOEIC や TOEFL などの「資格英語」を勉強するためには、最低でも、こうした『中辞典』が必須となります。多くの電子辞書がこのレベルの辞書を搭載しているはずです。

❖ 「大辞典」とは？

代表的なものに、『ジーニアス大英和辞典』(大修館)、『ランダムハウス大英和辞典』(小学館)や『リーダーズ英和大辞典』(研究社)などがあります。より専門的な用語、術語、熟語などを調べるためには、大辞典が必要です。収録語数は30万語以上です。英語を専門的に勉強したいと思っているひと、英語の教員免許を取ろうと思っているひとは、持ち運ぶことは難しいので、自宅に一冊備えておいてください。また、自分の手元の辞書を調べて、探している単語が載っていないときは、ぜひとも図書館に行って、『大辞典』を引いてください。

❖ 「英英辞典」について

その他、英語を英語で説明してある『英英辞典』も役に立ちます。Longman 社のものやOxford 社のものがあります。ある単語をやさしい英語で言い換えたいとき、別の英語でどう言ったらいいか迷ったとき、こういうときは『英英』を引いてみてください。厚手のものではなく、薄いものでいいですから、一冊持っているとう便利です。特に、単語の中心的

意味を調べたいときには『英英』が役に立ちます。happy はいつも、「幸せな」という訳語しか頭に浮かばない一語一義主義的思考に陥っているひとは、試しに『英英』を引いてみてください。

それから、『英和辞典』を引いてもびったりとした訳語がないとき、『英英辞典』を引き、中心的意味を確かめ、訳語を思い巡らしてみることも勉強になります。『英和辞典』に載っているのは、あくまで代表的な訳語ですから、自分で中心的意味を確かめ、文脈に合う意味を自分で作ってみてください。

それから、英英辞典の最大なものに *Oxford English Dictionary* (OEDと呼ばれています) があります。図書館には必ず所蔵されていますし、現在は CD-ROM も入手できます。この OXFORD 社のすべての辞書がコンピュータを通じて無料で利用できることをお知らせしておきます。大学内のパソコン (学内LAN) からのみ利用可能ですが、学内LANから図書館のHPに入ると、OXFORD から出版されているすべての辞書が利用できます。一度試してみてください。Give it a try!

❖ こんな辞書の引き方もある

たとえば、absurd という単語です。手元の辞書・辞典でこの単語を引いてみてください。どのような意味が載っていますか？ 品詞 (動詞とか名詞とか形容詞といった単語の種類) は何ですか？ 注意する点などは書いてありますか。

あるとき、「これまでのアメリカの200年以上に亘る歴史について、一時間あまりですべて話すのは absurd である」という英語に遭遇したことがあります。absurd を引けば、「不条理な」「不合理な」「ばかげた」などの訳語が並んでいます。でも、これらの訳語ではどうも上の文脈に合わない。そこで『英英辞典』を引いてみました。すると、impossible という同義の単語が説明にありました。こうして、「不可能」に近い意味があることを確認し、文脈に合わせて、「無理な、無茶な」という訳語を思いつきました。念のため『和英辞典』を引いてみると、不思議なことに「無理な」「無茶な」のところに absurd とありました。こういう辞書・辞典の使い方もあるのです。

❖ 「英英辞典」も使ってみよう

また、英英辞典を引くと、英語の癖、特徴が学べます。いわば、英語の「結論を先に言う」というものです。あるいは、大きく主張して、細かいこと、説明・理由などはそのあとに言うという英語の特徴が英英辞典を引くと理解できます。たとえば、spider を引いて

みてください。ある英英辞書は、以下のように書いてあります。

a small creature with eight legs, that uses threads from its body to make a web [=a kind of net for catching other insects]

まず、「小さな生物」と大きく言うておいて、「八本足がある」、that と来て、「からだからの糸を使う。目的はウェブを作るため」と続いています。日本の事物などを英語で説明するときにもこの方式でやればいいのです。(余談ですが、英語はインターネットの情報網をくもの巣と捉えているのです。日本語は網ですね。) 英英辞典を使うことで、こうした英語の説明の仕方、論理を習得できます。

また、英英辞典を引くと、同義語や同じ意味の別の単語が載っていますから、単語力(ボキャブラリ)の増強になります。こまめに英英辞典を引いて、ノートに書き写したり、自分なりの英単語帳や英単語カードを作ることをお勧めします。

❖ 語彙を増やすためには「類語辞典(シソーラス)」も便利

「思う」を意味する英単語をいくつ言えますか? すぐに think は思いつくでしょうが、それ以外の単語はどうでしょうか? 「何かを信じるくらいに強く思う」のであれば、believe がありますし、「根拠もなく適当に思う」のであれば、guess があります。期待感を持って思うのであれば、hope でしょう。「残念だけど、そう思う」のなら、I'm afraid を使うでしょう。「確信を持って思う」のなら、I'm sure です。

このように、「思う」に類する語、同じ意味を持つ語またはその語に関連が深い語句をまとめた辞典もあります。一般的に「類語辞典」や「類義語辞典」あるいは「シソーラス」と呼ばれています。同じような意味の語や語句をまとめて習得できるので、語彙を増やすためにはこうした辞典はとても便利です。

さらに言えば、単に辞書で単語を調べるだけでなく、こうしたいわば類似の語や関連する語や語句を自分なりに一覧表にしたり、ノートなどにまとめると、とても勉強になります。

❖ 「その他の辞書・辞典」

その他、図解入りの「図詳辞典」や、俗語や隠語、アングラの言葉を扱った『俗語辞典』などもあります。またニュースや新聞などの時事的なことを収録した『時事英語辞典』などもあり、時事英語の授業に役立つはず。また、日本文化を紹介する辞典や、

しぐさやジェスチャーなどの、いわば言葉ではない非言語的な文化、習慣などを扱った辞典もあります。

❖ 「日本人が一人で作ったすごい英和辞書」について

日本人が一人で作った偉大なる魅力的な辞書を一冊紹介しておきます。それは斎藤秀三郎が作った『熟語本位英和辞典』(岩波書店)、通称『斎藤英和』です。この辞典を一人で、しかも1915年(大正4年、斎藤49歳)に発行しました。ある英語の専門家のことばを借りれば、「英語を上達させたかったら、この辞典の前置詞のところをすべて読め」ということになります。「訳語」は確かに古く、もちろん新語や俗語などは載っていませんが、例文の面白さ、訳の楽しさは抜群です。有名なものに、

Love laughs at distance.

これを「恋は距離を笑う」では、学校の試験では合格点かもしれませんが、ちょっと面白くありません。ことばが生きていません。斎藤訳は、「惚れて通へば、千里も一里」です。また、He is an old sinner. は「かれは年老いた罪びと」ではなく、「頭禿(ハ)げても浮気はやまず」とくる。この小気味よい訳。日本語の持つ五七調のリズム。『学習辞典』の例文は往々にして、「早起きは三文の得」みたいなお説教臭いものが多いですが、この辞典は違います。ときどき、『斎藤英和』が古本屋の店先などで500円くらいで捨てられるように売られているときがあります。もし、見かけたら絶対に買うべき must な辞書です。最後に一言付け加えれば、この辞書は旧かな・字体で書かれていますので、その点ご注意ください。

❖ 「電子辞書」について

最後に電子辞書について、一言。辞書・辞典は用途・必要に応じて使い分けるというルールを適用すれば、たとえばちょっと海外旅行に行く時とか、短期の留学をするときなどには、電子辞書はとても便利でしょう。英和も英英も和英も国語辞書も、なかには同義語・反義語辞典まで入っているものもあるので、しかもそれがコンパクトに一つにまとまっているのだから、便利にちがいません。便利なものだと認識したうえで、辞書は目的に応じて使い分けのものだということを忘れなければ、最大限に使えばいいと思います。電子辞書に発音してくれる機能が付いていれば、発音やアクセントの勉強になります。

また、「ヒストリー」や「履歴」の機能を使って、その日に引いた単語や熟語を復習す

ることができます。自学自習です。そして、もちろん、英語の授業のときは必ず持参してください！ いずれにせよ、辞書や辞典を使いこなすことが大切です。



ウェストminster橋から見た、ロンドンのエリザベス・タワー、通称ビッグ・ベン（左は国会議事堂）。ビッグ・ベンの鐘の音は、一般的な学校のチャイムとしておなじみですね。（現在、本学のチャイムは校歌を使っています。）

6 単語はどうやったらたくさん覚えられるの？

❖ はじめに

これまでに一生懸命単語を勉強してきたはずなのに、そのほとんどを忘れてしまった。あるいは、単語の意味は覚えているはずなのに実際に英語を使う時に役に立たないといったジレンマを、皆さんの多くが感じていることでしょう。この章では、そうした皆さんの単語習得に関する疑問や問題の解決に、少しでも役に立つような情報を提供したいと思います。

❖ なぜ単語を覚えられないのか、そして使えないのか？

単語の記憶にかぎらず、単なる機械的な棒暗記は無駄骨におわりがちです。単語の棒暗記には「できるだけ覚えやすく、簡単にしよう」と、単語を1語ずつ切り離して覚えるということがよく行われます。単語帳などを使って、単語にいくつかの日本語の意味をあてるやり方で暗記をした人も多いと思います。これは一見効率の良いやり方に思われますが、実は、こうした暗記の方法では単語を覚えてもすぐに忘れてしまうのです。

人の記憶には「短期記憶」「中期記憶」「長期記憶」の3種類があります。本来、人は見たこと、聞いたことはほんの一瞬で忘れてしまうのですが、脳が「とりあえずは必要だ」と判断したこと、あるいは本人の興味があることなどは短期記憶に入れられます。短期記憶に入れられたもののうち、本人がとりわけ興味を持ったり、理解したことは中期記憶に入れられます。中期記憶は脳内の「海馬」と呼ばれる場所で、最大1ヶ月程度保持されます。この間に不要なものと重要な記憶とが選別されます。そして、脳によって重要と判断された記憶は側頭葉という場所に送られて長期記憶となるのです。例えば、一夜漬けの勉強で頭に詰め込んだ単語は短期記憶あるいは中期記憶に入れられますが、1ヶ月もたたない間に消去されてしまいます(PCのメモリのようですね)。その短・中期記憶をいかにして長期記憶へと置き換える(HDDに保存するイメージです)かが、単語を覚える、そして使えるようになるためには重要なことなのです。

以下で、単語を長期記憶に残すためのいくつかの有効なテクニックを紹介します。これらすべてに共通するのが、脳にできるだけ多くの「刺激」を与えることであるというのは、読んでもらえばすぐに分かることと思います。

❖ 動詞を覚えるとき、その後に関連する名詞などを同時に覚えよう

例えば *succeed* という動詞を覚えるとします。そのとき、*succeed* の名詞形、形容詞形、副詞形を同時に記憶することを試みます。つまり、*succeed* — *success* — *successful* — *successfully* というように、4つの品詞を1セットとして、まとめて覚えるようにします。こうすることで、一度の作業で4語を同時に増やせます。ちなみに *succeed* には「後を継ぐ」という意味もありますが、その場合の名詞形は *succession* となります。

❖ 同意語と反意語を知ろう

ある単語に同意語（同義語）や反意語（対義語）があるときは、その2語を1セットにして覚えるようにします。例えば、*succeed* の反意語は *fail* という動詞ですが、このときに「*succeed* の反対は *fail*」という一方向で覚えるのではなく、「*fail* の反対は *succeed*」というように二方向で記憶に入れるようにします。

❖ 接頭語（辞）と接尾語（辞）から、単語の意味を判断しよう

ここからは、もう少し単語の本質に焦点を当てた覚え方を学んでみましょう。ここでは *unreliable* という単語を例に説明をしたいと思います。

unreliable という単語は、*un-* と *rely* (*reli* へと変化) と *-able* の三つに分解することができます。この中で最も重要な部分が *rely* (=頼る) という動詞で、単語の意味の中心となることから語幹（語根：root）と呼ばれます。この *rely* の前（頭）に *un-* という語がついていますが、これを接頭語（接頭辞：prefix）と呼びます。接頭語は語の前につけて文法上の変化をもたらしたり、意味を付け加えたりするもので、この場合の *un-* は動詞の前に付けて反対の動作を表します。そして *rely* の後ろには *-able* という語がつけられていますが、これを接尾語（接尾辞：suffix）といいます。接尾語は語の末尾につけて、意味を加えたり品詞を変化させたりします。*-able* という接尾語はその前の語に「できる」という意味を加え、その上で形容詞化するという力を持っています。したがって、*unreliable* の意味は「頼りに (*rely*) することが (*able*) できない (*un*)」という意味の形容詞になります。

このように、見た目にはスペリングが長くて難しそうな単語でも、ある種の語は接頭語＋語幹＋接尾語の形に分解できることを知っておけばその意味を推測するための大きなヒントとなります。この方法で単語を覚えたい人には、以下の本を読んでみることをおすすめ

めします。

ホリム・ハン（著）、リチャード・キム（訳）『新装版 連鎖式英単語事典』三修社

❖ 単語の語源に興味をもとう

単語の語源に興味をもって単語を見るようになると、その語に対する理解力が深まるだけでなく、1度覚えたら容易には忘れないようになります。例えば、philosophy という英語の語源はギリシア語で、前半部の philo- は「愛すること」、後半部の -sophy は「知」のことですから、単語全体としては「知を愛すること」すなわち「哲学」の意味となります。同様に、philology の場合は、philo- 「愛すること」と -logy 「言葉または学問」との合成語なので、単語としては「言葉に対する愛」つまり「言語学・文献学」を意味することになります。英単語をたくさん覚える一番の秘訣は、結局、英語という言語に対する愛だということになるのでしょうか。「好きこそ物の上手なれ」という格言もありますしね。

❖ 電子辞書と紙の辞書の使い分けをしよう

「普通の英語学習の際には電子辞書しか使わない」という人も多いのではないのでしょうか。確かに、英語の授業中に教室に持ち込む辞書としては電子辞書が一番適していると思われれます。それでもなお、英語を勉強している皆さんには「電子辞書もいいけれど、紙の辞書も使うようにしましょう」と呼びかけたいと思います。それは、紙の辞書には電子辞書がどうしても適わない利点があるからです。

紙の辞書にあって電子辞書にない最大の特徴、それは、見開きのページで情報をいっぺんに得ることができるということです。

通常、電子辞書では「見出し語検索」機能を使って単語を選びますが、説明が長かったり、意味が複数ある場合は画面をスクロールさせて探さなければなりません。さらに、用例や成句、複合語などを表示させるには、ボタンを押して別の画面を開かなくてはなりません。このように、電子辞書の限られた大きさの画面で情報を表示するためには、前の情報を次々と消していく必要があるのです。

次に、同じ単語を紙の辞書で引いてみることにします。ほとんどの場合、見出し語、意味、用例、成句、複合語等を同じページ、あるいは見開き1ページの範囲内で読むことができます。つまり、単語の意味と使い方を同時に参照できるわけです。電子辞書では画面のスペースを確保するために消さなければならなかった情報を、紙の辞書ではすべ

て見開き1ページの範囲で提示してくれます。これだけは電子辞書には決してできないことです（将来、タブレット端末がさらに進化したたり、電子ペーパーが実用化されれば別の話ですが）。

別の欄で書きましたが、単語は他の単語との有機的な結びつきがあったときにはじめて生命をもつのです。ですから、単語の（日本語の）意味を調べたら、それが何の品詞で、どのような変化をし、どのように成句や複合語に発展し、そしてそれらがどのようにして用例の中で使われるのかを確認する作業が必要なのです。

以上のことから、電子辞書には電子辞書の、紙の辞書には紙の辞書の利点があることが分かります。その場で単語の意味をすばやく確認するには電子辞書。単語の意味と使い方をじっくりと学ぶには紙の辞書が向いているということです。つまり、授業中に使うのなら電子辞書、自宅で予習・復習を行う際には紙の辞書を使うという、辞書の使い分けが重要になってくるのです。

❖ 手で綴ろう！ 声を出そう！

最後に単語を覚えるための最も重要な秘訣を紹介します。単語を覚えるということは短・中期記憶を長期記憶へと変化させることで、そのためには脳に刺激を与える必要があることはもう分かりましたね。ここまでは頭脳を使って（つまり、読んだり、考えたりすることで）単語を記憶する方法を学んできましたが、脳に刺激を与えるにはもっと確実に効果的な方法があります。それは身体を使うということです。

単語を覚えるときには、必ずその単語の発音を辞書で調べて音読してみましょう。口と耳という身体の別の器官から脳に刺激を与えるのです。刺激が複雑になればなるほど、単語が記憶から滑り落ちにくくなります。

そして最後のしめくりとして単語を必ず手で綴るようにしてください。できれば筆記体で20回程度綴るとよいでしょう。手というのは脳の延長ともいわれます。繊細な手の動きを実現するために、脳から手には多くの神経が伸びているのです。それらの神経をフル稼働して単語の綴りを身体に、そして脳に叩き込んでください。

❖ おわりに

コンピューターはかつて「人工頭脳」と呼ばれていました。人間の脳のしくみを真似て、人工的に作られた機械だからです。確かに、コンピューターと脳とは似ている点が多いのですが、記憶の扱いに関して大きく異なります。コンピューターの記憶は、情報をデ

デジタルデータ化したものを、メモリに（そしてハードディスクに）保存していく形で記憶させます。ところが、メモリには容量というものがありますから、データはできるだけムダを省いた形で保存されることが望ましいのです。

ところが、人間の脳と記憶のメカニズムは全く異なります。短・中期記憶を長期記憶へと変えるために必要なのは、刺激という名のムダそのものなのです。

コンピューター上でやるように、一つの単語をそのままの形で暗記（保存）しようとしても、人間の脳ではせいぜい中期記憶に残るまでの刺激しか与えることができません。そこで、この章で紹介したさまざまな方法を使って、たくさんの複雑な刺激を与えてみるのです。

「こんな面倒臭いことをしなくても単語をいつでも引き出せるような記憶力が欲しい」と思う人も多いかもしれませんね。ですが、脳がこのようなくみで記憶を処理するからこそ、人はソウゾウリョク（創造力・想像力）を得ることができたのです。そして、単語の習得こそが、英語という未知の世界で自身のソウゾウリョクを羽ばたかせるための第一歩となるのです。そう考えて、是非、楽しく単語の勉強をしてみてください。



イギリス名物ジャケットポテトは、焼いたジャガイモに好みのトッピングで。

7 英語の正書法と書式

❖ ピリオドやコンマ

日本語でもそうですが、文章を書く場合、英語も独特の書き方（正書法 orthography）があります。たとえば、日本語では文の終わりには「。」をつけますが、英語ではピリオドをつけます。日本語で「 」で入れるようなことがらは、“ ”（引用符）ではさみこみます。日本語の「、」と、英語のコンマ「,」の違いにも気をつけましょう。

以下に句読点の違いを示します。間違えると、とても変です。

(変) Yesterday, I saw the film 「Mr. Incredible」 with my father's friend.

(普通) Yesterday, I saw the film “Mr. Incredible” with my father's friend.

(きのう父の友達と『ミスター・インクレディブル』を見に行った。)

ピリオドやコンマは引用符は引用符の中に入れても、外に出してもかまいません。

(普通) “Go to the library,” he said.

(「図書館に行け」と彼は言った。)

(普通) “This option”, he announced, “is not really a good one”.

(「この選択はあまりよくない」と彼は言った。)

これら句読点は個人の書き方次第でいろいろ差はあるのですが、つけかたで意味が変わってくる場合があります。以下を見てください。

Roy says Beth is going to fail math again.

(ベスはまた数学を落っこすぞ、とロイが言っている。)

これは、句読点の打ち方しだいで、以下のように意味が全然違ってきます。

“Roy,” says Beth, “is going to fail math again.”

(ロイはまた数学を落っこすわよ、とベスが言っている。)

なお、このような例は日本語でもいろいろあります。古典的な例では、ツマデキタ

(「津まで来た」と「妻出来た」)、とか、あるいは、イモウトニゲタタノム(「妹逃げた。頼む」と「妹に下駄頼む」)などですね。

❖ 大文字と小文字

英語の場合、特別なとき(掲示等)を除いて、文の始まりと固有名詞(名前、など)、そして「わたし」の I だけを大文字で書きます。ただし、特別に強調したいことなどを大文字で書く場合もあります。また大文字は、アメコミでは吹き出し中のせりふおよび「書き文字」(「ガーン」とか「バシッ」のような擬音語・擬態語)にも使われます。たとえば、登場人物が銃を撃ったときに BANG! と書いたりします。

(変) LAST NIGHT I HAD A STRANGE DREAM. (ゆうべ変な夢を見た。)

(普通) AUTHORIZED PERSONNEL ONLY. (「部外者立ち入り禁止」…張り紙)

(普通) I HATE you! (あんたなんかだいたい嫌い!)

神や父・母など、固有名詞のように思われている言葉も、大文字で書きます。

(変) Didn't dad tell you you should believe in god?

(普通) Didn't **Dad** tell you you should believe in **God**?

(神を信じなさい、とお父さんが言わなかったか?)

❖ 斜字体

斜字体(イタリック体 — italics)という字体があります。特別に強調したい部分をこれで書くことができます。

(普通) I *hate* you! (あんたなんか、だいたい嫌い!)

また、斜字体は、外来語を表記したり、本・雑誌・新聞などの名前を書くのに使われま

(普通) *Jinja*, or a shinto shrine, is different from a Buddhist temple.

(「神社」、つまり神道のやしらは、仏教のお寺とは違う。)

(普通) The book review of today's *New York Times* talks about *Harry Potter and the*

Prisoner of Azkaban.

(今日の『ニューヨーク・タイムズ』の書評は、『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』を扱っている。)

斜字体のこれらの役割は、下線を引くことでも代用できます。

(普通) I don't *think* he broke the window. I *know* he broke the window.

(普通) I don't think he broke the window. I know he broke the window.

(彼が窓を割ったんじゃないか、とか思ってるんじゃないかと、彼が窓を割ったことを僕は知ってるんだ。)

そのために、“underline” という動詞に (1) 下線を引く、(2) 強調する、という意味があることも知っておいていいでしょう。

❖ パラグラフ (paragraph : 段落)

段落を新しく始めるときは、ふつう、3～5文字分だけ空けて始めます。文章の中で、会話で始まる部分は、引用符 (“ ”) で囲み、かつ3～5文字文空けて始めます。段落も改行もない、「ベタ打ち」的な書き方は、とても読みにくく、印象が悪いので、視覚的効果もねらって、時々 (普通は話題が変わるときなどに) 改行して、段落を新しく始めましょう。

例 (変)

One morning, a mother goes into her son's room and says to him, "It's time to get up! It's the first day of the new school year!" The son scrunches down and pulls the covers up over his head. "I'm not going!" he shouts. "Why, son," says the mother, "why don't you want to go to school?" The son answers, "Because all the teachers hate me, and all the kids hate me." "Son," the mother says, "It doesn't matter if the teachers hate you. It doesn't matter if the kids hate you. You have to go to school today because everybody is counting on you. You're the principal!"

例 (普通)

One morning, a mother goes into her son's room and says to him, "It's time to get

up! It's the first day of the new school year!"

The son scrunches down and pulls the covers up over his head.

"I'm not going!" he shouts.

"Why, son," says the mother, "why don't you want to go to school?"

The son answers, "Because all the teachers hate me, and all the kids hate me."

"Son," the mother says, "It doesn't matter if the teachers hate you. It doesn't matter if the kids hate you. You have to go to school today because everybody is counting on you. You're the principal!"

(Pietsch, J., *New York City Cab Driver's Joke Book vol. 2*, Warner Books, p. 79)

なお、このお話はちょっとおもしろい joke になってますので、試しに読んでみてください。

ところで、段落（パラグラフ）の典型的な書き方が英語にはあります。それは：

- ①トピック・センテンス（段落の主題：その段落で一番言いたいこと）
- ②その後、この主題の説明・実例による例示
- ③次の段落へつなげるための導入

という構成です。例を挙げましょう。

①The Japanese enjoy the world's longest and healthiest lives, but this fortunate situation is also causing concern. ②By 2005, one-fifth of the population will be aged 65 or older; meanwhile, the birthrate has dropped to 1.3 children per women — too low to maintain today's population level. ③No country is aging as quickly as Japan, though many other industrialized countries have similar problems. ④Will Japan's already weak economy weaken more due to this population imbalance?

①は「日本人はとても長寿だが、そこには深刻な問題がある」というトピック・センテンスです。これを説明したり、補足したりするのが②の2つの文です。「人口の高齢化」「少子化」「先進国でも類を見ないほど早く進行する高齢化」が述べられていますね。そして最後に③「日本経済はこの少子・高齢化でさらに弱体化していくのだろうか？」と述べて、

次の段落へのつなぎとしています。

このような典型的段落構成は、読者にとっては読みやすいため、そして書き手にとっても書きやすいため、非常に頻繁に用いられます。典型的には新聞記事や英米の学校で使われる教科書のたぐいは、必ずこの手法で書かれています。また、この書き方をすることで、自分の言いたいことが劇的に伝わりやすくなりますので、是非真似てみてください。もちろんこの段落構成法は、課題レポート、(卒業)論文などの日本語での文章書きにもきわめて有効です。

❖ 接続詞

まとまった文章を書く場合、いろいろな接続詞を使うことで、文章の意味がすっきりしたり、わかりやすくなります。しかし、接続詞の使い方には、意外に知られていないきまりがあります。次の文を読んでみてください。何か変だと思いませんか？

Beth didn't go to a doctor. Because I told her not to.

(ベスは医者に行かなかった。僕が行くな、といたからだ。)

この英文は、because, when, while などの「従属節」を導く接続詞は、文を2つに分けてはいけない、というきまりに反しています。もちろん、話し言葉ではかまわないのですが、書き言葉では「よくない英語」とされています。正しくは次のようになります。

Beth didn't go to a doctor because I told her not to.

ただし、therefore や nevertheless を使うときには、文をピリオドで切るか、セミコロン(;) でつなげましょう。

(変) He was stealing money from the company, therefore, he was fired.

(正) He was stealing money from the company; therefore, he was fired.

(彼は会社の金をネコババしていた。だからクビになった。)

❖ ハイフンとつづり

Japanese-American (日系アメリカ人)、Sino-Japanese relationship (日中関係) のように、語と語をハイフンでつなぐ場合があります。また、複合的な語で、ハイフンを使う場

合があります。passer-by や mother-in-law、baby-sitter などです。email / e-mail のようにどちらでも構わないものもあります。

また、wheelchair (車いす) のように、あきらかに wheel プラス chair なのに、ハイフンでつながないものもあります。そのため、迷ったら辞書で確認することが大切です。ほかには、a twenty-year-old man (20歳の男性) とか、a five-hundred-page book (500ページの本) のように、数字のからんだ言い方でも用いられます。なお、ハイフンでつないだ場合は、five-hundred-pages-book と複数形を使うことは普通はないことにも注意しましょう。

英語と米語で綴りが違うものがあります。

(米) center	(英) centre
(米) jail	(英) gaol
(米) favor	(英) favour
(米) traveling	(英) travelling
(米) realize	(英) realise

などです。どちらを使っても構いませんが、同じ文章の中では統一した方がいいでしょう。

❖ シラビフィケーション (syllabification : 分綴法)

手書きで英語の文章を書いているときに、行末まで書いたけれども、長い単語が書ききれない、ということがしばしば生じます。タイプライターが学生さんの必需品だった20世紀終わり頃までは、これは大変な問題でした。なぜなら英語の単語は、切れるとことがそれぞれについて決まっているからです。(これを syllabification 「分綴」^{ぶんてつ}といいます。) しかも、その切れ目は辞書で確認しなければ確実なことはわからない、というおまけまでついています。例えば、pneumonoultramicroscopicsilicovolcanoconiosis (塵肺症) という語の場合、pneumo-ultra-micro-scopic-silico-volcano-co-ni-o-sis という切り方しかできません。やっかいですね。ちなみにこの語は英語で一番長い語であるとされています。

最近ではパソコン上のワープロソフトがすべてやってくれますので、この分綴を普段は意識しなくてもよいのですが、もしも手書きで英文の提出物を手がける場合は、行末に注

意しましょう。

❖ 作文例

さて、まとまった文章を書くという作業以前に、ちゃんとした英文を書く、ということは意外に難しいのです。たとえば以下の文章を見てください。

I'll ①introduce my family. There are three people in my family. My mother ②is gradually become dementia. ③So she always ④mistakes for person's name. For example, she wants to call me but she calls my dog's name. I haven't a father, because my ⑤pairents divorced. And my father ⑥was dead.
I have ⑦an younger sister⑧, her name is Shoko. ⑨First she was younger than me. But now she is older than my mother, because Shoko is ⑩"dog."

これは大学生にフィクションを交えて家族の紹介文を書いてもらったものの一例です。読んでいておもしろく、特に最後にちょっとしたオチがある、という点でとてもよく書けていると思います。けれども、いくつかちょっとした問題もあります。丸数字のついた下線部分が正しくないか、あるいは妙な部分です。

まず①では、問題がintroduceという言葉にあります。introduceは確かに「紹介する」という意味ですが、これは現実には人を引き合わせる、という意味なので、「文章の中で誰かについて書く」という意味ではやや不適切です。introduceを英和辞典で調べると、そのような用例がないことでわかります。なお、この文脈ではwrite aboutあたりが適当なのではないでしょうか？

②では、進行形を使うつもりが、becomeにingをつけるのを忘れてしまいました。それに、dementiaは専門的な病名（認知症）なので、becomeではなく、getあたりがよいでしょう。ただし、「年のせいでなんだかぼけてきた」と軽くいうときには別の表現がよいでしょう。

③のsoは、andやbutと同じように、コンマでつなげるのが普通です。

④では、mistakeという動詞は知っているものの、使い方があいまいだったことが原因で変な英語になってしまいました。mistakeは「…を間違える」という動詞なので、この場合はforは不要となります。ただし、この場合はshe calls people by the wrong name. あ

たりがよいでしょう。

⑤は単純なつづりの誤りです。パソコンを使っているときならスペルチェックをかけることで防止できます。

⑥は慣用語法の問題ですね。deadは「死んでいる」という状態をいうものなので、My father was dead. は「父は死んでいた」で良さそうなのですが、人は通常一度死ぬとずっと死んだままなので、My father is dead. と、通例現在形で書きます。過去形のままで「父は死んでいた。(が今は違う)」のような含みさえ出てきかねません。どうしても過去形で書きたければ My father died several years ago. のようにしましょう。

さて⑦です。youngは母音(a, i, u, e, oのような音)で始まる語ではないので、anをつけることはありません。つづりではなく、発音が問題なのですね。その他、以下を見てください。

(間違い) An European

(正しい) A European

(間違い) An useless book

(正しい) A useless book

⑧は、文と文をつなげるときには接続詞を使うのが普通である、という原則に反しています。andでつなげるか、文を新しく始めましょう。

⑨は「最初は彼女はわたしより若かった」というつもりなのですが、firstは「順序がまず最初である」という意味なので不適です。at first「はじめは…だった(が、後になると違った)」を使いましょう。

⑩は「数えられる名詞は、数えなければいけない」という原則に反しています。aをつけて、a dogとしましょう。引用符(“ ”)の必要はありません。

なお、「数えられる」名詞、「数えられない」名詞、という分け方がありますが、これらは正確には「数えなければいけない名詞」「数えてはいけない名詞」なので注意しましょう。最後に、段落を変えるときには、書き出しを3～5文字分空けましょう。

さて、先ほどの作文を全体的に書き換えると以下ようになります。(なお、上の指摘以外にも変更点があります。) ずいぶんすっきりしました。最後のオチがとてもよいですね。!(^)!

I'll write about my family. There are three members in my family. My mother is becoming more and more forgetful as she gets older, so she always calls people around her by the wrong name. For example, she wants to call my name but she calls my dog's name. I don't have a father, because my parents got divorced some time ago, and my father is now dead.

I have a younger sister. Her name is Shoko. At first she was younger than me, but now she is older than even my mother, because Shoko is a dog.



イギリス英語では、「地下鉄」は subway ではなく、underground (the unergroud railway) です。写真に public subway の文字も見えますが、イギリス英語で subway は「地下歩道」です。

コラム 2 リンカンとゲティスバーグ演説

「アメリカ国民はワシントンを崇拜し、ジェファソンを記憶し、リンカンを愛している」という評言があるように、リンカンはアメリカでもっとも敬愛される大統領の一人です。大統領の人気投票では常にトップ3に入り、今では建国の父ワシントンを凌駕するほどです。その理由は、合衆国を分裂の危機から救い、アフリカ系アメリカ人を奴隷制度の「くびき」から解放した救済者、というイメージが強いからでしょう。また、暗殺された最初の大統領、という事実も大きいようです。

リンカンは数多くの名演説を残しましたが、なかでも有名なのはゲティスバーグの追悼演説です。この演説の最後にある「人民の、人民による、人民のための政治 (government of the people, by the people, for the people)」は、民主主義の真髄をあらわす文句として知らぬ者はいないほどです。この演説は、南北戦争(1861-65年)のさなか、北軍・南軍が死闘を繰り広げた戦場の一部を国有墓地として戦没者に捧げるため執り行われた記念式典で読まれました。リンカンの前に、エドワード・エヴェレットという政治家が演説しました。当時、アメリカ随一の雄弁家として知られていたエヴェレットは、2時間にわたって弁舌をふるいましたが、次に登場したリンカンの演説は挨拶程度のごく短いものでした。途中5回ほど拍手で中断されましたが、それを含めても3分足らずでした。けれども、この272語の短い演説が後世に残る名演説となったのです。

リンカンは、みずから演説原稿を執筆しました。半分ほどホワイトハウスで書き、残りの半分はゲティスバーグに着いてから、宿舎で式典当日まで推敲を重ねて完成させました。文章には、リンカンの深い文学的教養が生かされているといます。アメリカ建国から掘り起し、生一死一再生という生命の循環に新生国家の歩みを重ね合わせ、奴隷解放による「新たなる自由の誕生」を謳いあげました。さらに、リンカンは南北戦争を世界史の流れに位置づけます。自由・平等という理念によって建国されたアメリカが存続できるか否かという問題は、単にアメリカ一国にとどまらず、世界における民主主義の可否をも問うている、と訴えたのです。

修辞表現を駆使したゲティスバーグ演説は、内容も抽象的で決して読みやすいとは言えません。けれども、何回も読み返すうちにリンカンが演説に込めた熱い思いが伝わってきます。ぜひ、原文に挑戦してみてください。

8 英語の数字をマスターしよう

英語の数字を読むのは、決して難しくありません。簡単なルールさえ覚えれば、百億の桁でも自在に読めますよ。また、年号や日付など、数字を用いたいろいろな表現にも慣れましょう。英文に数字が出てきた時に、そこだけ日本語で読むのは、今日限りです！

1. 数字と分数の表し方

数字は、3桁ごとに区切り、コンマをつけます。そのコンマの位置を、下の例のように、thousand, million, billion と読めばよいのです。コンマとコンマの間の数字は、そのまま読みます。

1, 234, 567, 809
 ① ↑ ② ↑ ③ ↑ ④ ↑
 billion million thousand

one billion two hundred thirty-four million five hundred sixty-seven thousand
 ① ② ③
eight hundred and nine
 ④

数字		読み方
十	10	ten
百	100	a [one] hundred
千	1,000	a [one] thousand
一万	<u>10,000</u>	ten thousand
十万	<u>100,000</u>	a hundred thousand
百万	1,000,000	a [one] million
一千万	<u>10,000,000</u>	ten million
一億	<u>100,000,000</u>	a hundred million
十億	1,000,000,000	a [one] billion
百億	<u>10,000,000,000</u>	ten billion

4. 日付

アメリカ式でもイギリス式でも、年号は最後につけるので、注意しましょう。月・日の書き方は、アメリカ式とイギリス式で順番が異なります。数字だけで書くと、月と日を間違えるかもしれないので、可能なら月を英語で書いた方が誤解を招かずにすむでしょう。ただし、正式な書類などで、“DD/MM/YY”という具合に桁数と順番が指定されている時は、「日・月・年」の順に、2桁ずつ記入します。例えば、2010年4月1日なら、01/04/10となります。

日付を声に出して読むときは、月は英語の月名で読みます。また、日は「the+序数詞(～番目)」で読むのが正式です。

① アメリカ式

「月・日・年」の順で、日の後にコンマをつけます。月・日のみで年号をつけない場合には、日に序数語尾 (st, nd, th) をつけます。

1776年7月4日 7/4/1776 July 4, 1776

読み方：July (the) fourth, seventeen seventy-six

2014年4月1日 4/1/2014 April 1, 2014

読み方：April (the) first, twenty fourteen

12月25日 December 25th 読み方：December (the) twenty-fifth

※ただし、イギリス式の読み方も通じます。また、アメリカの入国カードに記入する日付(生年月日等)は、イギリス式の“DD/MM/YY”の順が指定されています。

② イギリス式(イギリス以外のヨーロッパ諸国も同じ順序)

「日・月・年」の順で、日は序数の語尾(st, nd, th)をつけるのが普通です。

1066年10月14日 14/10/1066 14th October 1066 または 14 October 1066

読み方：the fourteenth of October, ten sixty-six

2014年4月1日 1/4/2014 1st April 2014 または 1 April 2014

読み方：the first of April, twenty fourteen

12月25日 25th December または 25 December

読み方：the twenty-fifth of December

5. 単位(温度、長さ) ※度量衡については、付録5を参照

「度」は degree(s) と読みます。摂氏または華氏であることをはっきりさせる場合に

は、その後に Celsius または Fahrenheit と続けます。

① 華氏 0 度 (0°F, 0° Fahrenheit)

zero degrees Fahrenheit ※ 0 度の時でも、複数形の degrees !

② 摂氏-41度 (-41°C, -41° Celsius [Centigrade])

(1) minus forty-one degrees Celsius [Centigrade]

(2) forty-one degrees Celsius [Centigrade] below (zero)

※ 華氏か摂氏かが明らかな場合には、Celsius や Fahrenheit を省略してかまいません。

100度 (100°) a hundred degrees

③ 1.65 メートル (1.65 meters) one point six five meters

④ 0.15 メートル (0.15 meter) zero point one five meter ※ 1 m未満なので単数

6. 電話番号

電話番号は、原則として、数字の棒読みです。ハイフンのところは、一息入れて読みます。同じ数字が続く場合は、double や triple を使って読むこともできます。

① 305-4826 three o(h) [zero] five, four eight two six

② 666-4444 six six six, four four four four / triple six, double four, double four

7. 時間と時刻

a. 時間の長さ：half (30分) や quarter (15分) を使った表現にも慣れましょう。

① 12秒 12 seconds

② 30分 30 minutes / half an hour / a half hour

③ 15分 15 minutes / (a) quarter

④ 1 時間半 an [one] hour and a half / one and half hours

b. 時刻：「時・分」の順に数字をそのまま読み上げます。 ※ ②③の[]内は読み方

(1) 1分から9分：時と分の間に o(h) を入れることが多い 例：two o(h) one

(2) 10分～20分、30分：時と分の間にハイフンをつけてもよい 例：two-fifteen

(3) 21分から59分：時と分の間にハイフンはつけない 例：two thirty-one

① 3時ちょうど (正時) (1) 3:00 [three] o'clock (sharp) ※ o'clock は正時のみ

(2) (just) exactly / precisely 3:00 [three] o'clock

※時刻を表す数字の前にjustを単独で置くと「まだやっと」の意味に取られます。

- ② 2時35分ちょうど (1) 2:35 [two thirty-five] sharp / exactly / precisely
 (2) (just) exactly / precisely 2:35 [two thirty-five]
- ③ 3時半 (3:30) half past three / three thirty / three-thirty
- ④ 3時5分 (3:05) five past three / three o(h) five ※後者の方が口語的
- ⑤ 3時5分前 five of three / [英] five to three (= two fifty-five)
- ⑥ 3時15分 (3:15) three fifteen / three-fifteen / (a) quarter past three
- ⑦ 3時15分前 (a) quarter of three / [英] a quarter to three (= two forty-five)
- ⑧ 午前0時 midnight
- ⑨ 正午 noon

※「～時に」は、atをつける：at 2:15「2時15分に」、at noon「正午に」

※ a.m. や p.m. は、時刻の後につける：3:23 a.m.「午前3時23分」

※ 24時間制の読み方は、時刻表などに出てくるが、日常生活ではあまり使わない。

例：23:00 twenty-three hundred (hours), 07:30 o(h) seven (hundred) thirty

8. 数字に記号やアルファベットがともなう場合

- ① 12-3 twelve dash three
- ② 321/X three twenty-one slash X

9. 数字を使った表現 (1)

「何千もの～」「何億もの～」という表現は、「数詞の複数形+of+名詞の複数形」という形で表し、新聞や雑誌の記事ではよく使われます。下の例を一通り見たら、「何千万もの」「何億もの」「何十億もの」「何百億もの」をどう表現するか、考えてみてください。

- ① 何十もの国々 tens of countries ← 後に続く名詞は複数形
- ② 何百人もの学生 hundreds of students
- ③ 何千冊もの本 thousands of books
- ④ 何万もの家々 tens of thousands of houses ← of が2回使われることに注意
- ⑤ 何十万もの魚 hundreds of thousands of fish
- ⑥ 何百万もの星々 millions of stars

10. 数字を使った表現 (2) 名詞と組み合わせて形容詞として用いる

数字と名詞をハイフンでつないで形容詞として用いるとき、名詞を複数形にしないこと

に気をつけましょう。

① 14才の少女 a fourteen-year-old girl ← year に s がつかないことに注意！

※ その少女は14才です。 The girl is fourteen years old.

② 3週間の休暇 a three-week vacation

③ 25セント硬貨 a twenty-five-cent coin / a quarter-dollar coin

④ 歩いて10分 a ten-minute walk

※ a ten minutes' walk とも言う。この場合、ハイフンはつかず、minute が複数形になり、アポストロフィ（'）がつくことに注意。

11. 人名・歴史・地理関連

歴史に関する文章には、王様の名前や戦争の名称がよく出てきますが、歴史に関する固有名詞には、ローマ数字をうことがよくあります（下の表参照）。世界大戦の読み方は特に気をつけましょう。

① エリザベス2世 Elizabeth II Elizabeth the Second

② ルイ16世 Louis XVI Louis the Sixteenth

③ 第2次世界大戦 World War II World War Two / the Second World War

④ 38度線 38th parallel thirty-eighth parallel

⑤ 北緯40度に in [at] latitude 40°N (forty degrees north)

⑥ 東経20度に in [at] longitude 20°E (twenty degrees east)

1	I	11	XI	40	XL
2	II	12	XII	49	LXIX
3	III	13	XIII	50	L
4	IV	14	XIV	60	LX
5	V	15	XV	90	XC
6	VI	16	XVI	99	XCIX
7	VII	17	XVII	100	C
8	VIII	18	XVIII	500	D
9	IX	19	XIX	1,000	M
10	X	20	XX	1,999	MCMXCIX

9 英語を話し、聞くときのコツ

大学生諸君が英語を話すのを聞いていて、まず感じるのは、個々の音が不正確・不明確である、ということです。これについてはこの冊子の「英語の発音について」を読んで、練習してみてください。この章では、日本人の大学生が気づかない、あるいは陥りやすい間違い等をいくつか列挙してみましよう。思い当たる節がきつとあるはずですよ。

(1) 子音で終わる単語に母音をつける

英語の単語は子音で終わるのが原則です。日本語の音節はほぼ必ず母音がかくっついているので、この習慣を持ち込むと、とても変ですよ。

(2) 強弱がない

英語では、文章の中で強く・はっきり・長く読まれる単語と、弱く・いい加減に・短く読まれる単語が決まっています。強いのは名詞、動詞、形容詞、副詞のように、意味内容を持つ単語です。弱いのは冠詞、前置詞、接続詞、助動詞のように、単独ではさほどはっきりした意味を持たない単語です。

たとえば皆さんがよく知っているいわゆる「ロック」音楽ですが、これを英語で rock'n'roll と呼ぶことがあります。これはもともと rock and roll なのですが、and は接続詞なので、上の原則に従って、弱く・いい加減に・短く発音されるうちに、rock'n'roll と発音されるようになったわけですね。

ひとつ、文章の例を挙げましよう。

(a) Dogs eat bones.

(b) The dogs will have eaten the bones.

この2つはずいぶん単語の数が違いますが、英米人の意識の中では同じ長さで発音されるのですよ。つまり、(b) の the, will have, the は弱く・いい加減に・短く発音されるのです。紙の上で書くのは至難の業ですが、(b) は以下ようになります。

(b) The dogs will have eaten the bones.

ゴシックで印字したところが強く・はっきりと・長く読まれる部分です。このような点を意識して読めば、ずいぶんと英語らしく聞こえてきます。

(3) 分かち書きの罨

英語の文章は、単語の切れ目にスペースを必ず入れます。入れないとどうなるか、試してみましょう。

(c) Didhetellyouhelikedit?

全然わかりませんね。これを分かち書きするとこうなります。

(d) Did he tell you he liked it?

今度はよくわかります。しかし実は英語の音声では、上のごちゃごちゃ書きの方が現実に近いのです。原則として英語の音声は切れ目がなく、ごちゃごちゃとつながっているのが普通の形なのです。とくに Did と he、tell と you、そして liked と it はそれぞれ音の上でつながっていきます。そのため、これをあたかも分かち書きであるかのように、話すときにも分けて発音すると、とても変です。私の友人でそのような話し方をする日本人学生がいて、アメリカ人の間で彼は「とても choppy (ぶつ切りの) な話し方をする」ので有名でした。裏を返せば、このように自然につながるところはつなげて発音すれば、それはとても英語らしく響く、ということなのです。ぜひやってみましょう。

❖ 発音・アクセント・つづりの「法則」

英語のつづりは「でたらめ」だと評されるくらい、つづりと発音の関係がわかりにくいのですが、それでも一定の規則性があります。いくつか紹介しましょう。(くわしいことは巻末の参考図書をみてください。つづりと発音の関係をフォニックス (phonics) といいます。)

(1) ow や ou は [au] の方が多い。

vow, cow, coward, fowl, allow, loud, aloud, shout など。ただし own [oun] などの例外あ

り。allowを「アロウ」と発音するのはやめましょう。

(2) a, i, oなどで、次が子音だけで終わっていれば短母音。子音プラス母音なら二重母音。

bake, hate ([ei]) などに対して back, hat ([æ])

bide, kite ([ai]) などに対して bid, kit ([i])

rode, poke ([ou]) などに対して rod, pock ([ɔ])

(3) つづり字が a で、かつそこにアクセントがあればたいてい [æ] になる。

bad, dad, fat, vat など。あるいは example, exaggerate, atmosphere など。

(4) -ought は必ずと言っていいほど [ɔ:t] となる。

bought, brought, fought, thought など。

(5) -ar はたいてい [ɔ:r]。

war, award, warn, wart など。Star Wars は「スター・ウォーズ」でしょ！

❖ アクセントの法則

英語のアクセントは不規則なものもありますが、長い単語の場合、語尾が共通であれば、同じアクセントパターンをもつことがほとんどです。

peculiar, perpendicular, particular, secular

terminate, exterminate, exaggerate, concentrate,

exemplify, identify, justify, testify

ただしこの「法則」を当てはめるには、それぞれの語のうしろから音節を数えていかなければなりません。上のいくつかの語例で確認してみてください。かならず後ろから数えて同じ箇所アクセントがあるはずですよ。

◎ 列挙するとき

A, B, C, D, といくつかのものを例示する場合に、イントネーションにある規則性があります。

(e) I visited Denmark, Germany, France, Italy, Austria, and Hungary.

通常はずっと上げ調子で発音し、最後の Hungary のところで下がります。すると「すべてを列挙した」ことになります。それにたいして、最後の Hungary も上げ調子で発音すると、「ほかにもまだまだ行った国はあるけれども、ここでやめとく」という意味になります。この事情は or でも同じで、

(f) Do you want beer, wine, scotch, or bourbon?

で、最後で下げ調子で発音すると、選べるものがそれだけしかないことになります。しかし最後の bourbon も上げ調子で読めば、「ほかにもまだ選べるよ」という気持ちが表せます。お客としては、最後も上げ調子の方がいいですね。

(g) Would you like some coffee or tea?

も、tea? を上げ調子で発音すれば、「コーヒー」と「お茶」のほかにも選べることになります。これはどうでしょう？

(h) Do you want two (↗上げ) or three (↘下げ) ?

(i) Do you want two or three? (two と three を一息で)

もうわかりますね。(h) は「2つほしいのか、それとも3つなのか」を聞いてますが、(i) は「2〜3個 (いくつ) 欲しいんですか？」と問うているのですね。

❖ その他間違えやすいもの

意外に気づかずに使ってしまうが、実は変・あるいは間違っている、というものが結構あります。ちょっとだけ列挙します。

① work と walk

work ([ə:]) の母音は口を大きく開けずに発音するものですが、walk ([ɔ:]) の場合は口を大きく開けて発音します。「英語の発音について」を参照してください。

② see (sea) と she

see (sea と同音です) と she はかならず区別しなければなりません。see は [s] を発音しながら後に「い」を言ってみましょう。she の子音 ([ʃ]) は日本語の「し」で代用してもかまいません。同じ区別に seat と sheet があります。

③ think と sink

詳しいことは「英語の発音について」をみてください。th 音 ([θ]) は [s] に比べるとずいぶんともっさりした鈍い音で、鋭く響かせると [s] に聞こえてしまいます。同様の区別に path と pass、sin と thin があります。

④ this, these, that, those, there, then, the

これらth音の有声音 ([ð]) は日本人学習者にとってひときわ難しいようです。これを日本語の「ザ行音」で代用するのはとても耳障りで、かつ通じない恐れがあります。ただし、この音は [d] で代用するとコミュニケーションの障害になりにくいようですので、どうせなら [d] で発音しちゃってください。

⑤ can と can't

これは話すときと、聞くときと両方で問題です。「英語の発音について」にも書いてありますが、単語の最後の [t] は飲み込まれてしまって耳に届いてこないのが普通です。しかし多くの場合、以下のようなアクセントパタンの違いがあります。

(j) I can do it. (do だけ強い)

(k) I can't do it. (can't do が強い)

さっき述べた「助動詞は弱く・いい加減に・短く発音される」という原則により、(j) では do だけが強く発音されるのに対して、(k) では否定の副詞 not は大きな情報を持つ「有意味語」なので can't が強く発音される、というのがおわかりでしょう。このアクセントパターンに従って発音すれば、もはや「おまえはできると言ったのか？ できないと言ったのか？」と聞き返されることはもうなくなるでしょう。

10 キャンパスの英語

❖ 身近なことがらに注目する

受験勉強のような、つまらなくかつ効果的でもない「お勉強」に欠けているのは、実感の問題だと思います。例えば、クジラの公式 (“A whale is no more a fish than a horse is.”) は受験の常識かもしれませんが、クジラと馬を比べる場面に一生のうち何回出会うでしょうか。“no more ... than” がいくら重要な (試験に出る頻度の高い) 構文でも、試験以外の場面で使う事態はなかなか想像しづらいですし、個人の経験に密着していなければ実感はわきません。

もしあなたが英語をモノにしたいのなら、実感を持てるような勉強の仕方を自分で考えなくてはなりません。そこで、筆者の個人的な経験から言って、クジラと馬を比べるよりは身近で、大学生であるあなたにとって使う可能性が高く、実感もわくであろう例を以下に紹介したいと思います。

昔から勉強の原則として、「身近なことから遠い世界のことへ」 (from the near to the far)、「具体的なことから抽象的なことへ」 (from the concrete to the abstract) と言います。では、大学生のあなたにとって身近で具体的で実感がわく英語からはじめたらどうでしょうか？ *The New York Times* の記事や、ワーズワース (William Wordsworth, 1770-1850) の詩を読んで英語を学ぶのも一つの方法ですが、実はごく日常的な表現やことば遣いこそ、その言語を外国語として学ぶ人にとっては難しいのです。それらは、辞書やテキストにはあまりのっておらず、実際に体験するとか、自分が注意して調べるとかしくはなくては分からないものなのです。

以下に挙げるいくつかの質問について「正解」はあえて載せません。辞書、友人、先生、何でも使って答えを探してください。すぐには答えが見つからなかったり、見つけた答えが間違っていると後で分かる場合もあるでしょう。けれど、先生や友達に聞いてみて、Google や辞書で調べてみて分からなかったら、世の中のたいいていの人にはやはりその答えを知らないということです。知らないのはあなただけではないのですから、失敗を恐れずに、使ってみましょう。

▶ Example #1

あなたの日常生活の場面を思い出してみましょう。どのくらい英語で言えるでしょう

か。

(1) 「カンニング」は英語で何と言うのでしょうか（ちなみに「カンニング」は英語ではありません。また、筆者はここで、カンニングを勧めているのでもありません）。これが分かったら、次はカンニングをする場面 —— 中間テスト、期末テスト —— はどうでしょう？ 「授業」「成績」「宿題」は？

(2) 「クラブ」「サークル」「アルバイト」などのカタカナ語は英語でしょうか。その他、例えば大学の施設（「体育館」「図書館」「生協」「学食」）を英語で言ってみましょう。辞書でひくのもいいですが、ためにどこかアメリカの大学のホームページで、“Campus Map”か“Facilities”（施設・設備）のページを見てみてはいかがでしょうか。

(3) 辞書にのっぺはいるけれど、実際に見てみないとよくわからない、というものもあります。例えば bleacher は何でしょう？ 筆者の手元にある英和中辞典（研究社の *New Collegiate*, 5th Edition）には「(米語で) 屋根なし観覧席 (大衆席)；外野席」と書いてあります。「外野席」なら分かると思いますが、「屋根なし観覧席 (大衆席)」はどうでしょう。これは実はあまり正確な使い方ではなく、訳としても実感のわからないものです。実際は、体育館にある、必要に応じて引き出すタイプの可動式観客席とでも言いましょうか。日本ではあまりお目にかかりませんが、アメリカなどの体育館は、競技をするスペースの使い方によって観客席を出したりしまったりできるようにしている場合があります。日本ではたいていの場合、観客席があるのであれば、競技スペースと観客席とが別々に（観客席が競技スペースをとり囲んで見下ろすように）設置されています。海外でもそういう席 (permanent seating) はあるのですが、それ以外に、またはそれに代わるものとして bleachers を設置している場合があります。目で確かめてみなければ、“bleacher”を Google (画像) で検索してみてください。

(4) 「授業料」「登録」「留学」「退学 (停学、休学なども)」「入試」「入学金」など、大学の仕組みや手続きはどうでしょう。これもどこかの大学のホームページで探してみてもいいでしょう。また、海外の大学でなくても、日本の大学で英語のホームページが充実しているところを見るのも一つの方法だと思います。

(5) 大学で学ぶ学問はどうでしょう。自分の学部、専攻、今学期履修している授業の科目名を英語で言ってみましょう。また、自分が何に興味を持って何を研究しているか、その勉強を将来どのように役立てたいかなど、簡単に説明できますか？

▶ Example #2

前項で挙げたのは (5) を除いて、主に語彙レベルのものです。語彙をたくさん持って置いて損はありません。ただ、語彙だけでコミュニケーションが成り立つわけではないので、使える英語を目指すのならば、知っている表現を文もしくは発話の中で用いる練習が必要になります。

例えば、「私は毎週木曜日に、コンビニでアルバイトをしている」とか、「今学期の英語の先生は厳しくて、毎週課題を出す」と言いたい場合、どう言うべきでしょう。

▶ Example #3

下に引用する文章は、インターネット上にある、学生による大学教授の評価を抜き出したものです。(http://www.ratemyprofessors.com)

Instructor #1: “AWFUL, AWFUL, AWFUL. She is so opinionated, and if you state your opinion, IT’S WRONG according to her. She’s annoying and I can’t stand listening to her ramble for an hour and 45 minutes. It’s supposed to be a “discussion” but she only discusses with herself. Avoid her!!!!”

この先生は、学生が自由に意見を言ったりお互いに話し合ったりすることを口先では奨励しているのですが、実際には自分の意見と合わない意見には全く耳をかさないそうです。“awful” や “annoying” など、それこそひどい形容詞をつけられています。

Instructor #2: “He’s an amazing lecturer. He teaches to the test and clarifies concepts. He makes sure to teach only what is important. I had a horrible professor the previous quarter and Professor B was just wonderful, making me dislike chemistry less. => If you’re going to take Chem[istry], take it with him!!!”

ここに挙げた2つの例のような、自然な形に近い英語を使って勉強する上で、どこに注目したらよいでしょう。例えば“slacker”は「怠け者」、というように、単語や表現を覚えるのもよいでしょう。でも、もう一歩進んで、例えば Instructor #2 の箇所に入っている表現、“He teaches to the test”を考えてみましょう。どういう意味だか分かりますか？ 難しい単語は一つもありませんが、それでも“to”の用法やイメージを持っていないと難しいかもしれません。正解：この先生は学生がテストで良い成績をとれるように、テストに出る（と言っても自分で作るテストでしょうけれど）ことを教えてくれる親切な先生なのです。テスト「に向けて」という感じがこの“to”に込められています。

▶ Example #4

下に挙げるのは、ある大学の学生便覧（のようなもの）に書かれている規則の一部です。何のことか分かりますか。

The following examples are representative but not exhaustive of activities constituting academic dishonesty: plagiarism (presenting the work of another person as your own); submitting the same work more than once without prior approval; cheating; impersonation (having someone else write your exam); submitting false records or information (forged medical notes); stealing or destroying the work of another student; removing, mutilating, misplacing or destroying books or other library material; unauthorized or inappropriate use of computers, calculators and other forms of technology in course work, assignments or examinations. (Simon Fraser University Calendar, <http://www.sfu.ca>)

これは授業やテストに際してのインチキ行為（academic dishonesty）について書かれた部分です。“dishonesty”とは“honesty”（“honest” = 正直な）に否定を表す接頭辞 dis- がついたものです。例えば剽窃（ひょうせつplagiarism：要するに盗作。他人の書いたものなどを勝手に使うこと）、カンニング（cheating）、代（だい）へん（impersonation：他人になりすますこと）、などが挙げられています。（くどいようですが、これらの行為を奨励しているのではありません。）

❖ おわりに

「自然な英語」「使える英語」ということをよく言いますが、どうしたらそのような英語に近づけるでしょうか。

一つはたくさん英語に触れることです。それも、難しいテキストではなく、例えば絵本など、ことばを学ぶ途上にある子どもが手にするようなものに触れることです。さらに、積極的に自分の英語を試してみること。留学生や街で見かける観光客と話してみるのもよいでしょう。ただし、たくさん英語に触れると言っても、自分がどこに注目したいのかある程度はつきりした意識を持っていることと一緒になくてはなりません。ただ経験するのではなくて、自分なりの着目点や作戦を持って経験することが大切です。

もう一つはあまり細かいことにこだわらないことです。英語というのは多少の間違いは許してくれる、たいへん寛容な言葉だと思います。日本語で思い浮かぶようなことを正確かつ完全に英語に直そうとしても無理です。また、語彙や正確な文法、正しい発音を身につけてから話そうというのにもかえって遠回りです。自分のできる範囲かちょっと背伸びする程度の英語をとにかく使ってみる、という方法をお勧めします。



イギリスの公衆電話ボックス。上の方に王冠が見えます。スコットランドの首都、エジンバラで。

コラム 3 カトリック、プロテスタント…… あるいは英国国教会

「牧師」(minister)と「神父」(priest)がどう違うのか、おわかりですか？ おおざっぱにはどちらも「キリスト教」(Christianity)の聖職者なのですが、前者はプロテスタント(Protestantism)の、後者はカトリック(Catholicism)の用語なのです。では、両者はどう違うのでしょうか？

教会をイメージしてください。その中には、イエスやマリアの像が配置されていますか？ もしそうなら、それはカトリック教会です。あなたのイメージが、聖像のないシンプルな造りの教会なら、それはプロテスタント教会です。そして、このような外面的な差異だけではなく、この両者には様々な違いがあります。

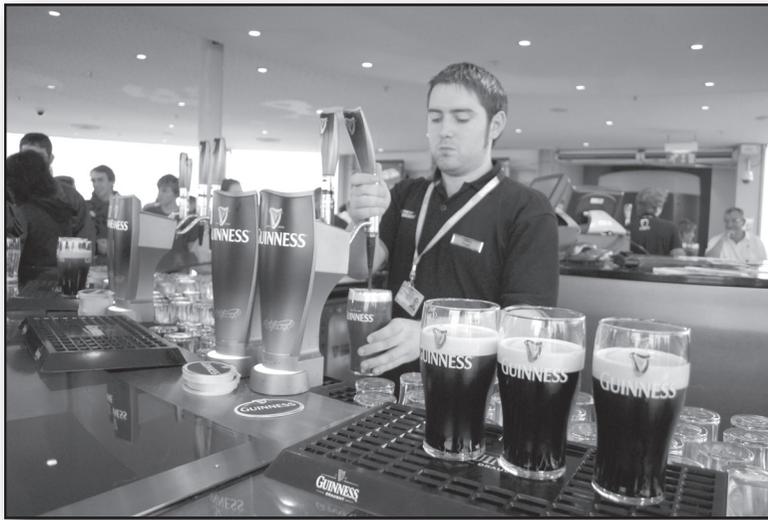
カトリックは、ローマのバチカンにある教皇庁を頂点とした全世界展開のピラミッド型組織です。そして、この組織(ローマ・カトリック教会: Roman Catholic Church)の親玉がローマ教皇(Pope)ですね。それに対して、プロテスタントは、様々な宗派(denominations)に分かれています。「ルター派」などの呼び名を聞いたことがあるかもしれません。カトリックは、基本的には全世界で同じ教義・典礼を共有しているのですが、プロテスタントでは、様々な教義が存在するという点でも違いがあります。

卑近な例ですと、カトリックは飲酒に対してわりとおおらかなのですが(このあたり神道に似てますね)、プロテスタントでは厳しい態度を取ることがあるようです。日本のキリスト教系大学でも、カトリックは学内飲酒がOKなのですが、プロテスタントは難しい場合があります。

また、プロテスタントの「牧師」は一般に妻帯が許されているのですが、カトリックの「神父」あるいは「修道女」は結婚をすることがありません。家庭を持たずに、信仰と布教に専念するわけですね。ですから、先祖代々カトリック神父を務める家系、は存在しません。また、「修道院」(男はmonasteryで、女はconventで修行します)があるのも、カトリックのみです。また、カトリックでは婚姻が教義上重要な秘蹟(sacrament)であるためか、信者の離婚を原則として認めておりません。

16世紀イングランド王であるヘンリー8世が、王妃と離婚して新しい奥さんと結婚するために時の教皇と対立し、カトリック教会から離脱したことはよく知られています。このとき成立したのが「イギリス国教会」(Anglican Church)です。動機が不純だったせいかやや急ごしらえの観があり、儀式等はカトリックと共通する点が多いようです。なお、ヘンリー8世は離婚やら、王妃処刑(!)などを繰り返し、合計6人の奥さんがおりました。シェークスピアの戯曲の主人公にもなっていますね。

PART 2



1 どうして通じないんだ！？

❖ なぜか伝わらない！

英語はずっとちゃんと勉強してきたし、発音も文法も完璧なのに、でもなぜか通じなかったり、変な反応を引き出してしまうことがあると思います。それには様々な理由が考えられます。たとえば、一番単純な問題はボキャブラリーです。もちろん、知っている語数が少ない、知らない単語ばかりで何にも分からない、というようなレベルの話ではありません。

(1) 体の名称

人体の各部の名称が英語と日本語で微妙にずれています。たとえば、英語の head は「首から上すべて」を指し、だから日本語の「顔」を含むときがあります。だから「窓から顔を出してはいけない」は *It's dangerous to stick out your head out of the window.* となるわけです。また、neck は、まさに「頸」だけを指します。そのため、「彼は首を縦に振った」は *He nodded his head.* となります。 *He nodded his neck.* とは言えません。

また、「あし」にも注意が必要です。「足」は foot ですが、「脚」は leg だからです。さらに、「腰」を指す単独の英語は存在しません。「腰が細い」なら *slender-waisted* ですが、「腰が痛い」のは *have a backache* となります。「足の指」は *finger* とは言わず、*toe* ということばを使います。英語では指は合計10本なのですね。ちなみに、*third finger* は「薬指」を指します。「親指」を *finger* の仲間に入れない数え方もある、ということですね。

(2) 誤解してませんか？「ナイーブな」ひと??

たとえば *naive* という語があります。これは日本語にも「ナイーブ」という外来語として入りこんでいます。でも、自分の傍らに立つ友人を評して「こいつはとってもナイーブなやつなんだ」と好感を込めてコメントしたい場合に *He is such a naive guy.* と言ったとしましょう。すると妙な反応が返ってくること請け合いです。なぜならば日本語の「ナイーブ」は「純真で純粋で…」というほめことばですが、英語の *naive* は「騙されやすい」「愚直な」というネガティブな意味のほうが中心的だからです。基本的に英語では「信じやすい」「疑いの気持ちを持たない」ことは、どうも「頭の出来がよくない」ほう

に結びつく傾向があります。たとえば *credulous* は文字通りには「信じ込みやすい」ですが、これにも *naive* と同じようなニュアンスがあります。同意語辞典では、*credulous* の類義語として *childish* や *simple* が挙げられています。

(3) 「誠意」と「率直」と「ウソ」

いくつか例を挙げましょう。*sincere* という語があります。英和辞典によれば「誠実な」という意味らしいです。しかしこの語も、誰もが知っている訳語とはちと意味が違うようです。辞書の訳語をさらに調べてみると、「正直な、偽らない、口で言うとおりの、表裏のない」などが出てきます。まだちょっとわかりにくいのですが、*sincere* は基本的には「言っていることと本心が一致している」という意味なのですね。また、「率直にずけずけものを言う」というニュアンスもあります。「*sincere* な友人」とは、「あまり聞きたくないような話もズバズバする友人」なのです。*sincere* あるいはその名詞の *sincerity* を「誠意の表れとして感謝料を払う」などの文脈では使用不可であることもよく分かりますね。また、手紙の結びで *Sincerely* と書く理由も、もうお分かりですね。

「率直」との連想ですが、英語の *frank* も注意が必要かも知れません。たとえば *frankly speaking* 「率直に言って……」というのとはとても便利な枕詞ですが、これは相手があまり聞きたくないような（イヤな）話を切り出す時によく使われるようです。だから *frankly speaking* で話が始めると、ちょっと身構える感じになるようです。『リーダーズ英和辞典』では *Frankly speaking, you don't have a chance.* (率直に言って、キミは見込みないよ。) という例が出ています。

これはよく知られたことですが、英語の *lie* (ウソ) および *liar* (ウソツキ) は、日本語よりもはるかに強い非難のニュアンスがありますから、けっして軽々しく誰かを *liar* 呼ばわりしてはいけません。これは、*lie* には「騙す意図をもって虚言を吐く」という意味があるからです。先ほどの *sincere* と比較すると、英語圏における「真実」「ウソ」「正直」等に関わる価値観がよく分かりますね。「ウソでしょう？」と軽く言いたいときには *Is it really true?* とか *Are you kidding (me)?* とか言いましょう。

(4) *boyfriend* と *girlfriend*

最近は少し知られるようになりましたが、英語の *boyfriend* および *girlfriend* は注意が必要です。これらは単に *boy* である友達や、*girl* である友達を指さないわけではないので

すが、通常は相当親密な関係にある異性を指すものなので、誤解の原因となる場合があります。あるいは、男子学生がやはり男の友人を指して「こいつはとても親しいボクの boyfriend で……」といったら、また別の誤解を招くこととなりますね。ためしに『リーダーズ英和辞典』を引いてみると boyfriend には「彼氏」という訳語がありました。女性が女性の友人を指して girlfriend と言うのはさほど問題がないようです。

ついでですが、「親密な」という形容詞の intimate にも注意が必要です。辞書を確認してみましょう。もしお使いの辞書に、これがなぜ「アブナイ」単語なのか説明がなかったとしたら、その辞書はブックオフにでも売り払った方がいいでしょう。ちなみに、単に「親しい友人」なら a close friend of mine と言うのが一番無難です。

(5) どこ行くの？ 何してるの？

知人にたまたま出くわしたような場合、日本語では気軽にこのような質問をすることができますし、好意の表れとすら解釈できますが、どうやら英米語では Where are you going? What are you doing? はかなり厳しい詰問・誰何のニュアンスを帯びるようです。自分がどこに行こうと、何を今していようと、勝手だし、プライベートなことなのだから、どうこう言われる筋合いはないのですね。

(6) Where's the bathroom?

今の英語では bathroom は必ずと言っていいほど「トイレ」を指します。これは、シャワー・バスタブ・トイレが同じ場所にあることに由来する婉曲語法です。だから Where's the bathroom? と言われたら風呂場に案内してはいけません。英語で「風呂」といいたいときは、「浴槽」を指す bathtub 以外にはないようです。この点、英語は不便な言語かもしれませぬ。

(7) 「したほうがいい」のか「すべき」なのか？

英語の should と had better の語感は、定着しているそれぞれの訳語のちょうど反対が正しいのです。had better は「……した方がよい」、should は「……すべきだ」と通例訳されますが、驚くなかれ、had better は「……したほうがいいぞ。(さもないと……)」という脅迫的言辞なのです。けっして「……したほうがいい」という、フレンドリーな忠告ではありません。そして、遠回しに（そして友好的に）忠告したいのであれば should の出番

です。shouldは「……すべきだ」ではなく、むしろ「……したほうがよいのでは？」というニュアンスなのですね。

(8) 「つまらないものですが・・・」

日本語の敬語には「謙譲語」というシステムがあります。これは話し手（つまり自分）の支配の及ぶ全ての人と物を、聞き手よりも一段（あるいはもっと）低い位置において言及するやり方ですね。この「謙譲語」を使えることが、ある意味おとなの日本語を使えることでもあるのです。下っ端社員として自分が属する会社のエライさん（仮に竹中部長、としましょう）に外部の人が同席する場面で言及するときは、そのエライさんは「ウチ」の人間なので、「竹中が……」と敬称略しなければなりません。ここで「竹中さんが……」とってしまうと、謙譲語が使えない、ひいてはコドモの日本語しか使えない幼稚な人間だ、と思われてしまいます。

前置きが長くなりました。このような「ソト」に対して「ウチ」のものを「おとしめることによって」相手の立場を高めるやり方は、英米語圏では一般的ではありません。ですから、当然自分が差し出すプレゼント等について「つまらないものですが……」などとコメントをつける習慣もありません。堂々と I hope you'll like it. と言って渡しましょう。もっと確信があれば I'm sure you'll like it. などもよいですね。

❖ Politeness (丁寧さ) と「行儀」の違い

英語を話す人々にとっての politeness と、日本語を話す人々の「行儀」が食い違うことがしばしばあります。日本語的には完璧に振る舞っているはずなのに、それが英語的にはなにやらアヤシイ行動あるいは敵意の表明とすらとられることがあります。

(1) 話しかけない

エレベータの中、あるいは空いた待合室などで知らない人と2人だけになった、と教えてください。そして、その知らない人が英米人である、と。この場合、日本的なマナーは「みだりに他人に話しかけない」ことですが、英米語的にはこれは大変気まずいだけではなく、敵意の表明ととられる可能性すらあります。英米人はそのような場合、沈黙を破って緊張を和らげようとします。ただし、後で述べますが、個人的な事情をあれこれ質問したりすることはタブーを形成しますので、当たり障りのない話題を探すことになります。

このような場合、イギリス人は天気の話をする、とよく言われます。

(2) 会話の間

ある調査では、イギリス人は4秒以上の沈黙に耐えられないそうです。自分が話し終わってしばらく（4秒！）たっても相手の反応がなければそれは相手が聞いてないか、理解していないか、反対意見を持っているかのどれかである、と反射的に判断する、といわれています。日本語的には4秒（それ以上でも！）位の沈黙は、会話の間合いとして悪くないのですけれど。ですから相手の話が終わったら、とりあえず Well, とか、Let me think ... とか言っておいたほうがいいでしょう。

(3) 話題

あまり知らない相手と話をしなければならない場合、日本語では相手のやや個人的な事情に立ち入った質問をすることが許されています。たとえば家族構成、ですね。しかしこれらの質問は英米語的にはかなりプライベートな事情に触れるので、避けた方が無難です。以下に聞かない方がいい事柄を列挙します。

- ◇ 結婚しているかどうか
- ◇ 結婚していないなら、結婚する意思があるのか
- ◇ 結婚しているなら、結婚相手とのなれそめ
- ◇ 結婚しているなら、子供がいるかどうか
- ◇ 子供がいらないなら、いつ子供を持つつもりなのか
- ◇ 相手の給料の額
- ◇ 年齢（女性の場合）
- ◇ 体重（特に女性の場合！）

要は、プライバシーに関わること全て、と考えていいでしょう。ちなみに「ふとっている」のfatは会話の相手に対しては使用不可です。overweight ならまだまじですが、体型・体重等には全く言及しないのが無難です。

❖ ジェスチャー等

YES の時にはうなずき、NO の時には首を横に振る、といった、ほぼ全地球的規模で共通なジェスチャーもありますが、個別言語的にちよつとずつ違うものもあります。

(1) 「おいでおいで」

日本では「こっちに來い」は手のひらを下に向けて親指以外の指をすべて使ってヒラヒラさせて「おいでおいで」をしますが、これは欧米人には「あっちへ行け」ととられるようです。英語圏では手のひらを上に向けて、人差し指を「クイックイッ」とさせなければなりません。

(2) 目を細める

日本では、おじいちゃんが孫の愛くるしさに目を細めてにこにこ、という感じですが、英米では「不信」「敵意」の表明です。アクション映画等で、主人公が目を細めている場面を見たことがないですか？ たいてい敵役と対決するような場面です。

(3) 口を覆って笑う

これは日本女性のたしなみなのですが、英米では大変不評です。先ほどの単語を使えば、sincere ではない、ととられてしまうからです。食事の際に口を手で覆うのも、評判がよろしくないようです。

(4) お金

お金を指す日本のジェスチャーは親指と人差し指で「円」を作りますが、英米（おそらくヨーロッパ共通）では親指と人差し指を数回こすり合わせます。これは紙幣を数える動作がもとになっています。

(5) 両手の人差し指と中指をV字型にして、それらの指をクイクイッと屈伸させる動作

回りくどいのですが、イメージできますか？「カニのハサミ」を2つ、想像してください。これはヨーロッパ語の引用符“ ”を指す動作です。日本語の「」に相当し、「いわゆる……」とか、「本当は自分は違うと思ってるけど、世間が……といってるような例の……」などという意味になります。

(6) 「自分」の指し方

日本では「自分」を指すのに、人差し指で自分の鼻を指しますが、一般的に英米では親指で自分の胸を指すことで「自分」を指します。

(7) thumbs upとthumbs down

同じく親指を使ったジェスチャーをもう2つ。親指を上に向けて立てると、「OKだ」とか「万事好調」「うまくいった」等を意味します。逆に親指を下に向けると「だめ」「No goodだ」になります。ぜひ覚えておいて使ってみましょう。ちなみに、これは表題の thumbs up と thumbs down という熟語の起源でもあります。

(8) YESかNOか？

先ほど、Yes と No を表すジェスチャーは、ほぼ全地球的に共通だ、と書きました。確かにその通りなのですが、英語での Yes / No に関して、1つ注意すべき点があります。それは「……じゃないんですか？」と聞かれたときです。次の例をみてください。

Didn't you go to the movies yesterday? (きのう映画を見に行かなかったの?)

(a) No.

(b) Yes.

(a) は I didn't go to the movies yesterday. を指し、(b) は I went to the movies yesterday. を指します。つまり、日本語での受け答えでは「行かなかったの?」「うん。行かなかった」「いや。行ったよ」となりますが、英語では逆になってしまいます。注意しましょう。

これについてさらに注意すべき点があります。慣れてくると、英語で話しているときに一応 Yes/No の受け答えはできるようになります。しかし、注意していないと No, I didn't. とことばでは言っているのに、無意識に首(英語では head です。念のため)が縦に振られてしまうことが多いようです。You've Got Mail という映画の中で、主人公の女性が boyfriend (上を参照) に、You don't love me? と聞かれて、無言で首を横に振るシーンがあり、とても印象的でした。もちろんこれは、「愛してないわ」という意味ですね。

さらに英語の mind という動詞には注意が必要です。これは多くの辞書では「気にす

る」という訳語があげられていますが、もっとわかりやすく言うと「……がイヤだ」という意味なのです。おなじみの構文で：

Do you mind if I open the window?

と聞かれた場合、これは「私が窓を開けることを、あなたはイヤか」と問いかけているのですね。これに Yes. と答えると、「イヤだ」「窓を開けるな」という拒否になることはもうお分かりですね。「開けていいよ」なら、No. で返事をしなければなりません。一般的には Not at all. などといって、「全くかまわないよ」という意を表します。なお、首の振り方に注意しましょう。反対に、開けてほしくないときは I would rather you wouldn't. 「どちらかという、開けてほしくない」と、回りくどい言い方をします。

ここで述べてきたことはもちろん全てを網羅しているわけではありませんし、そんなスペースもありません。英米語圏と日本語圏のあいだに存在する、誤解を招くかも知れないことば、ジェスチャー、危ない表現等については、さまざまな参考図書があります。巻末の参考文献に、何冊か挙げておきます。



グリニッチにあるカティ・サーク号。19世紀に茶葉を輸送していた tea clipper です。2007年5月に火災にあいましたが、修復が終わり、また船の中に入って見学することができるようになりました。この写真は、火災の前、2006年7月に撮影したものです。現在は、船全体がすっぽりと透明なカバーで覆われています。

2 海外旅行を安全に、楽しく！

❖ 英語を実際に使う楽しみ

少しでも英語を使えると、海外旅行は、安全に、また、楽しくなります。言葉の力、そして英語の力、を実感できるまたとない機会です。旅行は、前もって計画し、いろいろな手続きを経て、現地入りし、空港・港・駅・ホテルなどで担当者とのやり取りをします。また、お金、飲食等につわる問題、そして何よりも、トラブルに見舞われた時に適切に対処できなければなりません。それらの現実の場面で少しでも役立つように、最低限知っているほうがいい単語と表現をまとめました。積極的に使ってみましょう。

習慣や考え方は違っていても、同じ人間同士のコミュニケーションです。人への配慮と感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう。

なお、海外の状況については、出発前に必ず外務省の「海外安全ホームページ」などで「安全状況」を確認し、安全確保と的確な判断を心がけてください。

❖ さあ、外国だ：渡航手続き、空港での会話

▶ サバイバル重要英単語

passport (パスポート・旅券) これがないと外国に行けない。絶対なくすな！

passport control (パスポート審査) 通らないと入国できない。強制送還！？

visa (査証) どのような資格でその国に滞在するか示したスタンプ。

sightseeing visa (観光ビザ) ・ working visa (労働ビザ)

immigration (出入国管理)

customs / the Customs (税関) 複数形で用いることに注意。

declaration (申告) 持ち込む物品、数量に制限があります。

quarantine (検疫) 人間の病気、動植物の持ち込みなどを検査。

boarding pass (搭乗券) 飛行機に乗り込む時に必要。空港内でなくさないよう注意。

landing card (入国カード) 飛行機の中で記入する。ボールペンを忘れずに。

check (カウンターで荷物を預ける)

baggage claim (飛行機に預けた荷物の受け取り場所)

carousel (回転式ベルトコンベヤー) 機内に預けた荷物が出てくるところ。

▶ サバイバル頻出基本表現

<手荷物預かりカウンターで>

Have you packed the bag yourself? (荷物は自分で詰めましたか?)

It's too heavy. Over the limit. (重すぎます。制限を超えています。)

You have to pay extra. (超過料金を払ってください。)

<パスポートコントロールで>

May I see your passport? (パスポートを拝見します。)

Here you are. (はい、どうぞ。) パスポートやチケットを差し出して見せるときに使う。

Do you have the visa? (ビザを持っていますか?)

What is the purpose of your visit / stay? (訪問 / 滞在の目的は?)

Sightseeing. (観光です。)

How long are you going to stay in the U.K.? (英国滞在の期間は?)

For two weeks. (2週間です。)

<税関で>

Do you have anything to declare? (申告するものはありますか?)

Do you have any prohibited items? (持ち込み禁止品がありますか?)

Open your suitcase. (スーツケースを開けてください。)

<空港・駅などの放送・掲示>

Don't leave your bags unattended. (荷物から目を離さないでください。)

Beware of theft. (窃盗に注意。) 置き引きなども窃盗に含まれる。

❖ さあ、行くぞ：飛行機、列車、バス、タクシーなどによる移動

▶ サバイバル重要英単語

itinerary (旅程表) 発音注意

destination (目的地)

transit (乗り継ぎ)

direct flight (直行便) ←→ connecting flight (乗り継ぎ便)

aisle seat (通路側席) ←→ window seat (窓側席)

flight attendant (客室乗務員) 注意: cabin attendant は全日空の用語で、和製英語。

stopover (特に空の旅での、旅行途中の短い滞在(場所); 途中下車)

jet lag (時差ぼけ)

one-way ticket (米) / single ticket (英) (片道切符)

round-trip ticket (米) / return ticket (英) (往復切符)

make connections / change trains (乗り換える)

subway (米) / underground, the Tube (英) (地下鉄)

英国では、subway は横断地下道のこと。

fare (料金、運賃)

rent-a-car (レンタカー)

international driving permit [license] (国際免許証) 1年間有効。サイズが大きい。

cab / taxi (タクシー) ニューヨークのタクシーは黄色いので yellow cab と呼ばれる。

insurance (保険) いろんなことが起こるので、海外旅行傷害保険に必ず加入しよう。

▶ サバイバル頻出基本表現

<空港、飛行機で>

Which way is Gate 36? (搭乗口36番はどちらですか?)

Fasten your seatbelts. (安全ベルトを締めてください。)

For your safety, please remain seated until the plane comes to the complete stop.

(安全のために完全にストップするまで席を立たないでください。)

<ロンドンの地下鉄で>

One day travel card for Zones 1 & 2, please.

(ゾーン1・2の一日乗車券をお願いします。)

Could you please tell me where I can top up my Oyster card?

(どこでオイスターカードをチャージできるか教えてくださいませんか。)

Mind the gap. (電車とホームの隙間に注意。)

Stand clear of the doors, please. (電車のドアから離れてお立ちください。)

<タクシーで>

Make up a line! (米) / Queue! (英) (並んでください!)

To Buckingham Palace, please. (バッキンガム宮殿までお願いします。)

What / How much is the fare? (料金はいくらですか?)

Have you got change? (小銭 / お釣りあるかい?)

<徒歩で>

Will you tell me the way to the White House?

(ホワイトハウスへの道を教えてください。)

How far is it from here? (ここからどれくらいありますか?)

Are there any landmarks? (何か目印になるものはありますか?)

❖ さあ、ホテルに泊まるぞ

▶ サバイバル重要英単語

<ホテル、宿泊>

accommodations (宿泊施設一般)

B & B (bed & breakfast) (英国に多い朝食付きの民宿、簡易宿泊所)

motel (モーテル、車を直接乗り付けられるアメリカのホテル) motor + hotel

reservation / booking (予約)

single room (シングルルーム) ベッドが一つだけの、一人用の部屋。

double room (ダブルルーム) ベッドのサイズが大きい。double bed (ダブルベッド)

twin room (ツインルーム) ベッドが二つある部屋 (twin-bedded room)。

shower (シャワー) 水を外にはね飛ばさないよう注意。

bath tub (バスタブ) 通常はシャワーだけで、バスタブがあると料金が上がる。

check in (チェックインする) ↔ check out (チェックアウトする)

current home address (現住所)

extend one's stay (延泊する)

valuables (貴重品) フロント (front desk) に預けるか、部屋の金庫にしまう。

safe (金庫) 最近は、暗証番号式の金庫が多い。

house keeping (客室等の清掃管理)

laundry service (洗濯) 有料。 same day service (洗濯物の同日仕上がりサービス)
concierge desk (コンシェルジュ、ホテルの接客係) いろいろな相談に応じてくれる。

▶ サバイバル頻出基本表現

<ホテルで>

I would like to check in / out. (チェックイン / アウトします。)

I have a reservation. (予約してあります。)

What's your last name, please? (お名前(姓)は何とおっしゃいますか?)

Can I photocopy your passport? (パスポートをコピーさせてください。)

I would like a twin room with a bath tub. (バスタブ付きのツインがいいのですが。)

Do you have any vacancies? (空室はありますか?) ※ empty room は絶対使わない。

Where do I have breakfast? (朝食はどこでとるのですか?)

Any messages for me? (私宛の伝言がありますか?)

Can you reserve two tickets for tonight's *Lion King* show?

(今晚の「ライオンキング」のチケットを2枚とっていただけますか?)

❖ さあ、食べるぞ!

▶ サバイバル重要英単語

smoking or non-smoking (喫煙席か禁煙席か) 今日ではレストランは全面禁煙です。

menu (メニュー)

order (注文、注文する)

starter / appetizer (最初の料理)

entrée ((米) 主料理、アントレ)

side salad (付け合せのサラダ)

beverage / drink (飲み物)

vegetarian (菜食主義の、菜食主義者) decaffeinated / decaf (カフェイン抜きの)

sparkling [carbonated] or non-sparkling [still] (発泡性か非発泡性か)

a table for one / two / three (1人用、2人用、3人用のテーブル)

help oneself to ... (自分で飲食物をとる) この help は「給仕する」の意味。

a pint of ... (1パイントの〜) 英国等のパブでビールを注文する時のグラスの大きさの指定。あまり飲めない時は half-pint で注文しよう。large glass / small glass も使う。

▶ サバイバル頻出基本表現

< ホテル、またはBBで >

Ordering breakfast:

“I would like English breakfast of toast, bacon, eggs, sausages, tomatoes, and mushrooms. And of course, tea, please.”

“How do you like your eggs?”

“Well, I would like fried eggs, sunny side up, please.”

“OK. Is that all?”

“Yeah, that’s it.”

I would like a non-smoking table. (禁煙席をお願いします。)

Are you ready to order? (ご注文よろしいでしょうか?)

Yes. I would like (ええ、… をください。)

Give me some more time. (もう少し時間をください。)

Is everything all right? (問題ありませんか)

Thank you. Everything is OK. (ありがとう、全部 OK です。)

This is not what I ordered. (こんなもの注文していないよ。) 外国ではよくある。

Check, please. (米) / Bill, please. (英) (お勘定をお願いします。)

A pint of Guinness, please. (ギネスビールを1パイントのグラスでください。)

Fried eggs, sunny side up / over easy, please. (目玉焼きを、片面焼き / 両面焼きで。)

boiled egg(s) (ゆで卵) hard boiled (固ゆでの)

scrambled egg(s) (スクランブルド・エッグ)

poached egg(s) (ポーチド・エッグ)

How do you like your coffee? (コーヒーの飲み方はどのようにしますか?)

I like my coffee black / white. (ブラックで / ミルク・クリームを入れてください。)

※ブラックコーヒーは、砂糖が入る場合と入らない場合とがある。

How do you like your steak? (ステーキの焼き加減はどのようにしますか?)

Rare / Medium-rare / Medium / Well-done, please.

(生焼きで / 中生焼きで / 中焼きで / よく焼いてください。)

❖ お金：お金をきちんと管理しよう！

▶ サバイバル重要基本単語

change (おつり、小銭) note / bank note (紙幣) ←→ coin (硬貨)

exchange (両替) 手数料がかかる。きちんとした両替所や銀行で両替しよう。

withdraw (お金を引き出す) ←→ transfer (お金を口座に振り込む)

tip (チップ) 総額の10～15%。タクシーやレストランで、スマートに渡せるように。

receipt (領収書、レシート) スペリング注意。p を発音しません。

safety deposit (貸金庫) ホテルにある。

PIN code / number (暗証番号：personal / private identification number)

他人に知られないように注意。personal code ともいう。

cash (現金) 持ち歩きに注意。多額を持ち歩かないこと。

credit card (クレジットカード) 紛失したりスキミングされないよう管理に注意。

expire date / good through (クレジットカードの有効期限) 切れていたら使えない。

traveler(s) check (旅行者用小切手、トラベラーズチェック) サインの仕方に注意。

currency (通貨) 通貨単位記号は、数字の後に書くこと。(例：\$10.50)

US dollar (米ドル) 記号：\$ 米口語で：buck (ドル)、quarter (25 セント硬貨)、

dime (10セント硬貨)、nickel (5セント硬貨) \$1 = 100 cents

pound (英ポンド) 記号：£ 発音注意「パウンド」。重量の単位にも。£1 = 100 pence

euro (ユーロ) 記号：€ ヨーロッパ連合 (EU) の共通通貨。€1 = 100 cents

Japanese yen (日本円) 記号：¥ 複数形も yen。

▶ サバイバル頻出基本表現

<銀行、両替所で>

I need euro cash for 400 pounds. (400ポンド分のユーロの現金をください。)

How do you want your money? (お金 / 金種の内訳はどのようにしましょうか?)

Two hundreds, three fifties, and the rest in tens, please.

(100ユーロ札を2枚、50ユーロ札を3枚、残りは10ユーロでお願いします。)

Sign here. (ここに署名してください。)

Let me check / count the money. (お金を確認させてください。)

<お店で>

How much are those T-shirts? (あのTシャツはいくらですか?)

They are eight pounds each. (1着8ポンドです。)

It's a good buy. (お買い得品ですよ。)

Could you give me a discount if I buy five of them? (5枚買ったらまけてくれる?)

Do you have a larger size? (もっと大きいサイズありますか?)

Can I try it on? (試着していいですか?)

Where is the fitting room? (試着室はどこですか。)

They are on sale. (セール品です。)

❖ ありゃ、トラブったぞ。頑張ろう!

▶ サバイバル重要基本単語

Help! (助けて!)

Fire! (火事だ!) 火事以外でも、急を知らせるために使うことがある。

police officer (警察官) 基本的に外国に交番はない。パトカーで回っている。

ambulance (救急車) ※警察・火事・救急すべて、英国は999で、米国は911で呼ぶ。

doctor (医師) ・ nurse (看護師)

emergency (緊急)

immediately (すぐに、迅速に)

theft (窃盗) 置き引きが多い。荷物から目を離すな。

mugging (路上強盗) 建物の蔭から出てきて首を腕で後ろから締めるケースが多い。

break-in (押し込み強盗、不法侵入) 鍵をちゃんとかけましょう。

pickpocket (すり) 子供のすりも多い。ぼーっとしていると被害に遭う。油断するな。

drug store (ドラッグストア、薬局雑貨店 (主として米国))

chemist's (薬局雑貨店 (主として英国))

pharmacy (薬局)

prescribed medicine (処方箋による薬) 処方箋がないと売ってくれない。医薬分業。

over the counter (処方箋のいらない) 薬局のカウンター越しに買えるのでこう言う。

wrong number ((電話の) 番号違い)

▶ サバイバル頻出基本表現

<警察、消防署>

Call the police! (警察呼んで!)

Call an ambulance! (救急車呼んで!)

Somebody stole my passport! (パスポートを盗まれた!)

Freeze! (動くな!)

I'm scared! (私、怖い!)

<ホテル、B&Bで>

The air conditioner isn't working. (エアコンが動かない。)

The shower won't stop! Water is simply running.

(シャワーが止まらない。水がどんどん流れている。)

Can I change rooms? This room is too noisy.

(部屋を変えてください。この部屋、騒音がひどすぎます。)

The shower doesn't have hot water. (シャワーからお湯が出ないよ。)

<病院で>

I have a fever and a sore throat. (熱があつてのどが痛い。)

同様に: toothache (歯痛)、stomachache (腹痛)、headache (頭痛)、throbbing headache (ずきずきする頭痛) ※すべて、have a ... の形で使う。

I have loose stools. (おなかがゆるい。)

I have diarrhea / constipation. (下痢 / 便秘してます。) ※単語の前に a をつけない。

I threw up / vomited this morning. (今朝、もどしました / 吐きました。)

I feel giddy with fever. (熱でくらくらする。)

You can buy this medicine over the counter. (この薬は処方箋なしで買えます。)

❖ 連絡しよう、コンタクトを取ろう

▶ サバイバル重要基本単語

the Embassy of Japan / the Japanese Embassy (日本大使館)

パスポートを紛失したり盗まれたら、すぐに日本大使館へ。

emergency call (緊急電話連絡) 各国のいろいろな緊急電話番号を確認すること。
international call / overseas call (国際電話)
international access code (国際標識 / 識別番号) 国際電話をかける時に、市外局番の0
をとって、この番号を頭につける。日本は81、英国は44、アメリカは01。
call ... collect / make a collect call (コレクトコールで電話する) 受けた側が支払う。
directory assistance (電話番号案内) telephone directory (電話帳)
yellow pages (職業別電話帳) 電話帳の表紙が黄色いのでこう呼ばれることが多い。
cell phone (米) / mobile phone (英) (携帯電話) その他いろいろな言い方がある。
pay-phone (公衆電話) telephone booth (電話ボックス)
phone-card phone (テレカ電話)
leave a message (伝言を残す) take a message (伝言を受ける)
answering machine (留守電) tone / beep (ピーツという音)
parcel post (小包便) small packet (小包)
picture post card (絵葉書) postage (郵便料金)

▶ サバイバル頻出表現

May / Can I speak to Mr. Jones? (ジョーンズさんとお話したいのですが。)
Can I make an appointment to see Mr. Jones tomorrow morning?
(ジョーンズさんと明朝会う約束(アポ)を取りたいのですが。)
Can I leave a message? (伝言お願いできますか。)
May I take a message? (伝言をお預かりしましょうか。)
Sorry to disturb you at this time of night. (夜分にお騒がせして申し訳ありません。)
I am returning your call. (お電話をいただいたそうですが。)
Get in touch, will you? (連絡ちょうだいね。)
Tell me when you will arrive in London. (いつロンドンに着くか教えて。)
Who is this / that calling? (どちらさまでしょうか。) 電話をかけてきた相手に使う。
This is Mr. Smith calling. (こちらスミスです。)

それでは、皆さん、よい旅を! Bon Voyage!

3 英語で手紙やメールを書くには

1. 手紙の書き方

みなさんは、英語で手紙を書いたことがありますか？ 本文が英語でなくても、海外留学中の友達に手紙を書くかもしれませんよね。たとえ相手が日本人でも、英語圏の国に手紙を出すときには、封筒だけは英文手紙のルールに従う必要があります。また、海外留学を考えている人は、希望大学に資料送付の依頼をしたりするでしょう。「日本から外には出ないぞ」という人でも、社会人になれば、英文手紙を書く機会は意外にあるものですから、学生のうちにウォーミングアップしておいて損はありません。

❖ 封筒の書き方

(1) ローマ字について

日本語の名前や住所は、ローマ字で書きます。ヘボン式と訓令式のどちらか一方の方式に統一しましょう（付録のローマ字表参照）。例えば、「フチカワ シンジ」という名前をローマ字で書く場合、Shinji Fuchikawa または Fuchikawa Shinji（ヘボン式）か、Sinzi Hutikawa または Hutikawa Sinzi（訓令式）のどちらかにするのが普通です。（手紙や絵ハガキの差出人の書き方は、93ページ②参照。）概して、訓令式よりはヘボン式の方が、欧米で通用しやすい表記です。

また、ローマ字は「音」を置き換えるものですから、文字が異なっても同じ発音である「ジ」と「ヂ」、「ズ」と「ヅ」を区別しません。「ジ」と「ヂ」はどちらも ji、「ズ」と「ヅ」はどちらも zu とつづるのが普通です。

なお、ヘボン式を使ったとしても、英語しか知らない人は、日本人が考えるようにローマ字を読めないということを覚えておいてください。日本語ネイティブが英語のつづりと発音の関係をなかなか覚えられないように、英語ネイティブもローマ字の読み方はわからないのです。

(2) 住所の書き方

英語で住所を書くときは、「日本語の逆」の順番です：

アパート等の名・号数 → 番地・通りの名 → 市・州・郵便番号 → 国名

郵便番号（米 Zip code、英 post code）は、国によって様々です。アメリカの場合は、5～9桁の数字です（数字の前に大文字アルファベットがつくこともあります）。イギリスの場合は、下の例のように、大文字アルファベット2文字と数字の組合せを2つ書きます。日本の郵便番号を英語式に書くときは、「〒」（郵便記号）を書かずに、都道府県名の後に「150-8440」のように、数字とハイフンだけで書きます。

次に、住所によく使う略語をまとめておきましょう：

c/o (in care of の略) ～気付 / 方

Dr. (drive の略) ～通り

Apt. (apartment の略) ～アパート

Mt. (mount の略) ～山

Ave. (avenue の略) ～街 (がい)

Rd. (road の略) ～通り、道

Bldg. (building の略) ～ビル

St. (street の略) ～通り、街

Blvd. (boulevard の略) (米) 大通り

P.O. (post office の略) 郵便局

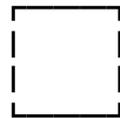
手紙や絵はがきに日本の住所を書く場合は、通常、日本語の発音をそのままローマ字にします。たとえば、「東京都渋谷区」なら、Shibuya-ku, Tokyo と書くのが普通です。「区」や「都」を英訳して Shibuya Ward, Tokyo Metropolis とは普通しません。

(3) 封筒の書き方例

下の例は、日本の若木花子さんがイギリスの Jane Adams さんに宛てた手紙の封筒です。若木さんの住所はどこでしょう？ そう、國學院大學渋谷キャンパスの所在地ですね。

【例】

② Hanako Wakagi
4-10-28 Higashi,
Shibuya-ku,
Tokyo 150-8440



Japan

① Ms Jane Adams

71 Carlingford Rd.

London NE1 4WE

U.K.

③ AIR MAIL

① 受取人の氏名と住所

受取人の住所・氏名は、封筒の右下よりに書きます。住所は、名前の下に書きます。受取人の名前の前にタイトル (Mr., Ms. 等) をつけますが、友達同士のときには省くこともあります。

Mr. John Smith (男性のジョン・スミスさん)

Ms. Joan Smith (女性のジョーン・スミスさん)

Dr. Jane Smith (博士のジェーン・スミスさん)

なお、イギリス式の書き方では、タイトルの後にピリオドをつけません。

② 差出人の氏名と住所

差出人の住所・氏名は、上の例のように横長封筒を用いて、封筒表面の左上に書きますが、裏面のふた上部に書いてもかまいません。(しかし、表面の受取人住所氏名より下には決して書いてはいけません。たとえどんなに小さな字でも、また、どんなに下に書いてあっても、右下に書いてある方が宛先であると判断されるかもしれません。)

英語で差出人の名前を書くときは、ふつう、名を先に、姓は後に書きます。日本式に、姓を先に書く人もいますが、そうした日本の慣習になじみのない人が受け取り人の場合、姓と名を取り違えるかもしれません。(こういう誤解を避けるために、姓を大文字で書くというワザもありますが、それでも誤解されるかもしれません。)

相手に自分の性別、既婚・未婚の別や学位等を知らせたいときは、タイトルをつけることがあります。ふつうは必要ありません。

③ 特記事項

航空便か船便かを指定したりするために、横長封筒の表面左下に大文字で書きます。例えば：

AIR MAIL または AIRMAIL 航空便

SURFACE MAIL または BY SHIP 船便

PERSONAL または PRIVATE 親展 (個人的な手紙で)

CONFIDENTIAL 親展 (事務的な書面で)

「親展」とは、「宛名の本人が開封してください」という意味です。

❖ 本文の書き方

ここでは、短期語学研修（短期留学）中に世話になったホストファミリーに宛てた手紙を紹介します。ぜひ読んでみてください。

② 5 September 2013

③ Dear Sarah and Paul,

④ I arrived back in Japan on 30th morning last month. I hope all is well with you.

Sarah, thank you for your advice on where to go and what to see in Sydney. I joined a whale-watching tour and viewed three whales, which was an exciting experience.

It's hot and humid in the Kanto area, and a powerful typhoon is approaching the main land very slowly. I was going to go camping with some friends today, but we have decided to put off our camping expedition till next weekend.

⑤ I had a really great time in Melbourne. I will never forget your kindness and generosity, as well as the tasty meals you prepared. Let me hear from you, if you've got the time.

Please remember me to Jennifer. Take care.

⑥ Love,

⑦ *Ayaka*

⑧ P.S. I've uploaded to my Facebook page some photos I took during my stay in Melbourne.

① 差出人住所：受取人が差出人の住所を知らないような場合に、一番上（日付のさらに上）の右よりに差出人の住所を書きます。この手紙では書いていません。

② 日付：真ん中より右よりに書きます。アメリカ式とイギリス式では、日付の書き方が異なります。また、月名に短縮形を使ってもかまいません。

アメリカ式：September 5, 2013 または Sept. 5, 2013

イギリス式：5 September 2013 または 5 Sept. 2013

- ③ 呼びかけ「やあ、～さん」：相手の名前の後には、ピリオド (.) ではなく、コンマ (,) をつけます。
- ④ 本文：呼びかけから 1 行ほど空けて書き始めます。
- ⑤ 結び：本文がもうすぐ終わることを告げるものです。
- ⑥ 結句：署名の前に以下のような結句を書くことがあります。親しさの度合いによって使い分けます。くだけた手紙の場合は、結句なしに署名してかまいません。

All the best, … 「では、ごきげんよう！」別れの挨拶としても。

Regards, / Yours, … 格式張った感じ。先生から学生への手紙など。

Sincerely yours, … ていねいで格式張った感じ。

Best regards, … ちょっと格式張っている感じ。

Love, … 男女を問わず、親しい間柄で。

いずれの場合も、ピリオドではなくコンマを書きます。

- ⑦ 署名（自筆）：本文がワープロの場合でも、最後の署名は必ず手書きにします。親しい友人あての場合は名前だけの署名でかまいませんが、目上の人あての手紙やビジネスレターの場合はフルネームにします。

なお、少し改まった手紙のときには、自分の氏名をタイプ打ちした上で手書き署名します。その時は、下の例のように、結句とタイプ打ち氏名の間に自筆署名を書きます：

Sincerely Yours,

Ayaka Itoh

Ayaka Itoh

- ⑧ 追伸：手紙を書き終わってから付け足したいことができたときは、P.S. と書いて追伸を付け加えます。その後で、さらにまた何か付け加えたいときは、P.P.S. と書いてから付け加えます。

❖ 英文で手紙を書くときに気をつけること

▷どんなに親しい友達への手紙でも、鉛筆で書いてはいけません。ワープロで書いて印刷するか、ペンで書きましょう。

- ▷ ペンを使って自筆で書くときは、相手に読みやすい字を心がけましょう。
- ▷ ワードプロを使う場合でも、署名は必ず自筆で書きます。
- ▷ 便せんには、じゅうぶんな余白（左右 3 cm 前後）をとりましょう。
- ▷ 封筒の、宛先と差出人の住所氏名の位置は正しいですか。差出人の住所氏名を封筒の右下に書くと、相手に届かないことがあります。投函する前にもう一度確かめましょう。

2. 絵はがきの書き方

絵はがきの書き方の基本は手紙と同じですが、自分の住所を書くほどのスペースはありませんし、必要最小限の情報を簡潔に書く必要があります。

次の例は、Kathy が旅先から Jane に宛てて書いた絵はがきの文面です。さて、Kathy はどこに旅行に行ったのでしょうか。

【例】

<p style="text-align: center;">① 23 February 2014</p> <p>② Dear Jane,</p> <p>③ I am now in Cairo, Egypt. Food is nice, and the air is dry. I'll visit Giza to see Pyramids tomorrow.</p> <p>④ I'll write again soon.</p> <p>⑤ Love, Kathy</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 20px;">  </div> <p>⑥ Ms. Jane Adams 71 Carlingford Rd. London NE1 4WE U.K.</p> <p>⑦ <u>AIR MAIL</u></p>
---	--

- ① 日付：忘れがちですが、旅の葉書が「いつ書かれたのか」は、受け取った人にはとても気になる情報です。一番上の右側に書きましょう。
- ② 呼びかけ
- ③ 本文：旅の絵はがきでは、「どこにいるか」をまず知らせましょう。
- ④ 結び：ここでは、「またすぐに書きますね」
- ⑤ 結句と署名
- ⑥ 受取人の氏名と住所
- ⑦ 特記事項（この場合、「航空便」指定）

3. eメールの書き方

ここでは、パソコンを使ったeメールを想定して説明します。「英語で手紙を書く機会なんてなさそう」という人でも、eメールはどうでしょうか。ネットや旅先で知り合った外国人と Facebook や Twitter でやりとりしたり、情報交換したり……ありそうですね。

メール本文の書き方は「英文手紙と同じ」が基本ですが、友達どうしの場合、手紙より略式にする傾向があります。

❖ 件名 (Subject) について

友達同士のメールなら、Hi. (やあ) や How have you been? (どうしてた?) というようなものでかまいません。先生など、目上の人へのメールでは、用件を簡潔に表すようなタイトルをつけるように心がけてください。英語でも日本語でも、また誰に送るにしても、無題 (件名なし) で送信しないよう気をつけましょう。

❖ 顔文字と略語について

(1) 顔文字

英語メールでは、みなさんがケータイメールなどで使っているおなじみの「顔文字」は、英語圏ではあまり通用しません。最近では、日本製の顔文字を好んで使う欧米人もいますが、まだまだ一般的とは言えません。英語圏には、スマイリー (smiley) と呼ばれる、ラテン文字文化共通の顔文字があります。次に、よく使われるスマイリーをいくつか (ほんの一部) 紹介しましょう。

顔文字	英語の意味
:-)	Happy.
;-)	Winking.
:-<	Upset. Sad.
:-	Indifferent.

顔文字	英語の意味
:-o	Amazed.
:'-(Crying., sad.
:-D	Laughing.
:-P	Tongue out.

日本語の顔文字との違いは何でしょうか。そう、顔が横向きなのです。真ん中の棒 (-) は鼻を表しますが、これは省略されることがあります。たとえば、:-) なら、:) と

いう形もあります。鼻なしバージョンは、ちょっとかわいらしい印象ですね。

スマイリーの一覧表はネット上にたくさん見つかりますが、解釈が一通りではないので、使う際には注意が必要です。また、こうしたスマイリーは、使うことを好まない人もいますので、やたらに使うのはおすすめしません。

(2) 略語

次に紹介する略語は、もともとはテレックスをより早くより安く送るために生まれたものですが、eメールや Twitter 等でも使われることがあります。「追伸」を意味する PS を含め、チャットやメールでもよく使われる略語をいくつか紹介します。

略 語	もとの英語	意 味
ASAP	As Soon As Possible	できるだけ早く
CU, CYA	See You	またね
CUL	See You Later	また後でね
FYI	For Your Information	ご参考までに
HTH	Hope This (That) Helps	お役に立つとよいのですが
IC	I See	なるほど、わかりました
LOL	Laughing Out Loud	大笑い
NRN	No Reply Necessary	返事は不要です
PS	Postscript	追伸
PPS	Post-postscript	追伸の追伸
ROFL	Rolling On the Floor Laughing	転げ回るほど大笑い
TIA	Thanks In Advance	前もってお礼を申し上げます
TX	Thanks	ありがとう
TYVM	Thank You Very Much	どうもありがとう
WB	Welcome Back	お帰りなさい

こうした略語も、スマイリー同様、むやみに使わない方がよいでしょう。

略語ではありませんが、メールアドレスのドメイン名の前に置かれる@ (at, アット) は、本文の中で、場所を表すことばの前につけることがあります。たとえば、メッセージの終わりに Tom@library と書けば、「ああ、トムは図書館でこのメールを書いたのだな」とわかります。

また、手紙やメールなどの文面の最後に“xxx”と書くことがありますが、伏せ字ではありません。x は kiss (キス) を表し、ふつう3つ並べます。また、hug を表す o と組み合わせて書く人もいます (xo, xoxo など)。

❖ eメールを書くときに気を付けること

(1) 英文のeメールに限らず、一般に気をつけるべきこと

- ① 無題 (件名なし) で送信してはいけません。相手に失礼ですし、無題のメッセージは読まずに捨てられるかもしれません。(上の「件名について」参照)
- ② 手紙同様、毎回必ず自分の氏名をメッセージの最後に書きましょう。名無しはダメ!
- ③ 「送信」ボタンを押す前に、もう一度宛先を確かめましょう。

(2) 英文のeメールを書くときに、特に気をつけるべきこと

- ① 略語やスマイリーはむやみに使わず、相手に応じた文体・体裁にしましょう。
- ② 書き終わったら、必ずスペル・チェックをします。メールソフトにスペル・チェック機能がない場合は、ワープロソフトでスペル・チェックをしておきましょう。
- ③ 段落を変えた時には、手紙のときと異なり、段落のはじめを下げずに1行あけます。

(3) ネット上のエチケットについて

メールは手軽なだけに、粗雑なメッセージを送信してしまいがちです。顔の見えないやりとりには、相手に失礼のないよう気をつけなければなりません。手紙と違って手書きではありませんし、電話と違って声も届きませんから、誤解が生じやすいのです。自分ではちょっとふざけたつもりが、相手を怒らせてしまい、取り返しのつかないことになることもあるのです。

コラム 4 インターネットで英語を聴こう！

今では、英語の練習はほとんどいつでもどこでもできるようになりました。英語をしゃべるのは相手がいないとできませんが、読む・書く・聞くことは、ちょっとした暇さえあればできます。読む練習なら、英字紙や英語の単行本を電車の中で読むことができます。書く練習も、例えば英語で日記を綴るところから始めてみるのもいいですし、英語の名言集の言葉を書き写すのもかなりいい練習になるでしょう。

リスニングについては、インターネットを通じて無料で聴くことができるものがたくさんあります。いくつか紹介しましょう。

まず、CNN Student News (edition.cnn.com/studentnews/)。CNN が毎日配信している中高生向けのニュース番組です。映像もあるため、話の内容が音声でわからない時は、画像からヒントが得られます。また、番組内容の書き起こしも同サイトから入手できるので、聞き取れなかったところは読んで確認して、もう一度聞いてみるすることができます。

NPR (National Public Radio、www.npr.org) も、CNN 同様、とてもよい番組をインターネットで提供しています。NPR とはアメリカの公共ラジオ放送で、アメリカ政府からの交付金と、一般市民からの寄付金を使って運営されている全米ラジオ制作会社です。ニュースをはじめとして、音楽やバラエティ番組等を制作して、全米の地方ラジオ局に提供しています。ちなみに、日本では AFN (Armed Forces Network Radio、関東では AM 810) でもラジオ放送されている時間帯があります。

NPR の主要ニュース番組は、All Things Considered と Morning Edition ですが、アナウンサーはていねいかつ明確な発音の英語を使うので、リスニングに最適でしょう。書き起こしもあります。また、過去何年分もの番組にアクセスできますので、特定の話題(政治、経済、国際情勢、料理、文化等)について集中的なリスニング練習もできます。

時事問題を集めた番組もいくつかあります。その一つ、Fresh Air は、政治問題や国際情勢をはじめとして、話題の人とのインタビュー等を集めています。その他、報道やメディアを批判的な視点で検証する On The Media があります。

ほかにも、科学 (Radiolab、www.radiolab.org) や自動車のメンテ (Car Talk、www.cartalk.com) についての番組、多彩な音楽番組等があります。

内容としては上級向けのものが多いのですが、ぜひ挑戦してみてください。大学英語学習の早い段階から母語話者のために作られた英語の番組を視聴すると、意外と早くリスニングが上達するかもしれません。

4 PC・スマホで英語を学ぶ

❖ インターネットを使って検索

(1) 辞書代わり

インターネットの利用法はさまざまです。一番便利なのは「ウェブ検索」でしょう。もちろんお店を探したり、電車のルートを探したりするのも使えますが、英語学習にも使えます。

もっとも手っ取り早いのは、辞書代わりに使うことです。ネットワーク接続されているパソコンでブラウザ（Internet Explorer など）を開いて、調べたい語を入力し、ウェブ検索するだけで、ネット上のさまざまな辞書にアクセスできます。ためしにやってみたところ、かなりの数の「仮想」辞書にアクセスすることができました。

ただし難点は、これは大きな問題なのですが、ネット辞書ではほとんど単語の意味・訳語だけしか掲載されていないことです。つまり、例文はおろか、その語を使った熟語、決まった表現、学習者が誤りやすい点などがいっさい掲載されていないのが普通なのです。とはいえ、予習の際などに手元に辞書がない場合などに重宝することは間違いありません。

なお、國學院大学の LAN（Local Area Network）に接続され、かつ学内の設置されたパソコンを使っている場合は、本学図書館のサイトからオンライン辞書がパソコン上で検索・使用できます。本学図書館のホームページからアクセスしてみてください。

(2) さまざまな検索 — あの曲が知りたい！

ここ数日、耳について離れない曲があったとしましょう。そしてタイトルがわからない、と。こんな時には、その、耳について離れないフレーズを入力して検索をかければよいのです。するとそれが何という曲で、その曲を最初に歌ったのが誰なのか、そしてついでに、この曲の歌詞まで分かります。

ここまで来れば、マウスで範囲を指定して編集メニューをクリック、コピーし、任意のワープロ文書に貼りつけるだけです。ちなみにこの作業は「コピー&ペースト」と呼ばれます。具体的なやり方は、Windowsのマニュアル本を見るか、身近のパソコン通に聞いてください。大変便利な手法ですが、難点もあります。あとで触れたいと思います。（最近では、コピペがソフト的に不可能な歌詞サイトもあります。その場合には、プロテクトがか

かっていないサイトを探すか、面倒ですが、画面を見ながらタイピングするしかありません。)

さて、特定フレーズが聞き取れればタイトルが分からなくともその曲の正体も、そして歌詞までも分かってしまうのです。便利なものですね。タイトルが分かっていたら、それを引用符“ ”ではさんでそのあとに lyrics と入力して検索することでより確実な検索ができます。たとえばこんな具合です。

"曲のタイトル" lyrics

しかも、曲名のつづりを多少間違えていても、Google では親切なことに正しいつづりを示してくれた上で「もしかしてこれかい？」みたいに正解に導いてくれます。

この方法をとれば、もはや CD 付属の歌詞カード（ライナーノーツ）は必要ありません。もちろんインターネット検索の常として、歌詞の間違い等もありますが、それは CD 付属の歌詞カード（ライナーノーツ）でも同じことです。

ただし、一言注意の言葉です。インターネット検索をすると、歌詞だけではなく、その日本語訳をも載せたサイトが見つかりますが、私の経験から言うと、ほとんどのウェブ上の「訳詞」は間違いだらけで信用なりません。注意しましょう。

(3) 「吝りんしょく嗇（ケチンボ）の原則」ってなんだ？

インターネットでは、通常の辞書で分からないことが調べることができます。たとえば、英文の雑誌などを読んでいて、“The principle of parsimony” というコトバが出てきたとしましょう。そして英和辞典を引いても、parsimony が「けち」「極端な儉約」という意味であることしか分かりません。こういうときにはインターネット検索をかけると、これが生物学用語であり、「もっと低次元（つまり、吝嗇な！）説明ができる場合には、動物の知能に関して過大な評価をしてはならない」という原則を指すものであることがわかります。

ただし、この種の検索をするときは、必ず複数のサイトにアクセスして、ダブルチェックする必要があります。ウェブサイトを作るのには何の資格もいりませんから、必ずしも正確な情報が載っているとは限らないからです。

そしてこのやり方で、かなりなことを調べることができます。昔であれば百科事典をひっくり返したり、その分野に詳しい人に教を乞うたりしなければ分からなかったよう

な、さまざまな事柄が、です。しかしここで注意をしなければいけないのは、そうやって得た情報・考え等はあなたのオリジナルではない、ということです。それを学期末レポートや、さらには卒業論文などで典拠に関する注記なしにコピー&ペーストで使用することは許されません。このような行為は「盗用」(plagiarism)と呼ばれ、厳しく責められたり、単位を落としたり、(アメリカなどでは)退学になったりします。十分注意をして、扱きましょう。

❖ ニュースを読む

国内の大新聞社(朝日、読売、等)のウェブサイトには、英語版があります。ここには当日の主な記事・コラムなどが掲載されており、無料で読むことができます。だからどうした?といわれると困るのですが、少なくとも、英字新聞は買うと1部¥180(*Japan Times*の場合)もするのですから、軽い気持ちで当日のニュースを英語で読むのなら、ウェブサイトに限る、といえましょう。

そして、(これが肝心なのですが)、社説、あるいは多くの記事は、日本語版の新聞とほぼ同じ内容(つまり翻訳)なので、英語を読むことがどうも心もとないあなたにも最適です。

❖ アカデミック・パック(あるいはキャンパス・キット)

大手のソフト会社(たとえばマイクロソフトやジャストシステム)では、学生・生徒および教職員だけが利用できる製品があります。「アカデミック・パック」とか「キャンパス・キット」とか呼ばれています。Windowsなどの基本ソフト、一太郎やワードのようなワープロソフト、そしてあとでも述べますが、各種辞書ソフトなどにこの種の販売形式があります。

これは通常版と同じものを、「特別に」安く使うことができるものです。もちろんちゃんとした営業政策上の理由があってソフト会社が行っていることなので、遠慮なく利用しましょう。ただし購入時には学生証を見せなければなりません。

❖ 辞書ソフト

先ほどウェブ上の「仮想」辞書についてお話ししました。少々お金が必要ですが、パソコン上でのもっと効率的な辞書使用方法があります。それは手持ちのパソコンに英和・独和・仏和・和英・国語辞典などをインストールして使う、というものです。

もちろん電子辞書のように気軽には持ち運べないし、初期費用もかかりますが、特にパソコンでレポート等を書いているときには、使い勝手の点で電子辞書よりはるかによいのです。画面が大きい、カラー画面である、などの点がそうです。例文等が豊富な辞書ソフトを選ぶなら、紙の辞書と同じくらい多い情報量はもちろん、紙の辞書よりもはるかに速い速度で単語を調べることができます。複数の辞書ソフトを同時に起動して使えば、紙の辞書では絶対無理なほど便利に使えます。その上、辞書ソフトの多くはアカデミック・パックが用意されており、かなり割安に入手することができます。



イギリス名物、フィッシュ・アンド・チップス。ただし、これは、オーストラリアのメルボルン市内にあるパブで。手前は、魚とチップス（フライド・ポテト）の他に、イカリングなどもついています。

5 英語の発音について

英語の発音とリスニングは密接な関係があつて、英語らしい発音ができれば聞き取りも簡単になります。ですから、日本人は日本語式の発音で十分だと言わないで「英語らしい」発音を身につけましょう。

英語の発音は、日本人には簡単とは言えないものが多いものです。しかし、発音の仕組みを知り、練習を重ねることで上手になることができます。発音は、バットでボールを打ったり、ダンスのステップを憶えたりするのと同じです。どちらも沢山の筋肉を順序よく動かします。最初のうちは、どの筋肉を、どのように、どのような順序で動かすのかにとまどいますが、練習を重ねることで、ナチュラルにスムーズにできるようになります。どの言語の発音も、アゴや唇、舌などの筋肉を微妙に調整しながら出します。英語と日本語はその調整の仕方が多少違うだけです。ですから、その違いを知って地道に訓練すればものになります。

日本人が英語らしい発音を身につけるのに知っておくとよいことが大きく言って3つあります。第1に個々の音。母音と子音が正しく発音できるようになることが大切です。第2に音のつながり。音がつながると、母音や子音は変化したり、消失したり、つながり方、発音の切り方が変わったりします。第3に文全体の発音。文を構成する語単語にはアクセントの強弱やイントネーションとがあります。そして単語が合わさって文となると、その中でもっとも強いアクセントが文中に1か所だけ決まり、そこで音の高さの変化、つまりイントネーションが生じます。

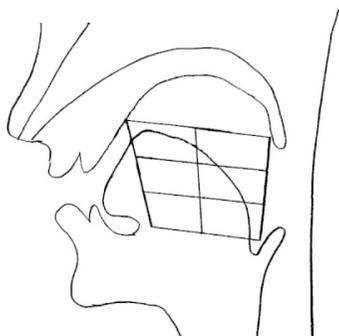
以下では、紙面の都合上、第1の点についてのみ解説することにします。

❖ 個々の音

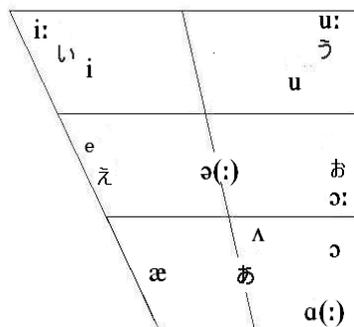
▶ 母音

母音は舌の位置（母音を発音するときに舌の一番高いところがとる位置）と唇の形でその音が決まります。第1図は英語の [i:] を発音する時の舌の位置を示す。舌の位置は英語の母音の中で最も高く、最も前の位置にある。日本語の母音の舌の位置も示したので、図の読み方を実感してみてください。[i:] と同じ高さで、位置を後に退くと [u:] の音になります。一般に、舌の位置が低い音を出す時は口を大きく開き（したがって下あごが下がり）、位置が高い音を出すには口の開きを小さくします。第2図は、短母音と長母音の舌

の位置を示します。このような図を利用すると、フランス語やドイツ語、中国語などさまざまな外国語の母音の舌の位置も示すことができ簡単に発音のコツが体得できるようになるので、ぜひこの図に慣れてください。



第1図 口の中と舌の位置



第2図 短母音と長母音の舌の位置

(1) 短母音

[i]・・・日本語の「い」より僅かに口を広げ、「え」より僅かに口を閉じ、奥で発音します。[i:]の短いものではないことに注意するように。東北弁の「い」に似ています。つづり字 *i* などに現れます。(bit など)。

[e]・・・舌の位置は、「え」と大体同じですが、僅かに口を閉じます。唇は平ら(平唇)で、左右に心もち引きまします。つづり字 *e, ea* などに現れます。(pet, dead など)。

[æ]・・・「あ」のようにやや大きめに口を広げ、そのまま、「え」を発音するときのように舌を前の方に出すことをころがけるとできます。名古屋弁の「おみゃー(お前)」[omæ:]でもこの音が使われます。つづり字 *a* などに現れます。(bad など)。

[ə]・・・「あいまい母音」と呼ばれますが、発音は決して曖昧ではありません。「え」より少し奥、「お」より前で発音します。日常の日本語会話で、困ったときに出す「うー」という音に近のですが、「う」を伸ばしたものではありません。この母音にはアクセントは絶対に付きませんが、長母音の [ə:] には付くことがあります(early など)。つづり字としては、アクセントのないさまざまな母音字がこの音になります。(comma, celebrity, common, possible など)。

[ʌ]・・・[ə]によく似た音ですが、アクセントのある音節にも生じます。つづり字 *u* に現

れることが多いのですが、o, ou, oo なども現れます。(cut, son, country, blood など)。

[u]・・・日本語の「う」と大体同じ位置ですが、唇はかなり丸めて発音します。これを円唇と言います。唇をとがらせる意識でやるとうまくゆきます。つづり字 u, oo, ou(ld) などに現れます。(put, good, could など)。

[ɔ]・・・日本語の「お」よりもあごを下げて舌の位置を低くし、唇を強くとがらせて出します。主としてイギリス英語で使われます。(lot, watch, sausage など)。

[ɑ]・・・日本語の「あ」よりも大きく口を開けて出します。この音は主としてアメリカ英語に現れます。上の [ɔ] が現れるイギリス英語の単語をアメリカ英語で発音すると、この音になります。(lot, watch, sausage など)。

(2) 長母音

[i:]・・・舌の位置は前方の高い所にあります。この位置は「い」の位置とほとんど同じです。平唇。つづり字 ea, ee, ie に現れます。(sea, see, piece など)。

[u:]・・・唇を精一杯とがらせて、強く丸めて発音します。日本語の「う」は、唇は丸めませんので注意してください。また、「う」より舌の位置がより奥です。つづり字 oo, o, ou, u などに現れます。(moon, who, route, solution など)。

[ɑ:]・・・驚いたときに口を大きく開けて「あー」と言うときの発音です。つづり字 a や al に現れます。(father, calm など)。

[ɔ:]・・・「お」より舌をずっと後に退いて、少しアゴを下げて発音します。円唇です。つづり字 a au, aw, or, ough, augh などに現れます。(cause, law, cord, bought, taught など)。なお、この音は、二重母音の [ou] とは異なるもので、必ず区別する必要があります。

I bought a boat. (ボートを買った。)

[bɔ:t] [bout]

[ɜ:]・・・上で見たあいまい母音 [ə] を長くしたものです。短いあいまい母音 [ə] は絶対にアクセントを受けることはありませんが、長い [ɜ:] は absurd のようにアクセントを受けることがあります。つづり字 ir, er, ur, or などに現れます。(bird, serve, turn, word など)。

(3) 二重母音

[ei, ai, oi, au, ou]・・・単に母音が二つ並んだものではないことに注意してください。第1音をまず強く発音し、第2音の舌の位置へ滑らせるように移動させながら発音する音です。[ei] はイメージ的に言えば、「えい」ではなく「えーい」と発音する気持ちです。同様に、「あーい、おーい、あーう、おーう」となります。[au] の [a] の位置は日本語の「あ」とほとんど同じです。[oi] の [o] と [ou] の [o] は、記号は違うが同じものと考えます。

▶ 子音

子音は全部で24個 [p, t, k, b, d, g, f, θ, s, ʃ, tʃ, v, ð, z, ʒ, dʒ, m, n, ŋ, l, r, j, w, h] です。このうち日本人にとって難しいのは [f, v, θ, ð, ʃ, ʒ, tʃ, dʒ, n, ŋ, l, r, j, w] ですから、これらの14音について取り上げます。

[f] / [v]・・・下唇の内側へ上の歯を軽く当てて、空気をその間でこすらせるようにして出します。日本語の「ふ」は、歯を使わずに上唇と下唇の間に息を出して発音するので [f] とは別な音です。[u] が後ろにある場合は、[h] の音と混同しないようにする必要があります。food [fu:d] vs. who'd [hu:d]。[v] は [f] の濁った音です。また、[v] は [b] と区別して発音する必要があります。[f] は、つづり字 f, ph などに現れます。(fun, philosophy など)。

[θ] / [ð]・・・舌の前の方を上歯茎の辺りに軽く当てて空気をこすらせて出します。[ð] は [θ] を濁らせた音です。この二つの音は、つづり字が th のときにしか現れません。(thin, breath, then, breathe など)。

[ʃ] / [ʒ]・・・日本語の「し」([ʃi]) を発音するときの子音と大体同じです。[ʒ] は [ʃ] の濁音です。[ʃ] は、つづり字 sh, ch などに現れます。(sheep, machine, sugar など)。[ʒ] は si, su に見られます。(vision, pleasure など)。

[tʃ] / [dʒ]・・・日本語の「ちゃ」([tʃa]) で使われる子音と同じです。[dʒ] は [tʃ] を濁らせた音です。[tʃ] はつづり字 ch に、[dʒ] はつづり字 j, ge, dge に現れます。(chat, image, judge など)。

[n]・・・日本語のナ行を発音するときのように、常に舌の前部を上歯茎の所につけて発音します。したがって、man [mæn] の終わりの音を発音するときでも、上歯茎から舌を

離してはいけません。決して「ん」と発音しないこと。日本語の「ん」では、舌先が上歯茎につきません。an apple を「あんあぷる」ではなく「あなぷる」のように発音できれば、この音はちゃんと発音できています。

[ŋ]・・・日本語の標準語で使う鼻濁音と同じです。[g]を鼻に抜いて発音します。「私

が」を東京方言では [wataŋja] と発音しますが、その「が」の子音です。つづり字 ng に現れます。(king など)。

[l]・・・舌の先端を上歯茎の裏にしっかりとつけ、舌の両側から空気を送ります。つづり字 l などに現れます。(lip など)。

[r]・・・日本人にとって難しい発音ですが、重要なものであるなので、しっかりと発音できるようにしましょう。舌の前方を反らせて上歯茎の所に近づけるが、決して接触させないで、そのすき間から空気を流して発音します。その時、唇を少しすぼめると発音しやすくなります。つづり字 r によく現れます。lip / rip [lip / rip], lice / rice [lais / rais] などで練習しましょう。

[j]・・・日本語の「や、ゆ、よ」([ja, ju, jo]) で使われる音ですが、[j] が「じ」の音でないことに注意すること。日本語と違って、yell [jel], yeast [ji:st], year [jia(r)] のように、後に [e] [i:] [i] などの母音が続くことがあります。つづり字 y によく現れます。(yocht [ja:t] など)。

[w]・・・十分に唇を丸めて口先に力を入れて発音します。日本語の「わ」は、口先にあまり力を入れません。なお、what, when, where のような wh 疑問詞の発音は、[wh-], [w-] のどちらで始めても構いません。ただし、what と fat、where と fair を混同しないように。つづり字 w によく現れます。(win など)。

6 洋楽と英語学習

英米語圏のポピュラー音楽、いわゆる「洋楽」と、英語学習。さて、この2つはどのように関係しているのでしょうか。

結論からいえば、「本質的に分ちがたく結びついている」なんてことはありません。ただ、少し意識を変えてみれば、なんであれ勉強や学習につながるものです。では、洋楽に関していうと、これにどのような意識をもって接すれば、英語学習につながられるのでしょうか。

英語学習を形成する要素を、「受信系（読み取る、聞き取る）」と「発信系（書く、発話 / 発声する）」に大別するとすれば、洋楽は、発信系の「発話 / 発声する」ことを学習する、大きな助けになってくれます。

では、具体的にどのように、英語の「発話 / 発声」の学習に洋楽を活用できるのでしょうか。そのためのヒントを、若干の経験談を交えて紹介していきます。

❖ カタカナ英語はウソだらけ1：音のつなぎ方

まず、次の英文をみてみましょう。

We can work it out

これを、いかにも日本人的な和製発音、すなわちカタカナ英語で読むとして、それを文字で表記すると、次のようになるでしょう。

ウィー キャン ワーク イット アウト

この一節は、どこにでもある英語のワンフレーズですが、世界的に有名な某バンドの曲のサビの一節でもあります。

さて、この文をアメリカ英語的に発声した場合、（もしくはその曲を聴いてみると、）実際には次のように聞こえます。

ういきゃん わーきらう

曲にはリズムがあり、それに合わせたものを無理に表記しているため、違和感を感じる部分もあるかもしれません。それにしても、単純に言って、この見た目上の短さはどうでしょう。「ただ単にテンポが速いからでは」と言われるかもしれませんが、確かにそれももちろん、ここまで短く表記できる大きな要因ではあります。ただ、ここで「学習」して欲しいのはスピードの問題ではなく、英語、というか英単語を「つなげて読む」ことの重要性です。そしてこれこそ、カタカナ英語ではなかなか学べないことのひとつなのです。

あまり専門的な話で興を削ぎたくはないので、挙げる具体例は一つだけ、この一節の後半にでてくる、“it” という単語のみにしておきましょう。日本語では、単独の母音以外のあらゆる音が「子音+母音」で成り立っていますが、英語には「子音だけの音」というものがあります。例えば、この“it” でいえば、“t” の部分がそれにあたります。つまり、この単語をカタカナで「イット」と表してしまった場合…「ト」の部分が、この単語には本来入っていない音を勝手に付け加えた部分、ということになります。というのは、日本語の「ト」というのは“t + o” ですが、この英単語の最後には、そもそも“o” なんて音は入っていないのです（もちろん、“out” の最後の“t” に関しても同じことがいえます）。そんなわけで、“work it out” をつなげて読んだ結果が、「わーきらう」となったとしても、不思議ではないのです。

このように「つなげて読む」ことの学習に関する、個人的な経験談を紹介します。筆者は、中学生の頃から、学校の教科としての「英語」は得意なつもりでした。しかし、それにも関わらず、テレビのニュースなどで英語が話されているのを耳にしたり、洋楽のビデオ・クリップが流れているのをみたときに、ぜんっぜん聞き取れない、そしてもちろん内容も分からないことに、納得がいきませんでした。高校生になり、すっかり洋楽にハマった筆者は、CD についての歌詞カードを見ながら洋楽の曲を聴いてみて、さらに衝撃を受けました。「見ながらでもぜんっぜんわかんね」、と。そのとき聴いていた（そして今でも聴いている）音楽ジャンルが、いわゆる「ハードロック」や「ヘヴィーメタル」だったことも、敗因の一つでしょうけどね。

何にせよ、これは屈辱です、どうにかしないとイケません。しかし、辛抱強く、というか「ただ単にスキだから聴きまくっている」うちに、すぐに気付きました。まず、これは自分が今まで学校の教室で、先生に聞かされてきた「カタカナ英語」とは全くの別物、しかも、CD から流れてくるこちらのほうが「正しい英語」なのだ。すると、カタカナ英語と「正しい英語」とを、こんなにも違うものになっているのが、一つ一つの単語の読み方

もさることながら、文として読んだときの「つなぎ方」にある、ということに気付くのも、時間の問題でした。

原因が分かったら、それに対処しなければなりません。そこで筆者は、荒療治にとりかかりました。当時自分の知っていた範囲内で、一番速く、なおかつヴォーカルがはっきり聞こえる曲に、無謀にも歌詞カードなしで立ち向かったのです (Skid Row というバンドの、1989年の “Sweet Little Sister” という曲でした)。とはいえ、具体的にどう立ち向かったかという、実は単に聞こえたままをひたすら書き出していただけでした。「こうした方が、単語一つ一つを気にせず、つながった音が意識できるはずだ」と、明確に考えて始めたわけではありませんが、無意識にそう考えてとりかかったのだと思います…恐らく。そして完成した、「しぶままびはられけましーん」のような文字の羅列から成る、呪文のような自作歌詞カード (?) のあまりの意味不明さに、我ながら一瞬ひるみましたが、今度はそれを使い、曲に合わせて歌う練習を始めました。ここでお気付きかもしれませんが、実は当人はただスキでやっていただけのこうした作業が、よく考えると完全に「学習」になっていたのですね。

テンポの速い曲だっただけに合わせることも自体も一苦勞でしたが、練習を重ねた後に見出したのは、思わず自画自賛したくなるほど「流暢に」英単語をつなげて発音し、洋楽の曲を歌っている自分でした。意味はおろか、どんな単語を歌っているのかすら全く分かっていませんでした。

この壁を乗り越えたことで、英語を「発話/発声する」ための、次のような心構えが出来たように思います。すなわち、自分のカタカナ英語的な読み方を「正しい」発音に近づけようとするのではなく、カタカナ英語は完全に忘れ去って、CD (あるいは映画でもニュースでも) から聞こえたままの発音を、一から「マネ」するほうが、英単語をつなげて読むコツを学習しやすい、ということです。

このような心構えをもつと、そのための教材は、市販の『~のためのニュース英語聞き取り本』といった、CD 付属の書籍に限りません。持っている CD 全てが、格好の「マネ用」教材 (しかも当然、吹き込みは全てネイティブ!) になってくれるわけですから。

❖ カタカナ英語はウソだらけ2：母音

こうして、カタカナ英語を捨て去り、洋楽 CD をマネのための教材とすることを覚え、日夜「学習」(?) に励んでいた筆者は、やがてカタカナ英語のもう一つの限界をはっき

り認識することになりました。先にも触れたように、カタカナ英語は「つなぎ方」だけでなく、一つ一つの単語の読み方/表記の仕方についても「正しい」ものと違ってはいるわけですが、これは、当初の予想以上に大きな「違い」だったのです。

英語学習を始めて比較的早い段階でも、“th” や “r” といった、日本語には存在しない子音をカタカナで表したものが、完全なウソっぱちだということは恐らくすぐにわかるでしょう。だって、中学の英語の授業で先生が苦心して説明してくれた、(分かったような分からないような) これらの子音の発音法を考えると、そうやって出した音が、カタカナで書いた/読んだものと大きく異なることは明らかですよね。たとえば、“this” って…やっぱ「デイス」ではないです。このことには、やはり筆者も英語学習の早い段階で気付きました。ただ、筆者には、まだ気付いていないことがあったのです。

その点に気付くことができたのも、洋楽を聴くようになってからでした。というのも、歌というのは、やはりいくら「ハード」でも「メタル」でも、ゆっくり長く声を伸ばすような部分があるもので、そして、その伸ばされる音というのは、ほぼ間違いなく母音であるわけです。というわけで、気付いたことというのは、「カタカナ英語ってのは、子音に関してだけじゃなく、母音に関しても、実際の英語と全然違う！」ということでした。

実際に筆者がそのことを実感したのは、確か Nirvana というバンドの何かしらの曲を聴いていたときだったと記憶しているので、やはり恐らく高校生の頃だと思います。とにかくそれからは、音のつなぎ方、子音、母音、これら全てに関して、カタカナ英語とは、とにかく「英語ではない」、というか、「日本語である」という認識を、明確にもつようになりました。その後、英語のなかの4つの異なる母音が、カタカナ英語では全て「ア」という音で読まれている例や、逆に、一つの英語の母音が、カタカナ英語では「オ」と「ア」と読み分けられている例などに気づき、啞然としました。たとえば、後者に関していえば、辞書で発音記号を調べると確かめられますが、「ホスピタル (hospital)」の“o”の部分と、「ホワット (what)」の“a”の部分は、アメリカ英語では同じ母音なのです。ということで、カタカナ英語さん、さようなら…。

❖ 教材ならざる教材

こうして見てきたように、洋楽は、意識の持ちかた次第で立派な英語学習教材となってくれます。そしてその、教材としての最大の長所とは、何度でも再生できる点や、ネイティブが吹き込んでいるという点だけでなく、なんととっても、間違いなく学習者本人が

「楽しめる」ものだという事でしょう。筆者自身、上記のような、楽しんでばかりの洋楽漬け生活をきっかけとして、教える立場になるほど英語を勉強してしまうとは思っていませんでした。

ただ、この学習法を実践するには、一つ大きな問題点があります。それは…まず好きな洋楽の曲がなければいけない、ということです。

こればかりは、出会いです。さあみなさん、カタカナ英語に別れを告げて、外の世界に「耳」を向けてみましょう。



ニューヨーク・シティのマンハッタン島の歩道には、色鮮やかでユーモラスな広告つきのゴミ箱がいっぱい。街を歩くのが楽しくなります。これは、Spanky's BBQというレストランの広告入りのゴミ箱です。

コラム 5 アメリカの祝祭日：感謝祭を中心に

アメリカには、国民の祝日が10日あります。時系列順に並べると、新年（1月1日）、キング牧師誕生日（1月第3月曜日）、プレジデント・デー（2月第3月曜日）、戦没者追悼記念日（5月最終月曜日）、独立記念日（7月4日）、労働者の日（9月第1月曜日）、コロンブス・デー（10月第2月曜日）、退役軍人の日（11月11日）、感謝祭（11月第4木曜日）、クリスマス（12月25日）です。このうち、クリスマスと元日以外はアメリカ独自の祝日です（感謝祭はカナダにもあります）。

多くのアメリカ人にとってもっとも大切な祝祭日は、感謝祭（Thanksgiving Day）と独立記念日でしょう。独立記念日は日本でも良く知られているので、ここでは感謝祭についてお話しします。

ほとんどの人たちは感謝祭の翌日も休みをとって、週末を含めて4連休とし、家族や親しい友人と過ごしたり、旅行に出かけたりします。また、多くの都市で感謝祭のパレードが催されます。特に、アメリカのデパート Macy's が1924年に始めたニューヨークのパレードは有名です。家庭の食卓には、七面鳥とクランベリーソース、パンプキンパイ、マッシュポテトなどが並び、アメリカの「伝統の味」として受け継がれています。それもそのはず、これらの食材はすべて「新大陸」原産です。

そもそも、感謝祭はいつごろ始まったのでしょうか？

一般に言われている話はこうです。17世紀初頭、英国国教会の宗教弾圧をのがれ、信仰の自由をもとめた清教徒たちが、メイフラワー号（the Mayflower）に乗って新大陸を目指した。かれらは1620年の冬、今のマサチューセッツ州に着き、上陸した地をプリマス（Plymouth）と名づけ、そこに植民地を建設した。その冬の厳しさでメンバーの半数が死んだ。そこで、植民者たちは近隣のインディアンに助けを求め、トウモロコシの栽培方法などを教えてもらった。そして、翌年の秋には豊かな収穫にめぐまれた。かれらはインディアンを招き、神への感謝の祝宴をもうけた。これが今日の感謝祭の起源である、と。

この清教徒たちはピルグリム・ファーザーズ（Pilgrim Fathers）と呼ばれ、アメリカ建国神話の主演です。けれども、「神話」であるがゆえ、彼らの物語はさまざまに脚色されてきました。感謝祭の成立過程も、実はここに書いたような単純なものではありません。歴史の真偽はさておき、ピルグリム・ファーザーズも感謝祭も、多人種・多民族で構成される「人工国家」アメリカ合衆国を束ねる統合の象徴として、いまだ強力に機能していることは間違いのないようです。

7 映画で英語を学ぼう

ここでは英語を楽しんで学ぶための映画DVDの活用法を紹介したいと思います。また、英語で書かれた映画の脚本や映画評の活用法にも触れます。

❖ 映画の活用法いろいろ

(1) セリフを英語で聴いてみよう！

英語のリスニング力を高めるには、DVDで映画を観る際に、吹き替え版ではなく、オリジナルの英語音声で観るようにしましょう。できれば、日本語字幕ではなく英語字幕を用いるのが望ましいです。耳で聴いても分からなかったセリフでも、画面下部に表示される英語字幕を読むことにより、どんな単語が使われていたのか分かります。字幕は英語で subtitles（もしくは captions）と言います。

英語音声・英語字幕では、俳優のセリフ回しが速すぎて、はじめのうちは何を言っているのか、まったく分からないかもしれません。しかし忍耐強く英語の音声を聞いていれば、英語のリズムにもだんだんと慣れてくるでしょう。特に映画はストーリーと連動してセリフが付いてきますので、俳優の表情、ストーリー展開を追ってれば、「このセリフは何か悲しい意味があるのかな」などと、自然にセリフの意味を推測して聴く習慣が付きまします。想像力を働かせながら観ることにしましょう。

(2) 脚本を読み、英語への理解を深めよう

気に入った映画の脚本を読んでみましょう。人気映画の脚本はいろいろな出版社から出版されていますが、お薦めは「スクリーンプレイ・シリーズ」です（以下、SPS：書誌詳細は参考文献参照）。スクリーンプレイ（screenplay）とは、脚本のことです。このシリーズでは、英語の台本が左ページに掲載され、その訳と用語説明が、右ページに載っています。自分で辞書を引く必要がないため、どんどん読み進められます。そして重要なのは、場面設定（stage directions）の説明（ト書き）があることです。ぱっと画像を観ただけでは分からなかった状況も、ト書きを読んだ上で観ることで、一層物語の理解が深まります。

面白いセリフの例を、オードリー・ヘプバーン主演の『シャレード』（*Charade*, 1963年アメリカ）というサスペンス映画から見てみましょう。この映画は、大戦中に行方不明になった25万ドルの行方を巡り、敵味方入り交じった情報戦が繰り広げられる、というスト

ーリーです。サスペンス仕立ての映画らしく、セリフもストレートではありません。冒頭で、夫との別離を考えているヒロイン、レジーはヤケ食いをしますが、そんな彼女を見て友人のシルヴィーが次のように言います。(SPS 138 『シャレード』 p. 20)

“It is infuriating that your unhappiness does not turn to fat.”

これは直訳すると、「あなたの不幸が脂肪に変らないのはしゃくだわ」となります。これは、ヤケ食いをしたら太るはずなのに、オードリー演ずるレジーが細身であることに対するコメントです。しかし、「スクリーン・プレイシリーズ」138の意訳 (p. 21) では「あなたの不幸が幸運に変らないのはしゃくだわね」と、“fat” が「脂肪」ではなく「幸運」と訳されています。これは、“fat” が俗語で“good luck”を表すことから、二つの意味で用いられた言葉遊びというわけです。

また、悪役と戦って背中に負傷したヒーロー、ピーターの手当てをしながら、レジーが言うセリフがあります。(SPS 138 『シャレード』 p. 118)

“You won’t be able to lie on your back for a few days. But then you can lie from any position, can’t you?”

「スクリーン・プレイシリーズ」138では、「数日間は仰向けに寝られないでしょうけど。でも、どんな体勢からでもうそはつけるわ、そうでしょ？」(p. 119) と訳され、「ここでの lie は『横たわる』と『うそをつく』をかけたもの」という注が入っています。これは、ピーターが偽名を用いて自分に近づいた事に対する、レジーの皮肉なのです。ちなみにこの映画の中で、ケーリー・グラント演ずるピーターは、四回名前と身分を変えます。

もう一つ、例を見てみましょう。比較的最近の映画『プラダを着た悪魔』(*The Devil Wears Prada*, 2006年アメリカ)には、気の利いた言い回しがたくさん出てきます。ファッション業界に入ってしまったジャーナリスト志望の女性の成長物語ですが、華やかなだけではないファッション業界の裏側や、働くことの厳しさが垣間見える作品です。一つ例に取ってみましょう。彼氏と別れそうになっている主人公アンディが、同僚のナイジェルにこう言います。(SPS 128 『プラダを着た悪魔』 p. 106、和訳 p. 107)

“My personal life is hanging by a thread.” 「プライベートの方もやばいの。」

するとナイジェルが言います。(SPS 128 『プラダを着た悪魔』 p. 106)

“Well, join the club.”

直訳すると「クラブに入れよ。」となりますが、この「クラブ」とは、部活動などのクラブではなく、仕事が忙しすぎて私生活がうまくいっていない人々は、クラブを作るほど多い、つまり辛いのはあんただけではない、と励ましているのです。

このように、映画には機知に富んだ言い回しがたくさん出てきます。読んで理解したら、もう一度映画そのものに戻ってみましょう。耳で聞くと、「このセリフを口に出して言うところ聞こえるのか！」という発見もあるかもしれませんよ。

(3) 原題を知ろう！

観た映画の感想を記録する場合は、原題 (the original title) も忘れずに記録しておきましょう。なぜなら、題名というのは作品の内容を最も象徴するキーワードであり、したがって簡潔かつ適切な単語が選ばれているため、タイトルに使われている単語は記憶に定着しやすいからです。原題は、インターネット検索でも簡単に調べられますし、DVDの表面にも書かれています。また、原題は、映画の最初に必ずスクリーンに出てきますので、注意して観てみましょう。原題と邦題の比較を試してみるのも英語の勉強になります。例えば、2001年のニュージーランド映画『ロード・オブ・ザ・リング』の原題は、*The Lord of the Rings* といいます。指輪を巡って登場人物たちが旅をする物語であることもあって、邦題の「ロード」の部分「旅路」からの連想で“Road” (道) だと思っていた人は、結構いるのではないのでしょうか。しかし原題は、指輪の「支配者」という意味で“Lord”が使われているのです。このように、原題を知ることで、英語の意味が再確認できることがあります。

(4) 文化的・社会的背景を知ろう！

映画を観ると、時代・社会背景を考えさせられることがあります。『リトル・ダンサー』(Billy Elliot, 2000年イギリス) という作品を例に取ってみましょう。

この1980年代の英国北部を舞台とした作品には、英国の階級格差、炭鉱の閉鎖による失業者問題、労働者階級に生まれた若者の将来の選択肢の無さ、バレエを女性の遊戯として軽蔑する男性上位社会の偏見など、様々な時代的・社会的な背景があります。それらを考えながら観た方が、この貧しい炭鉱夫の次男がバレエ・ダンサーを目指す物語への理解も深まるでしょう。様々な文化的・社会的背景や価値観を学べるのも、映画の効用と言えます。

(5) 映画はどうやって撮られたの？ 音声解説を聴いてみよう！

映画DVDには、音声解説 (audio commentary) が付いてくることがあります。音声解説とは、監督や俳優、製作者が、自分たちの作った映画を観ながら、それぞれのシーンについて音声でコメントを加えていくものです。製作時のエピソードなどを話します。すべての映画DVDに付いているわけではありませんが、自分が感動したシーンでは作った人々が何を考えながら撮っていたのか観てみると、作品の理解が一層深まるでしょう。英語音声の説明を聞くことで、口語表現の勉強にもなります。

(6) 好きな映画の評判は？ 映画評を英語で読んでみよう！

自分の観た映画について、短い映画評 (film reviews) を読んでみるのも、語彙を豊富にするのによい手段です。例えば、*Leonard Maltin's Movie and Video Guide* というガイドブックがあります。映画の内容と印象を記した、簡潔で、形容詞の多い文章ですので、映画を英語で他人に説明するときの参考になります。英語の多彩な表現を学びたい人には、うってつけのガイドです。そればかりではなく、映画のあらすじや短評がシンプルなアメリカ英語で書かれていますので、英語が楽しく学べますよ。

❖ 最後に…

映画を活用して英語を学ぶのは、決して堅苦しいことではありません。海外の文化や、過去の風習などを自分の好きなときに、手軽に学べるのが映画の魅力です (もちろん実体験とは異なりますが)。楽しみながら、映画を通じて英語を学びましょう！

【ここで紹介した映画について】

Back to the Future. Directed by Robert Zemeckis, Universal Pictures, 1985.

Billy Elliot. Directed by Stephen David Daldry, BBC Films, 2000.

Charade. Directed by Stanley Donen, Universal Pictures, 1963.

The Devil Wears Prada. Directed by David Frankel, Warner Brothers, 2006.

The Lord of the Rings: The Fellowship of the Ring. Directed by Peter Jackson, New Line Cinema, 2001.

8 英語の本を読んでみよう

❖ 読みたい本はどうやって探す？

英語で書かれた本を読むには、まず書店か図書館に行かなければなりません。もちろん、英語で書かれたウェブサイトのなかで、興味を引くものを読むのも、実り多いことですが、これは「3. PC・スマホで英語を学ぶ」を参照してください。図書館で本を探す作業については、『はじめの一步』を参照してください。

最近はやっとした書店にも英語のペーパーバックが置いてあります。これは「ハードカバー」と呼ばれる硬い表紙の本ではなく、やわらかい紙の表紙で綴じてある本で、比較的安く買えるものです。一般的な書店では、その時々話題になっている本の英語版、たとえば話題の映画を小説の形で書いたもの、（これをノベライゼーション：novelizationといいます）などです。これらは、英米人が楽しみのために（つまり勉強のためではなく）読むものなので、この種のものが読めるようになれば、英語を読む力、という点では一応の到達点であるといえます。

❖ どこで買えばいい？ 渋谷って便利！（^_^）

もっとホネのあるものが読みたい、あるいは自分の好きな分野の本を探したい、というときは大型書店に行かなければなりません。東京でいうと、新宿の紀伊国屋書店（渋谷からJRで2駅先の代々木）、丸善日本橋WEST館（渋谷から銀座線一本で行ける「日本橋」で下車）、三省堂（渋谷からやはり半蔵門線一本で行ける「神保町」）などです。

たまたまですが、これら3つの書店は全て渋谷から極めてアクセスが良いのですね。渋谷には、紀伊国屋書店の支店（南口駅前）がありますが、ここは洋書にさほど力を入れていないので、先ほど述べた、話題の本のようなものが中心です。

出歩きたくない、という出不精なアナタ、あるいは忙しいアナタには [amazon.com](https://www.amazon.com) で買う、という手があります。クレジットカード決済は恐ろしい、とか、カードを持ってないアナタには「代金着払い」という方法があります。これは、わずかな手数料（315円）と送料（しかも現在、amazon が販売する本はすべて送料がタダ！）で、代金と引き換えに宅配便を受け取れる、というありがたいサービスです。コンビニ払いの場合は、手数料もかかりません。いずれの方法も、[amazon.com](https://www.amazon.com) にアクセスをして、クリックをするだけで

済みます。

❖ 英語だけで書いた本、ってムズカシイ？

さて、どのような本がお望みでしょうか？ おそらくまだ一度も、英語だけで書いてある本は読んだことも、あるいは買ったこともない人が多いことでしょうから、迷うことでしょう。まず、雑誌は意外とムズカシイということがいえるでしょう。有名どころの *Time* やら *Newsweek* やら、*US News and World Report* ですね。これらは（特に最初の2つ）英米人でもある程度の教育を受けてないと、難物なのです。それに、毎週出るので、くやしいことに読みきらないうちに次が出てしまうのですね。

ただし雑誌でも、自分が深く興味を持っていて、かなりな知識を（日本語で）持っている場合には、内容が分かるので英語もついでに分かる、ということがあります。たとえば、バイクが好きな人は、バイクの雑誌、パソコンマニアの人には英語のパソコン雑誌、といった具合ですね。

おすすめは、先ほど挙げた「話題の本」です。これから見ようと思っている（あるいはもう見て、とても良かった）映画の原作・ノベライゼーションなどです。その他、ストーリー性の高いもの。SF、ファンタジー、アクション小説、など。これらの日本語版もいっしょに買ってみるのです。この際、まず日本語版を読んでみるのも有効な手です。ただし、分野によっては独特の難しさがあります。その他、恋愛小説は読みやすいので、いいでしょう。映画の原作、あるいはノベライゼーションなら、読んだあとに映画を見ると、映画評論家にでもなったような気がするかもしれません。薄いものからはじめて、興味のおもむくままに読み散らかすのが、正しいやり方です。

❖ 自分にあった本

残念ながら外国語というものはあまり自由自在にはなりません。いつまで経ってもなにやら不自由な感覚が残るものです。しかし、英語を話したり、あるいは聞いたりするときと違って、活字はそこに存在するものであって、いつまでも待ってくれます。ではありますが、あまりにも自分の読解力とかけ離れたものを選んで、労多くして功少ないといわざるを得ません。そこで、本を選ぶ際には、立ち読みの段階で適当なページにいくつか目を通して見て、知らない単語が一行に5つも6つもあるようなものは避けたほうが無難です。

でもそれじゃ選べる本がない！という場合には、海外の出版社からも、2000語・3000

語限定、という易しく書き直されたものが数多く出ています。(Penguin Books社のものなど) こういったものからはじめるのも、効果的でしょう。ただし、何度も言うようですが、まずは自分の興味にあったもの、というのが最大の条件です。

❖ どうやって読むか？

(1) 英語の構文と、その変形

高校生のときに、英語のさまざまな構文を習ったことと思います。たとえば、not only ... but also ... や、あるいは not ... any more than ... などです。これらは高校の授業や大学受験で必要なだけではありません。つまり、書き言葉でももちろん用いられますが、話し言葉や、あるいは歯切れのいい話し言葉の文体で書かれた小説などでもこの種の構文とそのバリエーションがよく登場します。たとえば、以下の例を見てください。

(例-1) In my grandmother's time, knitting was **not just** a way to keep one's hands busy. It was **also** a way to save money.

(祖母の時代には、編み物は単にひまつぶしの手段だったのではない。お金を節約する手段でもあったのである。)

これは皆さんよくご存じの not only ... but also ... の変形ですね。only の代わりに、話し言葉では just が、書き言葉では merely などが使われることがあります。話し言葉の文体で書かれた場合、例-1のように2つの文に分かれることがよくあります。さらに口語的な例では、

(例-2) Then the Defense Network computer saw all people as a threat, **not just** the ones on the other side.

(防衛ネットワーク・コンピュータが人間全部を敵と見なしたんだ。向こう側の、ホントとの敵だけじゃなくてね。)

のようになることもあります。おなじみの構文を使って書き換えれば、

Then the Defense Network computer saw **not just** the ones on the other side **but** all

people as a threat.

となるでしょう。

このように、学校で習ったような構文が、若干姿を変えて頻繁に登場するため、これらを知らずに英語の本を読んでいくことは実際には困難なことなのです。会話文で書かれているようなものであっても、地の文にはやはりこの種の構文はとても頻繁に出現します。

つまり、英語の重要構文はもちろん大学受験にも必要ですが、それらが出題されるのは、英語を読む上で知らないとも足も出ないからでもある、ということです。さらに、話し言葉でも、それら重要構文の変形が頻繁に登場するのであれば、やはり（残念ながら）覚えておかなければならないことがわかるでしょう。

(2) 熟語

英語には（もともと日本語も同じですが）熟語 (idiom) と呼ばれるものが数多くあります。熟語とは (1) 決まった形で用いられ、(2) それぞれの単語の意味からは全体の意味が必ずしもすぐには分からない表現を指します。たとえば、give up the ghost は文字通りには、「幽霊をあきらめる」ですが、実際には「死ぬ」という意味になっています。また、bite the bullet は「銃弾を噛む」ですが、実際には「耐え忍ぶ」という意味です。余談ですが、日本語の「臍^{はら}をかむ」は「後悔する」という意味ですね。「臍」(へそのことです) を噛むことが、いったいどういう経緯で「悔やむ」という意味になったのでしょうか？

では、これら熟語はすべて丸暗記するしかないのでしょうか？ そうではありません。あらゆる熟語は、それらが生まれたときは、文字通りの意味を基本として、いわば比喩的表現として成立しているのです。たとえば、bite the bullet は、麻酔が使えない状態（たとえば戦場）での外科的治療時に、患者に弾丸をかませて施術したことに由来します。

また、熟語は成立してから長い間（ものによってはおそらく数百年）使われることがあります。そのため、もともとの文字通りの意味が現代語とは少し異なっていることがあります。たとえば先ほどの give up the ghost では、ghost が「幽霊」ではなく、「魂」「靈魂」という意味で使われています。そのため give up the ghost は元来は「自らの靈魂を肉体から放棄する」という意味であったわけです。なお、この ghost の古風な意味は、the Holy Ghost 「聖霊」というキリスト教用語にも使われています。

また、熟語の中には、語法自体が古風な文法事象の名残をとどめていたりするものがあります。たとえば「いわば・・・」という as it were という表現があります。同じ意味の

表現に、so to speak というものもあります。これらは「古風な語法」が熟語としていわば化石のように残存しているものなのです。as it were は、be 動詞が were になっていることでわかるように、仮定法の名残です。もともとは as if it were だったのが、if が脱落したわけです。一方、so to speak は、語順が古風なのですが、現代語の語順に直せば to speak so 「そう言うならば」というのが元来の意味であることが分かります。そういえば、日本語の「言わば」自体が「言う」の文語活用の未然形プラス「ば」をつけた形ですので、むかしの表現の名残ですね。

これらのことから、熟語は丸暗記せずに（もちろん丸暗記するしかないようなものの中にはありますが）、まず文字通りの意味を考えてみて、そしてそれがどのように熟語としての意味と結びついているのかを考えることはとても有益な作業です。

(3) 何でもないような言い回し--文脈を読み取る

単語は全部分かる、熟語が使われているわけでもない、しかしなんだか意味が釈然としないことがあると思います。たとえば以下の例を見てください。

(男が女に) Have you ever been mistaken for a man?

(女が答えて) No. Have you?

単語も、そして全体の意味も明解です。でも、これがともしゃれた会話になっているのがお分かりですか？

男がとてもたくましい女性に「(おまえみたいな筋骨隆々の) 女は、しょっちゅう男と間違えられてるだろう？」とからかったところ、「ないわ。で、あんたは？」と答えたわけです。この女の答えは、明らかに男性である相手に向かって、「男に間違えられたりしない？」と反問し、相手の男性が「男」であるという前提をひっくり返すことによって、みごとなしっぺ返しに成功しているのです。

このような言いまわし、軽妙なやり取りが、本を読んでいるときにでも楽しめるようになれば、それは文脈を完全に理解していることのしるしでもあります。

❖ 注意のことば

最後に、「英語を読む」ということについてもう一言だけ。将来英語を使う仕事をした、と思っているなら、英語を読む力がないとほとんど何の役にもたたない、ということ

です。もちろん、英語を使う仕事もさまざまですので、片言的英会話能力さえあればしのげる事もあるでしょう。しかし、どのような職種であっても、いやしくも英語を使う仕事であるならば、そしてある程度の責任を伴う立場になるならば、英語で書かれた文書を読んで理解する能力がなければなかなかつとまりません。早い話、世の中の情報の大半は、まず英語で発信されているのです。英語のウェブサイトですら、読むのに苦労するようでは、情報収集に手間取ることは明白です。それに、もし大学院に進学して、研究者のタマゴにでもなったりしたら、英語で文献が読めないことにはたちまち往生する場面が多くなります。

付け加えるなら、読解能力に加えて、英語で文書を作成する能力があるならば、英語で仕事をするための条件はほぼ満たされる、といえるのです。なぜならば、この2つがこなせるならば、英語による音声コミュニケーション能力は放っておいてもついてくるからです。



ダブリンのホテルで出された、フル・アイリッシュ・ブレックファスト。イングリッシュ・ブレックファストも、内容はほとんど同じです。中央から時計まわりに：fried egg, sausages, black pudding, white pudding, hash brown, half a tomato, bacon. 目玉焼きのかわりにscrambled eggs 等を選ぶこともできます。

9 英語の漫画を読みましょう

英語の小説を読むのはちょっと難しそうだけど、漫画なら読んでみたい、という人はかなりいるのではないのでしょうか。小説と違って、背景や登場人物の表情・動作などが状況を説明してくれますから、わたしたちは会話そのものに集中することができます。また、印象的なセリフや気に入ったフレーズを画面ごと視覚的に捉えて覚えやすいという利点もあります。世界中で読まれている有名な4コマ漫画を原語で読むのもよし、お気に入りの日本の漫画を英語で読むのもよし。会話でよく使う英語が楽しく学べます。

1. 英語で書かれた漫画を読みましょう

❖ どんな種類の漫画があるの？

英語学習には、1コマ漫画よりも、ストーリー性のある4コマ漫画やストーリー漫画の方が適していると言えます。しかし、英語圏では、日本ほどストーリー漫画は多くありません。新聞に載っている1コマ漫画や4コマ漫画が主流だと考えてよいでしょう。

4コマ漫画は、起承転結をそれぞれ1コマに表現し、4コマで完結するのが基本の、比較的読みやすい形式です。（4コマ漫画を積み重ねて、より長いストーリーを作る場合もあります。）おなじみスヌーピー（原題は *Peanuts*）もそうですが、新聞に毎日掲載されるのは、この形式の漫画です。ストーリー漫画は、『スーパーマン』や『スパイダーマン』のように、1つの長いストーリーをもつ漫画です。

❖ 漫画の英語に特徴ってあるの？

『ピーナツ』も『スーパーマン』も、セリフや書き文字は、看板や標識のようにすべて大文字で書かれています。大人向けの漫画でも、すべて大文字です。

また、辞書に載っているつづりではなく、話し言葉の発音通りに表記することがあります。次の文はどういう意味だと思いますか？

WHADDAYA MEAN KIDS CAN'T GO OUT THEMSELVES?

辞書をひいても、WHADDAYA は見つかりませんね。書き出しの WHAD は、実は、おなじみの疑問詞です。声に出して読んでみると……そう、WHADDAYA は、What do you

のことなのです。話し言葉では、まるで1つの単語のように一息で発音するのです。慣れないうちはそういうところを難しく感じるかもしれませんが、絵が助けてくれますので、ちょっとくらいわからなくても大丈夫です。

❖ どこで読めるの？

洋書を扱っている書店で買えますが、輸入されているので割高です。インターネットを利用すれば、無料で海外の漫画を閲覧することができます。次に、おすすめ人気漫画と関連サイトを紹介します。気になる漫画は、今すぐ検索して、ネットで見てみましょう！

▷ *Peanuts* by Charles Schulz → snoopy で検索

おなじみ、チャーリー・ブラウンとビーグル犬のスヌーピーが主人公。ホームページ下部の COMIC LIBRARY「今日のコミック」では、日替わりで4コマ漫画が読めます。さらに、「バックナンバーはこちら」をクリックすると、過去の「今日のコミック」の他、「今月のコミック」などもあります。なお、このハンドブックの「参考文献リスト」には、作者が2000年2月に亡くなる前、最後に描いた作品も収めている *Peanuts* 作品集を紹介しています。

▷ *Dilbert* by Scott Adams → dilbert で検索

主人公は独身エンジニアのデイルバートで、ドッグバートという名の犬と同居しています。アメリカをはじめ、世界中で読まれている職場風刺漫画です。日本語サイトでは、すべてのセリフの和訳はもちろん、社会的背景の説明もあります。

▷ *Garfield* by Jim Davis → garfield で検索

太っちょで、ぐうたらで、ラザニアとコーヒーが大好きなオレンジ色の猫、ガーフィールドが主人公。英語圏だけでなく世界中の新聞で読まれ、愛されています。

▷ その他 → gocomics で検索

英語圏の人気漫画を多数集めたサイトです。好みの漫画を探してみましょう！

2. 日本の漫画を英語で読んでみよう

今や日本の漫画が世界中で読まれていることは有名です。日本製漫画の質の高さが世界的に認められている現代、驚くほど多くの漫画が外国語に翻訳されています。こうした翻

訳作品のうち、英訳は、日本でも容易に入手できます。読みたい作品が書店の店頭がない場合は注文できますし、amazon などのネット書店でも購入できます。大好きな漫画が英訳されていたら、読んでみたいと思いませんか？ 友達同士で配役を決めて、声に出して読むのも楽しいですよ。

❖ どんな漫画が英語に翻訳されているの？

「参考文献リスト」に、『頭文字D』『NANA』『NARUTO』『のだめカンタービレ』『めぞん一刻』『鋼の錬金術師』『部長島耕作』『SLAM DUNK』『ONE PIECE』を紹介していますが、現在出版されている英訳漫画のほんの一部にすぎません。みなさんのお気に入りの漫画がリストになれば、ネットで検索してみてください。

『NANA』や『めぞん一刻』のような、日本が舞台の漫画を英語で読むと、違和感を感じるかもしれません。しかし、こうした違和感は、かえってセリフを印象的に感じさせるでしょう。また、日常的な表現を「ああ、英語だと言おうんだ」と感心したり、たくさんが発見があること、請け合いです。

スポーツや音楽に国境はありません。『SLAM DUNK』や『のだめカンタービレ』が好きな人は、ぜひ英語版を手にとってみてください。また、『鋼の錬金術師』のような、ファンタジー作品だけでも英語圏を意識した漫画は、英語だとより臨場感が増すような気がしませんか。

「好きこそものの上手なれ」、です。大好きな漫画を読んで英語を学びましょう！

コラム 6 Home, Sweet Home

There's no place like home. (わが家に勝る所はない) 英国人の「わが家」への愛情を示すと言われるこの一文は、実は、John Payne (1791-1852) という米国の俳優・劇作家によるオペラの中で歌われた“Home, Sweet Home”の一節であり、日本では、明治時代より歌われる「はにゅう やど殖生の宿」の元歌であることを、いまや、どれほどの人が知っているでしょうか。しかし、英国人にとっての家の大事さは、今も変わらぬものでしょう。「家」、と一口に言いましたが、英国の家には、いろいろな型があり、その呼び名が、日本では、誤って使われている例もあることから、英国の典型的な「家」をいくつか紹介してみましょう。

かつて、日本の家を見て、ウサギ小屋と喝破したのは、英国人だそうですが、当の英国人だって、みんな、立派な家に住んでいるわけではなく、first buyer (初めて家を買う人) は、日本と同じ集合住宅 flat あたりから始めます。日本ではマンションと呼ばれるものですが、英語の mansion は、大邸宅、荘園領主の館、という意味ですから、「私は、マンションに住んでいます」と英国人に言えば、少々、驚かれるかもしれません。同じ集合住宅でも、terraced house と呼ばれる連棟式もあります。壁は隣家と共有、だいたい三階建てくらい、flat が屋根と床を上下の家と共有しているのに比べれば、騒音問題で悩まされる度合いは減るかもしれません。とは言え、筆者のイギリス滞在の最初の家がこのタイプで、隣家と共有の壁沿いの階段を、左隣の独身医師と飼い犬が勢いよく昇り降りする騒音は、相当なものでした。

そして、次なる目標は、日本と同様、detached house (一戸建て) ですが、その一步手前にあるのが、イギリス独特の semi-detached です。不動産屋などでは、略してsemi (セミ) と呼ばれるものです。これは、一見、一戸建てなのですが、実は、二軒で一軒、間の壁を共有した二軒からなる一軒家、セミ (準) 一戸建てです。間の壁は厚く、隣家の物音は聞こえないそうですが、英国お得意の detective novels (推理小説) には、その壁に耳をあてて隣家の様子を窺う場面が出てくる、といえますから、その防音効果は、少々怪しいと言わねばなりません。いよいよ、最後は、隣家にも上下の家にも悩ませられない住居遍歴のゴール、semi がとれた detached house というわけです。もちろん、そこにたどり着くには、それなりの資金が必要で、その点から、semi で手を打たざるを得ないことも生じます。くだんの terraced house の右隣のインド系南アフリカ人の一家は、数年後

には、ウインブルドンというテニスで有名な高級住宅地の semi に転居し、そこは、日本人から見れば、とても、素晴らしい住居でしたが、夫人は、「ウインブルドンをとるか、detached houseをとるかで迷ったけど、ウインブルドンに住みたくて、semiで我慢した」と仰せでした。もちろん、ウインブルドンで detached というのは、かなりの財力を必要とするからです。

さて、そのように苦勞して入手した家も、子供も独立、多い部屋数を持て余すようになると、終の棲家として老夫婦が求めるものに bungalow があります。日本では、バンガローついで すみか というと、カッコーの鳴き声が響く山小屋のようなものをイメージしますが、ここでは、小さな平屋建て、老夫婦でも自力でメンテナンス（壁のペンキ塗りなど）が容易な家です。DIY（do-it-yourself、日本流に言えば日曜大工）が、おおいに盛んな英国らしく、最後まで自分で出来ることは自分でという精神で、「わが家に勝る所はなし」のわが家を守る英国人の面目躍如といった住居遍歴の終着点ですね。



子午線が通る天文台で有名な Greenwich の住宅街で通りかかった、イギリス版長屋の terraced house です。屋根の上によきによき生えているのは、煙突です。

こちらも、Greenwich で見かけた semi-detached house です。左右対称なのがわかりますね。



10 英語の検定試験と留学について

1. 英語の検定試験

現在、国内で様々な英語の検定試験が実施されています。何のために試験を受けるのか、どんな試験が実際にあるのか、試験の準備は何をすればよいのか・・・そんな疑問がわいてきたら、続きを読んでみてください。

❖ なぜ、英語の検定試験を受けるの？

英語の検定試験を受けようとする人には、様々な理由があるでしょう。例えば：

- ▷自分の英語が客観的にみてどのくらいなのかを知りたい。
- ▷1年間がんばったので、どのくらい力がついたかを知りたい。
- ▷英検や TOEIC でよい成績をとっておくと就職に有利だから。
- ▷英語圏の国に留学したいから受験しなければならない。
- ▷通訳や翻訳家を目指しているので、資格を身につけたい。

あなたの目標は何ですか？ それが、「英語検定試験を受ける理由」です。目的がはっきりすれば、どの試験を目指せばよいのかが決まります。目指す試験が決まったら、今度は、自分の目的のために必要な成績はどの程度なのかを調べましょう。

❖ 英語の検定試験には、どんなものがあるの？

次に、主な英語資格試験を紹介しましょう。一口に英語の検定試験と言っても、「英検」や TOEIC のような総合的な試験のほか、通訳や翻訳の試験、観光ガイドや工業英語などの専門的な英語の知識を問う試験など、個々の目的に応じた様々な試験があります。

日本では、近年、「実用英語技能検定（英検）」とともに、世界共通のものさしとして使えるので、国際的な試験である TOEIC の受験者が増えています。

(1) 総合的英語検定試験（この他にも多数あります）

1. 国際連合公用語英語検定試験（国連英検） ※級を決めて受験

国連公用語6カ国語の普及と向上を図ることにより、国際的なコミュニケーションを促進することを目的とする試験。

2. 実用英語技能検定（英検） ※級を決めて受験

日常の社会生活に必要な実用英語の能力検定。

実施団体：財団法人日本英語検定協会

3. Test of English for International Communication (TOEIC) ※スコア制

国際的なコミュニケーションの場で必要とされる英語能力を正確、客観的に評価する世界共通のテスト。リスニングとリーディングの2つのセクションからなり、10～990点のスコアで評価します。

4. TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト ※スコア制

国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションをするために必要な、話す、書く能力を測定するテスト。それぞれ、0～200点のスコアで評価します。

(2) 大学・大学院留学に要する英語検定試験

1. Test of English as a Foreign Language (TOEFL) ※スコア制

英語を母国語としない留学希望者の英語力をみるテスト。

※アメリカ・カナダ等に長期留学する場合、この試験を受ける必要があります。

2. IELTS (International English Language Testing System)

イギリス、オーストラリア、ニュージーランドへの留学希望者の英語力を判定するテスト。得点により、1～9までのレベル（バンド）に振り分けられます。

実施団体：ブリティッシュ・カウンシル

(3) 翻訳・通訳・観光の英語検定試験

1. 通訳案内士試験

報酬を受けて外国人に付き添い、外国語を用いて日本の観光案内をする通訳案内士（通訳ガイド）になるための国家試験。

実施団体：国際観光振興会

2. JTF ほんやく検定

実務・産業翻訳業界で通用する翻訳レベルを判定するための試験。

実施団体：社団法人日本翻訳連盟

このほか、JTA公認翻訳専門職資格試験（実施団体：社団法人日本翻訳協会）や、観光英語検定試験（実施団体：観光英検センター）などの資格・検定試験があります。

❖ どんな準備をすればいいの？

国内に多数の受験者がいる検定試験（英検、TOEIC、TOEFL など）は、様々なレベルの参考書や問題集が多数発売されています。また、インターネットでも模擬試験を受けることができますし、メールマガジンで受験対策することもできます。現在の自分のレベルを模擬試験等で把握したうえで、目標をはっきりと定めて準備をすることが大切です。

文法が弱い人は、特に自分の苦手な項目を重点的に復習しましょう。読解問題がどうもわかりにくいという人は、短めの英文から徐々に慣れていくとよいでしょう。聞き取りや会話が苦手な人は、通学時間を英語の耳慣らし時間にあてるなど、普段の生活から英語づけにすることで苦手意識を和らげることができるかもしれません。とにかく、たくさん聴き、声に出し、読み、書くことです。好きな英語の歌を、オリジナルのまねをして歌う練習をするのもよいでしょう。

また、國學院大學の英語科目には、TOEIC 等の英語検定試験での合格やステップアップを目指す人のために、Advanced English「検定英語」という科目があります。自由選択科目ですので、皆さんのスケジュールに合わせて利用してください。

苦手なものがたくさんあっても、あわてず、あせらず、ひとつひとつ克服してゆけばよいのです。どうしていいのかわからなくなったら、英語専任教員がお手伝いします。

2. 留学について

❖ 大学の制度を利用した留学（国際交流課ウェブページより抜粋）

國學院大學では、短期留学、セメスター留学、長期留学（海外協定校への派遣留学）を実施しています。詳細は国際交流課（渋谷キャンパス国際交流センター1階）にお問い合わせください。

(1) 短期留学

現在、國學院大學では、夏期・春期の長期休暇中に、英語圏及び中国語圏への短期留学

を実施しています。興味のある人は、国際交流課のホームページ等で、募集要項・応募期間を早めに確認してください。

(2) セメスター留学

セメスター留学は、半年間海外の協定校で、語学運用能力を高めるプログラムに参加するものです。留学先での在学期間と取得単位を、本学における修業年限と要卒単位に算入することができます。興味のある人は、国際交流課のホームページ等で、募集要項・応募期間を早めに確認してください。

(3) 海外協定校への派遣留学

協定留学制度（派遣留学）は、本学が国際交流協定を締結している外国の大学へ本学学生を交換留学生として派遣する制度です。協定・認定留学に関する概要や規定細則等、詳細は『国際交流ハンドブック』をご覧ください。

❖ 私費による留学

大学の制度を利用せずに、夏休みに短期語学留学したり、休学して長期留学することを考える人もいます。その場合は、以下の点に留意し、準備しましょう。

- (1) 学費と生活費の確保：日本より物価が高い国もありますし、万が一のために、お金は多めに準備しましょう。じゅうぶんな銀行預金残高の証明がないと、入国できない場合もあります。
- (2) 英語の準備：語学留学ではない場合、事前に TOEFL 等の試験を受ける必要があります。留学先によって必要となる英語資格試験と成績が異なりますので、まず、どの試験でどれだけの成績が必要になるか調べましょう。
- (3) 滞在先の確保：ホームステイなのか、大学の寮なのか、自分でアパート等を見つけるのか、早めに決めておく必要があります。

たとえ1か月の語学留学でも、英語圏の大学で勉強し、英語で生活することは、間違いなくよい経験になります。お金がかかることですので「思い立ったらすぐ！」という訳にはいきませんが、機会があれば思い切って海外に出てみてはどうでしょうか。



前方、カンガルーに注意！ メルボルンの動物園で。



オーストラリアの有袋類、ポッサムは夜行性。民家の庭に果物などを置いておくと、野生のポッサムが夜に食べにやってきます。

付録1 國學院大學の学部・学科

みなさんは、自分が所属する学部や学科の名称を英語で言えますか？ 次の文に自分の所属名や専攻を入れて、英語で学部・学科名や専攻を言えるようにしましょう！

I am a freshman in the Department of _____. 例：History, Law, Economics

I belong to the Department of _____ (学科) / the Faculty of _____ (学部).

I major in _____ (専攻名) _____. 例：Japanese literature, history, economics, Shinto studies

1. 学部 ※学科名の前に the をつけましょう。

- | | |
|---|--------|
| <input type="checkbox"/> Faculty of Letters | 文学部 |
| <input type="checkbox"/> Faculty of Shinto Studies | 神道文化学部 |
| <input type="checkbox"/> Faculty of Law | 法学部 |
| <input type="checkbox"/> Faculty of Economics | 経済学部 |
| <input type="checkbox"/> Faculty of Human Development | 人間開発学部 |

2. 学科 ※学部名の前に the をつけましょう。

- | | |
|--|------------|
| <input type="checkbox"/> Department of Japanese Literature | 日本文学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Chinese Literature | 中国文学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Foreign Languages and Culture Studies | 外国語文化学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of History | 史学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Philosophy | 哲学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Shinto Studies | 神道文化学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Law | 法律学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Economics | 経済学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Business Management | 経営学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Socio-Economic Networking | 経済ネットワーク学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Elementary Education | 初等教育学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Health and Physical Education | 健康体育学科 |
| <input type="checkbox"/> Department of Child Studies | 子ども支援学科 |

3. 大学の学年 (アメリカ式)

- freshman 1年生 sophomore 2年生 junior 3年生 senior 4年生

付録2 ローマ字表 (ヘボン式)

※下段 [] 内は訓令式

	a	i	u	e	o	拗音 (a)	拗音 (u)	拗音 (e)	拗音 (o)
ア行	a	i	u	e	o	—	—	—	—
カ行	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	—	kyo
サ行	sa	shi [si]	su	se	so	sha [sya]	shu [syu]	she	sho [syo]
タ行	ta	chi [ti]	tsu [tu]	te	to	cha [tya]	chu [tyu]	che	cho [tyo]
ナ行	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	—	nyo
ハ行	ha	hi	fu [hu]	he	ho	hya	hyu	—	hyo
マ行	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	—	myo
ヤ行	ya	(i)	yu	(e)	yo	—	—	—	—
ラ行	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	—	ryo
ワ行	wa	(i)	(u)	(e)	(o)	—	—	—	—
ガ行	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	—	gyo
ザ行	za	ji [zi]	zu	ze	zo	ja [zya]	ju [zyu]	je	jo [zyo]
ダ行	da	ji [zi]	zu	de	do	—	—	—	—
パ行	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	—	pyo
バ行	ba	bo	bu	be	bo	bya	byu	—	byo

注1：撥音 (はねる音)

(1) 撥音 (ん) は、n で表す。ただし、b, p, m の前では m をおく。

例：健二 (けんじ) Kenji 難波 (なんば) Namba

(2) 「ん」の後に a, i, u, e, o, y がくるときは、間に ' またはハイフン (-) を入れる。

例：新大久保 (しんおおくぼ) Shin'okubo または Shin-okubo

注2：促音 (つまる音)

(1) 促音「っ」は、次の子音字を重ねて表す。 例：日暮里 (にっぽり) Nippori

(2) ただし、ち、チャ、チュ、チョは、ch を重ねずに t をおく。

例：八丁堀 (はっちょうぼり) Hatchobori

注3：地名・人名の表し方

(1) 大文字で始め、英文中では長音 (のばす音) を表さない。 例：裕子 (ゆうこ) Yuko

(2) 人名中の「おう」「おお」は、oh を用いることもできる。

例：伊藤 (いとう) Ito, Itoh 大野 (おおの) Ono, Ohno

短期留学やスピーキング中心の授業で、応答に困らないように覚えましょう！

1. 先生が授業の出欠確認をしています。名前を呼ばれたらどうする？

人差し指またはペンを相手に見える程度にあげて：“Here!”

※ 日本語では「はい」と返事しますが、英語では“Yes!”とは言いません。

2. 先生がクラス全体に質問しています。手を挙げて答えたいけど、どうする？

人差し指またはペンを相手に見える程度にあげる（出欠確認と同じ動作）

3. 授業中、指名されて、すぐに答えられないとき、どうする？

沈黙せずに、何か言いましょう。指名されたら、たとえわからなくても何か言わなければなりません。しゃべりながら、自分の思考がまとまるよう時間かせぎすると考えるといいかもしれませんね。

例：“Well, ...” / “Let me think about it a moment.” / “I’m not quite sure, but ...” /
“Do you mean ...?”

※ わからない場合でも、単に「わからない」と言うのではなく、どこまで理解できていて、何がわからないか具体的に伝えることも重要です。

※ 指示がないのに隣の人と相談したり、おしゃべりするのは絶対ダメ！ 論外です！

4. 先生への呼びかけ

名前を言わない場合は、Sir（男性）、Ma’am（女性）、または Professor を用いて呼びかけます。名前と呼ぶ場合、先生の姓にタイトル（Mr. や Ms.、Dr. 等）をつけます。先生が許可した場合には、先生の名（given name）で呼ぶこともできます。単に注意を引くだけなら、“Excuse me.” でじゅうぶんです。

Paul Green 先生（男性）の場合：Mr. Green（または Paul）、Professor Green

Laura Green 先生（女性）の場合：Ms. Green（または Laura）、Professor Green

博士号を取得している先生の場合：Dr. Green または Professor Green

名前を言わずに呼びかける例：Excuse me, Sir. / Excuse me, Ma’am. / Professor!

付録4 英語のことわざ80選

- 対応する日本のことわざがあるものは、特に有名なもののみ（ ）内に示しています。ただし、ここに載せていない日本のことわざを紹介している辞書・辞典もあります。
- 日本語訳や対応する日本のことわざを見ても意味のわからないことわざは、辞書や巻末参考文献に挙げていることわざ辞典等で調べましょう。
- ※印は、聖書の言葉からことわざに転じたものです。聖書のどういう場面で使われたか、現在どういう意味で使われているか、辞書等で調べてみましょう。
- ◇印は、語順などが若干異なるものですが、見出しの英文と同じことわざとして使われる言い方です。どちらで覚えてもかまいませんが、できれば両方覚えておきましょう。

1. A barking dog seldom bites.	吠える犬はめったにかまない
2. A bird in the hand is worth two in the bush.	手中の鳥1羽は藪の中の2羽に値する (明日の百より今日の五十)
3. A burnt child dreads the fire.	火傷した子どもは火を怖れる (羹に懲りて膾を吹く)
4. A drowning man will catch [clutch] at a straw.	溺れる者はわらをもつかむ
5. A friend in need is a friend indeed.	困ったときの友こそ真の友
6. A good medicine tastes bitter.	良薬は口に苦し
7. A little knowledge is a dangerous thing.	少しばかりの学問は危険なもの (生兵法は(大)怪我のもと)
8. All's well that ends well.	終わり良ければすべて良し
9. All roads lead to Rome.	すべての道はローマに通ず
10. All work and no play makes Jack a dull boy.	勉強ばかりで遊ばないと子どもはだめになる
11. An apple a day keeps the doctor away.	一日にリンゴ1個で医者いらず
12. A rolling stone gathers no moss.	転石苔を生ぜず
13. Art is long, (and) life is short.	芸術は長く人生は短い [ヒポクラテスの言葉から]
14. A tree is known by its fruit.	※果実を見れば木のよしあしがわかる

15. Better late than never.	遅くてもしないよりはまし
16. Birds of a feather flock together.	同じ羽の鳥は集まる (類は友を呼ぶ)
17. Cast not the first stone.	※最初に石を投げるな
18. Custom makes all things easy.	習慣はすべての事を容易にする (習うより慣れろ)
19. Don't count your chickens before they are hatched.	卵がかえる前に鶏の数を数えるな (取らぬ狸の皮算用)
20. Don't empty [throw] the baby out with the bath water.	風呂の水と一緒に赤ん坊を捨てるな
21. Don't cast pearls before swine.	※豚に真珠を投げるなかれ
22. Easy come, easy go.	簡単に入って来るものは簡単に出ていく (悪銭身に付かず)
23. (It's) Easier said than done.	言うは易く行ふは難し
24. Even a cat may look at a king.	ネコでも王様を見てよい
25. Even Homer sometimes nods.	ホメロスでも時には居眠りする (弘法も筆の誤り)
26. Every dog has his day.	だれにでも得意なときはある
27. Experience is the best teacher.	経験は最良の師
28. Fact [truth] is stranger than fiction.	事実は小説よりも奇なり
29. Failure teaches success.	失敗は成功のもと
30. Fortune comes in by a merry gate.	笑う門には福来たる
31. Haste makes waste.	急ぐのは無駄 (せいては事をし損じる)
32. Heaven [God] helps those who help themselves.	天は自ら助くる者を助く
33. Honesty is the best policy.	正直は最上の策
34. It is no use crying over spilled [英: spilt] milk.	こぼれた牛乳を嘆いても無駄だ (覆水盆に返らず)
35. It never rains but it pours.	降れば土砂降り
36. Let sleeping dogs lie.	寝ている犬は寝させておけ (触らぬ神に祟りなし)
37. Look before you leap.	跳ぶ前に見よ (転ばぬ先の杖)

38. Love is blind.	恋は盲目
39. Make haste slowly.	ゆっくり急げ (急がば回れ)
40. Make hay while the sun shines.	日が照っている間に干し草を作れ (鉄は熱いうちに打て)
41. Man does not live by bread alone.	※人はパンのみにて生きるにあらず
42. Men are known by the company they keep.	人は付き合う仲間によって分かる
43. Necessity is the mother of invention.	必要は発明の母
44. Never [Don't] put off till [until] tomorrow what you can do today. 参考: Never do today what you can put off until tomorrow.	今日できることを明日に延ばすな (上のことわざのもじり)
45. No gains without pains. ◇ No pain(s), no gain(s).	骨折りがなくて利得なし
46. No news is good news.	便りが無いのは良い便り
47. Nothing ventured, nothing gained.	冒険しなければ何も得られない (虎穴に入らずんば虎兇を得ず)
48. One of these days is none of these days.	いずれそのうちという日はない
49. Out of sight, out of mind.	見えないものは忘れられる (去るものは日々に疎し)
50. Rome was not built in a day.	ローマは一日にして成らず
51. Seeing is believing.	百聞は一見にしかず
52. Some men are wise, and others are otherwise.	賢明な人もいれば、そうでない人もいる
53. Spare the rod and spoil the child.	鞭を惜しめば子供をだめにする
54. Speech is silver, silence is golden.	雄弁は銀、沈黙は金
55. Strike the iron while it is hot.	鉄は熱いうちに打て
56. Talk of the devil and he will appear.	悪魔のことを口にすると悪魔が現れる (噂をすれば影がさす)
57. The early bird catches the worm.	早起きの鳥は虫を捕まえる (早起きは三文の得)
58. The die is cast.	^{さい} 賽は投げられた [カエサルの言葉]

59. The more you have, the more you want.	持てば持つほど、ほしくなる
60. The pen is mightier than the sword.	ペン（文）は剣（武）よりも強し
61. The rotten apple injures its neighbors.	腐ったリンゴは隣のリンゴも腐らせる
62. There is no accounting for tastes.	人の好みは説明できない (たで食う虫も好きずき)
63. There's none so blind as those that will not see.	見ようとしぬ人が一番盲目
64. There's no smoke without fire.	火のない所に煙は立たぬ
65. There's nothing [no place] like home.	我が家にまさる所はない
66. There is a time and (a) place for everything.	何事にもふさわしい時と場所がある
67. The sooner, the better.	早ければ早いほどよい
68. Time and tide wait for no man.	歳月人を待たず
69. Time flies (like an arrow).	光陰矢のごとし
70. Time is money.	時は金なり
71. To err is human, to forgive divine.	誤ちを犯すは人の常、許すは神の業 [イギリスの詩人 Alexander Pope の言葉から]
72. Too many cooks spoil the broth.	コックが多すぎるとスープがだめになる (船頭多くして船山に上る)
73. What's done cannot be undone.	やってしまったことは元に戻せない
74. When in Rome, do as the Romans do. ◇ Do in Rome as the Romans do.	ローマにいるときはローマ人がするよう にしる (郷に入っては郷に従え)
75. Where there's a will, there's a way.	意思あるところに道あり
76. When the cat's away, the mice will play.	ネコのいない間にネズミが遊ぶ
77. Years know more than books.	年は書物より物知り (亀の甲より年の甲)
78. You are never too old to learn.	学ぶのに遅すぎるといふことはない
79. You can't eat your cake and have it (too). ◇ You can't have your cake and eat it (too).	ケーキを食べてなおそのケーキを持っていることはできない
80. You cannot make an omelet(te) without breaking eggs.	卵を割らずにオムレツは作れない [もとはフランス語のことわざ]

付録5 長さ、重さなどの単位 (度量衡) で知っておくべきこと

アメリカのように「ヤード・ポンド法」の国と、イギリス・西欧諸国のように「メートル法」の国があります。自分の身長や体重は、英語で言えるようにしましょう。身長176cm、体重73キロなら、“I’m 5 feet 10 inches tall and weigh 162 pounds.” となります。

(1) 長さ・距離

単語	略記号	換算	備考
inch (複数形 inches)	in. (複数形: ins.) (記号表示: ")	1/12 foot 2.54cm	「インチ」
foot (複数形 feet)	f. / ft. (記号表示: ') 例: 2フィート3インチ ⇒ 2' 3"	12 inches 30.48cm	「フィート」 人の足 (foot) の長さから。 one foot 「ワン・フット」
yard (複数形 yards)	yd.	3 feet, 36 inches 0.91m	「ヤード」
mile (複数形 miles)	m. / mil.	1,600m 1.6km	「マイル」 米の高速道路の制限速度は時速55マイル。
meter (英: metre)	m	100cm 39.37in.	「メートル」
centimeter (英: centimetre)	c. / cm	1/100m	「センチ」 cent は「百」の意味。
kilometer (英: kilometre)	km / km.	1,000m 0.6214mi.	「キロ」
millimeter (英: millimetre)	mm	1/1000m	「ミリ」

(2) 重さ・重量

単語	略記号	換算	備考
ounce [auns]	oz.	1/16 pound 23.15g	「オンス」 英語の発音は [アウンス]
pound [paund]	lb (libra), libs.	16 ounces 454g	「ポンド」 英語の発音は [パウンド] ※貨幣単位と混同ないように
gram (英: gramme)	g. / gm. / gr.	0.935 ounce	「グラム」

- 注意：① 普段カタカナで使用している発音と英語の本当の発音との違いに特に注意。
 ② 英米のスペリングの違いに注意。
 ③ ounce は貴金属や薬品の場合には1/12ポンドのように、対象物によって数値が異なることがあるので注意。
 ④ イギリスでは stone という単位を用いて体重を計る。1 stone は14 poundsで、約6.35kg。

(3) 液量・容積・体積

単語	略記号	換算	備考
pint	pt.	4 gills 米: 0.473l, 英: 0.568l	「パイント」イギリスのパブでビールを頼む時の単位。
quart	qt.	2 pints, 1/4 gallon	「クワート」
gallon	gal.	8 pints, 4 quarts	「ギャロン」米ではガソリン、牛乳パックなどによく使われている。
liter (英: litre)	l. / lt.	1,000cc	「リットル」

(4) 面積

単語	略記号	換算	備考
acre	a.	4,840 square yards 4,046m ²	「エーカー」

(5) 温度・気温・体温

セ氏 / 摂氏 (°C) Celsius / Centigrade

カ氏 / 華氏 (°F) Fahrenheit (17世紀のドイツの物理学者の名前に由来)

換算法： $C = (F - 32) \times 5 \div 9$ $F = C \times 9 \div 5 + 32$

セ氏の0度は華氏32度、セ氏の100度は華氏212度、セ氏の35度は華氏の95度にあたります。アメリカでは体温に華氏を使うことが多いので、病院では注意すること。

◎上にあげた単位を使う身近な表現の例

How high is Tokyo Skytree? 「東京スカイツリーはどのくらいの高さですか？」

This stick is exactly two feet long. 「この棒はかっきり2フィートの長さです。」

This weighs light / a lot. 「これ軽いよ / 重いよ。」

He was driving 55 miles per hour. 「彼は時速55マイルで運転していた。」

Butter is sold by the pound. 「バターはポンド単位で売られています。」

付録6 イギリス史年表

年	主な出来事
BC2200～1300	ストーンヘンジ（イングランド南部、環状列石）建立
700～800	ケルト人、ブリテン島に侵入、移住
AD50頃	ローマ軍侵攻、ローマ支配の開始
410頃	ローマ支配の終り
500頃	アングロ・サクソン人の侵入・定住
900後半頃	イングランド王国統一
1066	ノルマン人によるイングランド征服
1154	ノルマン人による支配の終り
1509	ヘンリー8世即位
1534	イギリス国教会成立
1558	エリザベス1世即位
1616	シェイクスピア没
1642	清教徒革命開始
1649	チャールズ1世処刑され、共和国成立
1660	王政復古
1668	名誉革命
1707	イングランドとスコットランド合同
1773	ボストン茶会事件
1776	アメリカ独立宣言
1781	イギリス軍、アメリカに降伏
1801	アイルランド併合
1837	ヴィクトリア女王即位（～1901）
1851	第一回万国博ロンドンで開催
1906	労働党成立
1914～18	第一次世界大戦
1929	女性（21歳以上）に投票権
1939～45	第二次世界大戦
1945	アイルランド共和国成立（北アイルランド問題は未決）
1973	EU加盟（ユーロ導入はせず）
1979	サッチャー政権（保守党）誕生（初の女性首相）
1994	英仏海峡トンネル開業
1997	ブレア労働党政権誕生（2006年まで3期連続）
2007	ブラウン労働党政権誕生
2010	キャメロン保守党・自由民主党連立政権誕生

付録7 アメリカ史年表

年	主な出来事
1492	コロンブス、アメリカ大陸到達
1620	メイフラワー号プリマス（アメリカ東海岸）入植
1775	独立戦争開始（対イギリス）
1776	独立宣言
1787	合衆国憲法制定
1788	ワシントン初代大統領就任
1803	フランスよりルイジアナ購入
1845	テキサス共和国を合併
1848	カリフォルニア、連邦加入
1860	リンカーン大統領当選
1861～65	南北戦争
1867	アラスカ購入
1868	ハワイ、最初の日本人移民
1890	フロンティアの消滅
1917	第一次世界大戦参戦
1929	世界大恐慌
1941	真珠湾攻撃
1941～45	太平洋戦争
1945	原子爆弾投下（広島・長崎）
1950～53	朝鮮戦争
1951	日米安全保障条約
1963	ケネディ大統領暗殺
1965～73	ヴェトナム戦争
1968	キング牧師暗殺
1969	アポロ11号月面到達
1990	湾岸戦争
2001	同時多発テロ（September 11）
2003	イラク戦争
2004	ブッシュ大統領再選
2008	オバマ大統領選出
2012	オバマ大統領再選

付録8 カタカナ英語とホントの英語

1. 飲食・台所に関するもの

コップ a glass cf. kop (オランダ語)、copo (ポルトガル語)
cf. カップ a cup マグカップ a mug
電子レンジ a microwave (oven)

2. 学校生活に関するもの・文房具など

カンニング cheating cf. cunning 「ずるい」
カンニングペーパー a cheat sheet, a crib sheet
コンパ a party, a get-together
シャープペンシル、シャープペン、シャープ a mechanical pencil
(電気) スタンド a desk lamp, a desk light
ホッチキス a stapler cf. ホッチキスでとめる to staple

3. ファッション

イヤリング (ピアスでないもの) ear clips, clip-on (earrings)
テニスウェア a tennis outfit
ノーネクタイで without a tie
ファスナー a zipper cf. zip-up (形) 「ファスナー (ジッパー) 式の」
マフラー a scarf

4. 社会生活・娯楽に関するものなど

アフターサービス after-sale service, after sales servicing, gurarantee
クレーム (苦情) a complaint cf. claim 「～を主張する」
クレームをつける、苦情を言う to complain, to make a complaint
ゲームセンター (米) a video arcade (英) an amusement arcade
サイン (署名) a signature (有名人のサイン) an autograph cf. sign 「署名する」
サラリーマン a salaried worker, an office worker, a company employee 「会社員」
cf. OL an office worker, a company employee, a female office worker
テレビゲーム a video game
トランプ (playing) cards cf. trump 「切り札」
人間ドック a complete medical checkup
ビニール袋 a plastic bag

(ホテルの) フロント the front desk, the reception (desk), the registration desk
マンション (分譲) a condominium, (口語) a condo
(賃貸) (米) an apartment (英) a flat cf. a mansion 「大邸宅」

5. 交通関連

ダッシュボード (車の助手席前の小物入れ) a glove box, a glove (box) compartment
バイク、オートバイ a motorcycle cf. a bike = a bicycle 「自転車」
ハンドル a steering wheel cf. a handle 「取っ手」
バックミラー a rearview mirror
ハイウェイ (高速道路) (米) an expressway, a freeway (英) a motorway
cf. a highway 「幹線道路」 a highwayman 「おいはぎ」
ジャック (する) hijack hijack a plane 「飛行機を乗っ取る」
cf. skyjack 「飛行機を乗っ取る、飛行機乗っ取り」
バスジャックする hijack a bus シージャックする hijack a ship

6. 思考や概念に関するものなど

コンプレックス inferiority complex
プラスイメージ a positive image ↔ マイナスイメージ a negative image

7. 意味によってカタカナ表記がことなるもの

※それぞれ、辞書を引いて、加算・不可算を確認しましょう。

scoop	(1) スクープ	(2) スコップ (shovel)
strike	(1) ストライク	(2) ストライキ
pouch	(1) ポーチ	(2) パウチ (例: レトルトパウチ)
glass	(1) グラス	(2) ガラス (もとはオランダ語glasから)
truck	(1) トラック	(2) トロッコ、トロ
machine	(1) マシーン (マシン)	(2) ミシン (sewing machine)
lemonade	(1) レモネード	(2) ラムネ
American	(1) アメリカン	(2) メリケン (例: メリケン粉)
sheet	(1) シーツ (敷布)	(2) シート (例: 切手シート)
English	(1) イングリッシュ	(2) イギリス
meter	(1) メーター (計器)	(2) メートル (長さの単位)
iron	(1) アイアン (鉄)	(2) アイロン

参考文献リスト

各項目の執筆者だけでなく、他の英語専任教員からのお薦めもたくさんあります。

PART 1

1 First Year English とは？

- 浅井 信雄 『アメリカ50州を読む地図』 新潮文庫 1998年
石黒 昭博 『世界の英語小辞典』 研究社 1992年
石黒 マリーローズ 『キリスト教英語の常識』 講談社現代新書 1997年
井野瀬 久美恵 『女たちの大英帝国』 講談社現代新書 1998年
ウォームズレー、ジェーン著／笠間 仁保子訳 『イギリス的生活とアメリカ的生活』
河出書房新社 1995年
大谷 泰照／堀内 克明編 『社会人のための英語百科』 大修館 2002年
小笠原 喜康 『新版 大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書 2009年
加瀬 信行 『イギリス 衰亡しない伝統国家』 講談社+α新書 2000年
21世紀研究会 『常識の世界地図』 文春文庫 2001年
林 望 『イギリスはおいしい』 文春文庫 1995年
松澤 喜好 『英語耳』 アスキー出版 2004年
本名 信行 『世界の英語を歩く』 集英社新書 2003年
矢口 祐人／吉原 真里 編著 『現代アメリカのキーワード』 中公新書 2006年
『英語図詳大辞典』 小学館 1985年

4 文法について

- 安藤 貞雄 『英語教師の文法研究』 大修館 1983年
稲村 松雄／名和 雄次郎 『ロングマン エルドス活用単語2000』 桐原書店 1993年
奥津 文夫 『ことわざの英語』 講談社現代新書 1989年
河上 道生 『図解英語基本語義辞典』 桐原書店 1989年
多賀 敏行 『文化としての英語』 丸善ライブラリー 1992年
田中 茂範 『データベース3000 基本英単語・熟語』 第2版 桐原書店 2004年
マーク・ピーターセン 『痛快！ コミュニケーション英語学』 集英社インターナショナル
2002年
松浪 有／秦 宏一訳編 『ロングマン英語熟語集』 秀文インターナショナル 1988年
安井 京子 『音読して楽しむ名作英文』 はまの出版 2002年
安井 京子 『音読して楽しむ名作英文 新装改訂版』 アルク 2009年
安井 稔 『英文法総覧』 改訂版 開拓社 1996年

5 英語の辞書・辞典について

- 飛田 茂雄 『私が愛する英語辞典たち』 南雲堂フェニックス 1995年
 『翻訳家になる!』 メタログ 1996年 ※翻訳家愛用の辞書が分かる
 斎藤 兆史 『英語達人列伝』 中公新書 2000年 ※斎藤秀三郎のスゴサが分かる
 山岸 勝榮 『単語博士……いちばん知りたい暮らしの英語』 小学館 2003年
 セイン、デイビッド・A 『英単語のキモチー形容詞編』 アスコム 2006年

6 単語はどうやったらたくさん覚えられるの?

- ホリム・ハン著／リチャード・キム訳 『新装版 連鎖式英単語事典』 三修社 2012年

7 英語の正書法と書式

- 講談社インターナショナル編 『これを英語で言えますか?』 講談社 1999年
 講談社インターナショナル編 『これを英語で言えますか? デラックス』 講談社 2008年
 マーク・ピーターセン 『日本人の英語』 岩波新書 1988年 ※続編あり

10 英語を話し、聞くときのコツ

- 竹林 滋 『英語のフォニックス』 改訂版 ジャパンタイムズ 1988年

PART 2

1 どうして通じないんだ!?

- 直塚 玲子 『欧米人が沈黙するとき 異文化間のコミュニケーション』 大修館 1980年
 ポール&カーティス&エリ・ケリー 『ケリーさんのすれちがい100 日米ことば摩擦』
 三省堂 1990年

Sakamoto, N. & S. Sakamoto, *Polite Fictions in Collision: Why Japanese and Americans Seem Rude to Each Other.* (異文化との出会い・誤解・理解) 金星堂 2004年

2 海外旅行を安全に、楽しく!

- 『地球の歩き方』 各国・地域編 ダイアモンド社
 『旅名人ブックス』 各国・地域編 日経BP社
 『旅のガイドムック』 各国・地域編 近畿日本ツーリスト
 『起きてから寝るまで表現550 海外旅行編』 CDブック版 アルク 2000年

参考文献リスト

3 英語でメールや手紙を書くには

福島 スーザン著／本川 純子訳 『ネイティブ式英文レター・Eメールの書き方』 新版
三修社 2005年

4 PC・スマホで英語を学ぶ

ジョナサン・ルイス 『ブロードバンドで学ぶ英語』 光文社新書 2002年

5 英語の発音について

Jones, D., Roach, P. et al. (2003). English Pronouncing Dictionary with CD-ROM.
Cambridge University Press. (発音辞典)

今井 邦彦 『新しい発想による英語発音指導』 大修館書店 1989年

根間 弘海／ブレーブン・スマイリー 『こうすれば通じる英語の発音』 ジャパンタイムズ
1999年

7 映画で英語を学ぼう

映画『カサブランカ』（米1942） ※名台詞「君の瞳に乾杯」

映画『風と共に去りぬ』（米1939） ※南北戦争時代のアメリカ。名台詞「明日考えるわ」

映画『シャレード』（米1963） ※本文紹介作品

映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』（米1985） ※タイムマシンで過去に

映画『プラダを着た悪魔』（米2006） ※本文紹介作品

映画『ブリジット・ジョーンズの日記』（米2001） ※ロンドンを舞台にしたラブコメ

映画『マイ・フェア・レディ』（米1964） ※イギリス階級社会が見えるミュージカル

映画『リトル・ダンサー』（英2000） ※本文紹介作品

板倉 巖一郎 他 『映画でわかるイギリス文化入門』 松柏社 2008年

映画英語教育学会関西支部 『音読したい、映画の英語』 スクリーンプレイ 2005年

岡崎 弘信 『スクリーンプレイで学ぶ 映画英語シャドーイングー シャドーイング・マ
ネジャーでらくらく音読練習』 フォーイン スクリーンプレイ事業部 2008年

奥村 みき 他 『映画でわかるアメリカ文化入門』 松柏社 2008年

『ガンダムで英語を身につける本』 宝島社 2007年

曾根田 憲三監修 『名作映画完全セリフ集 スクリーンプレイシリーズ 138 シャレード』
株式会社フォーイン スクリーンプレイ事業部 2009年

亀山 太一監修 『名作映画完全セリフ集 スクリーンプレイシリーズ 128 プラダを着た悪
魔』 株式会社フォーイン スクリーンプレイ事業部 2009年

Martin, Leonard ed. (2011) *Leonard Martin's 2012 Movie Guide*. New York: Signet.

8 英語の本を読んでみよう

Gombrich, E. H., tr. by Caroline Mustill. *A Little History of the World*.

Yale University Press. ※C Dブック版あり

Lewis, C.S. (2001) *The Lion, the Witch and the Wardrobe*. New edition.

Harper Collins Children's Books.

Murakami, Haruki. Jay Rubin, tr. (2003) *Norwegian Wood*. New edition. Vintage Books.

Yoshimoto, Banana. Megan Backus, tr. (2006) *Kitchen*. Grove Pr.

9 英語の漫画を読んでみよう

Arakawa, Hiromu. *Fullmetal Alchemist*. VIZ Media LLC.

Inoue, Takehiko. *Slam Dunk*. Gustoon Entertainment.

Takahashi, Rumiko. *Maison Ikkoku*. Viz Communications.

Kishimoto, Masashi. *Naruto: The Tests of the Ninja*. Viz Communications.

Ninomiya, Tomoko. *Nodame Cantabile*. Del Rey.

Oda, Eiichiro. *One Piece*. Viz Communications.

Shigeno, Shuichi. *Initial D*. Tokyopop.

Schulz, Charles M. *Peanuts 2000: The 50th Year of the World's Most Favorite Comic*

Strip Featuring Charlie Brown, Snoopy, and the Peanuts Gang. Ballantine Books.

Yazawa, Ai. *NANA*. Viz Communications.

弘兼 憲史 『部長島耕作』 バイリンガル版 講談社インターナショナル

その他（ことわざ・歴史）

奥津 文夫 『ことわざで英語を学ぶ』 三修社 2008年

戸田 豊編著 『現代英語ことわざ辞典』 リーベル出版 2004年

川北 稔編 『世界各国史11 イギリス史』 山川出版社 1998年

紀平 英作編 『世界各国史24 アメリカ史』 山川出版社 1999年

映画『アラビアのロレンス』（英1962年） ※第1次大戦下アラビアで活躍した英国人

映画『インドへの道』（英1984年） ※英国の植民地だった1920年代のインドが舞台

映画『麦の穂をゆらす風』（アイルランド他2006年） ※アイルランドと英国の確執

主要な英語圏の国々の正式名称

アイルランド共和国	The Republic of Ireland (Eire)
アメリカ合衆国	The United States of America
英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）	The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland
オーストラリア連邦	The Commonwealth of Australia
カナダ	Canada
ニュージーランド	New Zealand (Aotearoa)

First Year English ハンドブック 第12版

©Kokugakuin University 2015

第1刷発行 平成27年4月1日

編集 國學院大學文学部外国語文化学科
『First Year English ハンドブック』編集委員会

印刷所 秀飯舎

発行者 國學院大學
渋谷キャンパス
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
横浜たまプラーザキャンパス
〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1

国旗（裏表紙） <http://flagspot.net/flags/>（フリー素材）

地図（裏表紙） <http://www.freemap.jp/>（フリー素材）

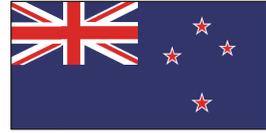
本書の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。



The United Kingdom



Australia



New Zealand



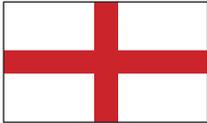
The United States of America



Canada



Ireland



England (St. George)



Scotland (St. Andrew)



Ireland (St. Patrick)



Wales



学科 1年 組 番 氏名



國學院大學